



Cisco Unified IP Phone 8961/9951/9971 ユーザ ガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SIP)

初版 : 2011 年 06 月 30 日

最終更新 : 2012 年 06 月 15 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 : シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間 : 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の1つ以上の方法を使用して干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



目次

Cisco Unified IP Phone の機能	1
Cisco Unified IP Phone 8961	1
電話機の接続部	1
ボタンとハードウェア	3
電話スクリーン	8
単一回線の電話機	9
複数の回線がある電話機	10
Cisco Unified IP Phone 9951	12
電話機の接続部	12
Bluetooth	14
ボタンとハードウェア	15
電話スクリーン	19
単一回線の電話機	20
複数の回線がある電話機	21
Cisco Unified IP Phone 9971	23
電話機の接続部	23
無線接続および Bluetooth	25
ボタンとハードウェア	25
電話スクリーン	30
単一回線の電話機	31
複数の回線がある電話機	31
電話に関する全般情報	33
フットスタンドの接続	33
電話機ディスプレイ表示角度の調整	34
項目のナビゲーションおよび選択	35
省電力および Power Save Plus	36
節電	36

Power Save Plus	36
電話機のディスプレイのクリーニング	37
ハンドセット受け台の調整	38
ハンドセット オーディオのチューニング	38
電話機およびケーブル ロック	39
アプリケーション	41
通話履歴	41
通話履歴の回線ステータス	42
通話履歴の表示	43
コール レコードの詳細の表示	43
通話履歴のフィルタ	44
通話履歴からのダイヤル	44
通話履歴の電話番号の編集	45
通話履歴のクリア	45
通話履歴からのコール レコードの削除	46
設定	46
呼出音	46
呼出音の変更	47
壁紙	47
壁紙の変更	47
明るさ	47
明るさの調整	48
Bluetooth	48
Bluetooth の電源オン	48
Bluetooth の電源オフ	48
ヘッドセットの側音の調整	49
アクセサリ	49
アクセサリ リストの表示	50
アクセサリの詳細の表示	50
アナログ ヘッドセット用ワイドバンドの設定	51
Bluetooth アクセサリの追加	51
Bluetooth アクセサリの削除	52
Bluetooth アクセサリの接続	52

Bluetooth アクセサリの切断	52
カメラの詳細の表示	53
カメラの設定の表示	53
自動転送の有効化	54
カメラの明るさの調整	54
カメラの表示領域の調整	55
カメラのリセット	55
WLAN へのログイン	55
WLAN へのログイン	56
WLAN のログインの変更	56
実行中のアプリケーション	57
アクティブ アプリケーションの表示	57
アクティブ アプリケーションへの切り替え	57
アクティブ アプリケーションの終了	57
電話の情報	58
電話の情報の表示	58
管理者設定	58
VPN クライアント	59
VPN を介した接続	59
VPN 接続設定	60
Cisco VXC VPN	60
ステータスおよび統計	61
連絡先	63
社内ディレクトリ	63
連絡先の検索およびダイヤル	63
コール中の連絡先の検索およびダイヤル	64
パーソナルディレクトリ	64
パーソナルディレクトリ オプション	65
パーソナルディレクトリのログインおよびログアウト	65
パーソナルディレクトリ エントリの追加	66
パーソナルディレクトリのエントリの検索	66
パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル	67

パーソナルディレクトリのエントリの削除	67
パーソナルディレクトリ エントリの編集	68
ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ	68
ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当 て	68
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	69
ファストダイヤルコードの削除	69
メッセージ	71
ボイスメールの個人設定	71
ボイスメッセージの確認	71
ボイスメッセージの聞き取り	72
コール機能	75
機能ボタンおよびソフトキー	76
Survivable Remote Site Telephony の概要	78
基本コール オプション	81
スピーカフォンを使用したコールの発信	82
ヘッドセットを使用したコールの発信	82
コールのリリースと別のコールの開始	82
エージェント グリーティング	82
アラート コール	83
すべてのコール	83
電話機の全コールの表示	83
応答	84
最も古いコールから応答	84
Assured Services for SIP Lines	84
ログインを必要とするプライオリティ コールの発信	85
ログインなしでのプライオリティ コールの発信	85
自動応答	85
ヘッドセットで自動応答	85
スピーカフォンで自動応答	86
割り込み	86
共有回線のコールへの参加	86

折返し	86
折返し通知の設定	86
コール監察	87
監察対象コールの録音	87
コール転送	88
すべてのコールの転送	88
コールパーク	89
パークを使用したコールのパークおよび取得	90
処理されたダイレクト コールパークを使用したコールのパーク	90
手動ダイレクト コールパークを使用したコールのパーク	91
コール ピックアップ	91
ピックアップを使用したコールの応答	92
グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用したコールの応答	93
グループ ピックアップおよび電話番号を使用したコールの応答	93
他グループ ピックアップを使用したコールの応答	94
コール待機	94
コール待機通知への応答	94
クライアント識別コード	95
会議	95
会議を作成するために通話相手をコールに追加	95
会議へのコールの参加	96
会議実行前のコール間の切り替え	96
会議参加者の表示	97
会議参加者の削除	97
即転送	97
コールの即転送	97
サイレント	98
サイレントのオン/オフの切り替え	98
エクステンション モビリティ	98
エクステンションモビリティの有効化	99
ファストダイヤル	99
[ファストダイヤル] ボタンを使用したコールの発信	99

強制承認コード	100
保留	100
コールの保留	100
保留中のコールとアクティブ コールの切り替え	101
新しいコールへの応答とコールの保留	101
共有回線の保留中の確認	101
リモート回線の保留	102
保留復帰	102
保留復帰通知への応答	102
ハント グループ	102
ハント グループへのログインおよびログアウト	103
キューの統計情報の表示	103
インターコム	103
専用インターコム コールの発信	103
ダイヤル可能なインターコム コールの発信	104
インターコム コールの受信	104
回線ステータス	105
回線ステータス インジケータ	105
迷惑呼 ID	106
不審なコールのトレース	106
ミーティング	106
ミーティングの開催	106
ミーティングへの参加	107
モバイルコネク	107
デスクの電話機からすべてのリモート接続先に対するモバイルコネクの有効化 または無効化	108
デスクの電話機へのコールから携帯電話への切り替え	108
モバイル コールからデスクの電話機への切り替え	108
携帯電話からデスクの電話機へのコールのハンドオフ	109
ミュート	109
電話機のミュート	109
オンフック ダイヤル	109

オンフックでの電話番号のダイヤル	110
プラス ダイヤル	110
国際電話番号のダイヤル	110
プライバシー	111
共有回線でのプライバシーの有効化	111
品質レポート ツール	111
電話機の問題のレポート	112
リダイヤル	112
番号のリダイヤル	112
セキュアおよび非セキュア通知トーン	112
共有回線	113
モニタリングと録音	114
スピード ダイヤル	114
スピード ダイヤル ボタンを使用したコールの発信	114
スピード ダイヤル コードを使用したコールの発信	115
オンフックでのスピード ダイヤル コードの使用	115
オフフックでのスピード ダイヤル コードの使用	115
ポーズ入りスピード ダイヤル	115
転送	117
別の番号へのコールの転送	117
転送完了前のコールの切り替え	117
Uniform Resource Identifier ダイヤリング	118
WebDialer	120
WebDialer と Cisco ディレクトリの使用	120
WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用	120
WebDialer 設定の変更	121
WebDialer のログアウト	121
ユーザ オプション	123
ユーザ オプション Web ページへのログインおよびログアウト	123
デバイスの設定	124
ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択	124
サイレント オプションのカスタマイズ	125

回線の設定	125
回線ごとにコール転送を設定	126
回線ごとにボイス メッセージのインジケータの設定を変更	126
回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定の変更	127
回線ごとの呼出音設定の変更	127
電話機ディスプレイの回線テキスト ラベルの編集	128
[ユーザ オプション]でのスピードダイヤルの設定	128
スピードダイヤルのポーズ	128
スピードダイヤル ボタンの設定	130
スピードダイヤル コードの設定	130
電話機サービス	130
サービスの登録	131
サービスの検索	131
サービスの変更または解除	131
サービス名の変更	132
プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加	132
ユーザ設定	132
ブラウザのパスワードの変更	133
PIN の変更	133
ユーザ オプションの言語の変更	133
電話機のディスプレイの言語の変更	134
ディレクトリ	134
個人アドレス帳の設定	134
新しい個人アドレス帳エントリの追加	134
個人アドレス帳エントリの検索	135
パーソナルディレクトリ エントリの編集	135
パーソナルディレクトリのエントリの削除	135
個人アドレスのボタンの割り当て	136
ファストダイヤルの設定	136
ファストダイヤルの機能ボタンの割り当て	136
個人アドレス帳エントリへのファストダイヤル コードの割り当て	137

個人アドレス帳エントリを使用しない電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て	137
ファストダイヤルエントリの検索	137
ファストダイヤル電話番号の編集	138
ファストダイヤル個人アドレス帳エントリの削除	138
モビリティ設定	138
新しいリモート接続先の追加	139
アクセスリストの作成	140
プラグイン	141
プラグインへのアクセス	141
アクセサリ	143
USB デバイス	144
Cisco Unified IP Color Key Expansion Module	144
Cisco Unified IP Color Key Expansion Module の機能	145
拡張モジュールでのコールの発信	147
ボタンの設定	147
明るさの調整	148
Cisco Unified Video Camera	148
Cisco Unified Video Camera の機能	149
カメラ レンズのシャッター	150
カメラ レンズのシャッターを閉じる	150
Cisco Unified Video Camera の取り付け	151
電話機へのカメラの取り付け	151
モニターへのカメラの取り付け	152
カメラの設定	153
ビデオ プレビュー	153
ビデオのプレビュー	153
ビデオの有効化	153
自動転送	154
自動転送の有効化	154
自動転送の無効化	155
カメラの明るさ	155
明るさの調整	155

表示領域	156
カメラの表示領域の調整	156
ビデオ画面の機能	156
ビデオの表示または非表示	157
ビデオの全画面表示の有効化	157
ビデオのミュート	157
表示の切り替え	157
子画面の位置調整	158
Bluetooth ヘッドセット	158
VDI クライアント	159
FAQ およびトラブルシューティング	161
よくある質問	161
トラブルシューティングのヒント	166
保留ボタンでコールが再開されない	166
[アラート コール] ボタンがない	166
[すべてのコール] ボタンがない	166
パーソナルディレクトリのトラブルシューティング	167
パーソナルディレクトリにログインできない	167
ユーザ オプション Web ページの問題	167
ユーザ オプション Web ページにアクセスできない	167
製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報	169
安全性とパフォーマンスに関する情報	169
停電	169
外部デバイス	169
Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのパフォーマンス	170
FCC 適合宣言	170
FCC Part 15.21 適合宣言	171
FCC RF 被曝に関する宣言	171
FCC 受信機およびクラス B デジタル装置の適合宣言	171
シスコ製品のセキュリティの概要	171
アクセシビリティ機能	172
追加情報	172

保証 173

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 **173**



第 1 章

Cisco Unified IP Phone の機能

この章では、Cisco Unified IP Phone 8961/9951/9971 の機能について説明します。

- [Cisco Unified IP Phone 8961, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 9951, 12 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 9971, 23 ページ](#)
- [電話に関する全般情報, 33 ページ](#)

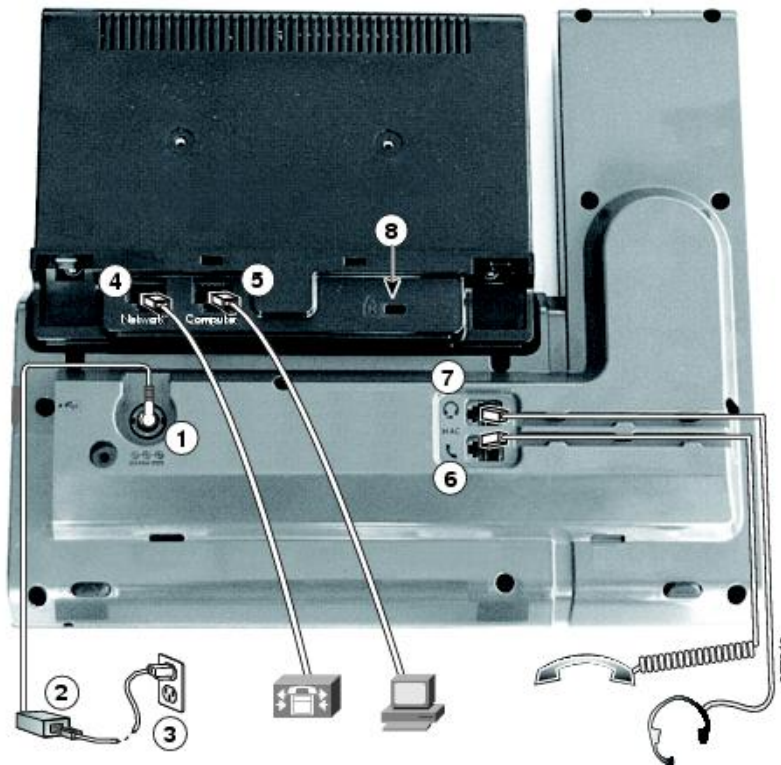
Cisco Unified IP Phone 8961

Cisco Unified IP Phone 8961 には次の機能があります。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部

次の図を参照して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	コンピュータ ポート (10/100/1000 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセット接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログヘッドセットの接続 (ヘッドセットオプション)
4	IEEE 802.3af および 802.3at 電源対応のネットワークポート (10/100/1000 SW)	8	盗難防止用セキュリティロックコネクタ (ロックはオプション)

次の図は、電話機の側面を示します。



1	USB ポート	2	アクセサリ コネクタ。Cisco Unified IP Color Key Expansion Module の接続などに使用します
---	---------	---	--

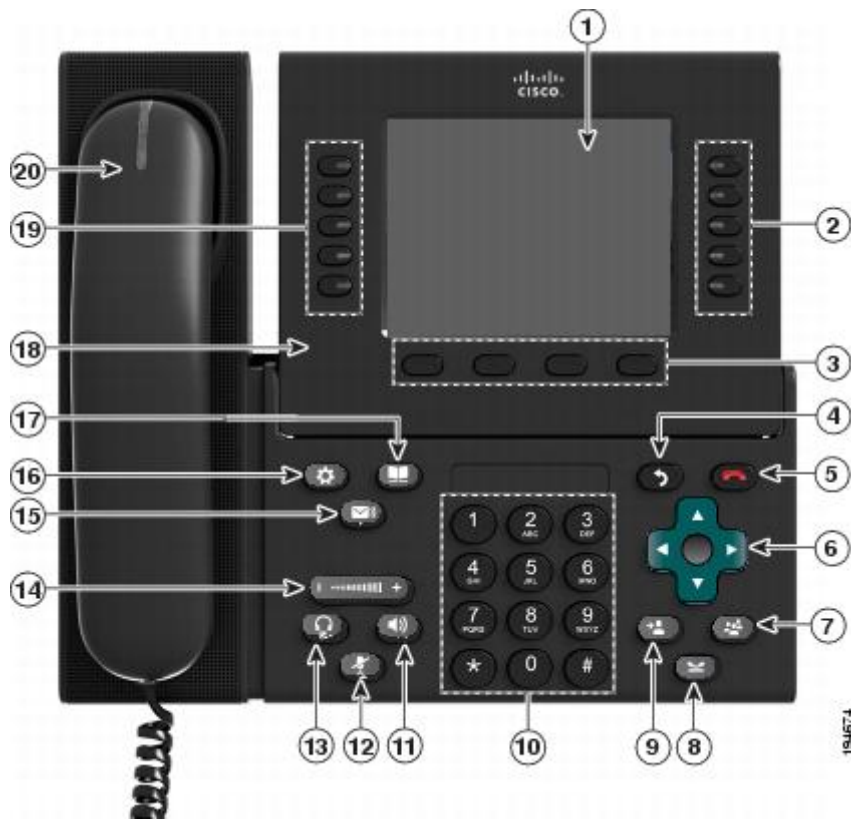


- (注) 各 USB ポートには、サポート対象およびサポート対象外のデバイスを 5 台まで接続できます。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス（たとえば 3 台の Cisco Unified IP Color Key Expansion Module、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイス）を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます。多くのサードパーティ製 USB 製品は、複数の USB デバイスとしてカウントされます。たとえば、USB ハブとヘッドセットを備えたデバイスは、2 台の USB デバイスとしてカウントされることがあります。詳細は、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

ボタンとハードウェア

電話機では、次のボタンを使用して、電話回線、機能、コールセッションにすばやくアクセスできます。

- プログラマブル機能ボタン（左側）：回線のコールの表示や、スピードダイヤルまたはすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します（これらのボタンは機能ボタンともいいます）。
- セッションボタン（右側）：コールに応答する、保留中のコールを再開する、不在履歴表示のような電話機能を開始する（セッションボタンがアクティブコールに使用されていないとき）などの操作を実行するために使用します。電話機の各コールは、1 つのセッションボタンに割り当てられます。







1	電話スクリーン	電話番号、コール情報（発信者ID、アクティブコールのアイコン、保留中のコールなど）、使用可能なソフトキーなど、電話機に関する情報が表示されます。
---	---------	--

2	<p>セッション ボタン</p> 	<p>各ボタンは、アクティブ コールやコール機能に対応しています。このボタンを押したときのアクションは、電話の状態によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ コール：電話機は、アクティブ コールに対するデフォルトアクションを行います。たとえば、呼び出し中のコールに対してセッション ボタン押した場合はコールに応答することになり、保留中のコールに対してボタンを押した場合は、コールが再開されます。発信者 ID や通話時間などのセッション情報は、セッション ボタンの横にある電話スクリーンに表示されます。 • コール機能：セッション ボタンがアクティブ コールに使用されていないときには、横の電話スクリーンのアイコンで示される電話機機能を開始するために使用できます。たとえば、不在履歴を表示するとき、電話機をオフフックにするとき、またはボイスメールシステムにダイヤルするとき（ボイスメール アイコンの横にある場合）にセッション ボタンを押します。 <p>カラー LED はコールの状態を次のように示します。LED は、フラッシュ（高速で明滅）、点滅（ライトが交互にオン/オフ）、または点灯（ライトが明るいまま途切れない）します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ色のフラッシュ ：コールを呼び出し中。コールに応答するには、このボタンを押します。 • 緑色に点灯 ：コールに接続している状態または発信コールがまだ接続していない状態。コールが接続されている場合、このボタンを押すと、コールの詳細または会議コールの参加者が表示されます。コールが接続されていない場合、このボタンを押すとコールが終了します。 • 緑色のパルス ：コールが保留中。保留したコールを再開するには、このボタンを押します。 • 赤色に点灯 ：共有回線がリモートで使用中。コールに割り込む場合にこのボタンを押します（[割込み] が有効な場合）。 • 赤色のパルス ：共有回線コールがリモートで保留中。保留したコールを再開するには、このボタンを押します。 <p>ヘブライ語やアラビア語など、右から左に文字を読むロケールを使用する電話機では、セッション ボタンと機能ボタンの位置を逆にすることができます。</p>
3	<p>ソフトキー ボタン</p> 	<p>電話スクリーンに表示されたソフトキー オプション（選択されているコールまたはメニュー項目に対応）にアクセスできます。</p>

ボタンとハードウェア

4	戻るボタン 	前の画面またはメニューに戻ります。
5	リリース ボタン 	接続コールまたはセッションを終了します。
6	ナビゲーションパッドと選択ボタン 	<p>4方向のナビゲーションパッドを使用すると、メニューのスクロール、項目の強調表示、テキスト入力フィールド内での移動ができます。</p> <p>選択ボタン（ナビゲーションパッドの中央）を使用すると、強調表示された項目を選択できます。</p> <p>電話機が省電力モードまたは Power Save Plus モードのときは、選択ボタンが点灯しません（白色）。省電力モードおよび Power Save Plus モードをオーバーライドするには、選択ボタンを押します。</p>
7	会議ボタン 	会議コールを開始します。
8	保留ボタン 	接続されているコールを保留にします。
9	転送ボタン 	コールを転送します。
10	キーパッド 	電話番号のダイヤル、文字の入力、項目番号の入力によるメニュー項目の選択が可能です。
11	スピーカフォン ボタン 	<p>デフォルトのオーディオパスとしてスピーカフォンを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色に点灯します。</p> <p>スピーカフォンオーディオパスは、（ハンドセットを取り上げるなどして）新しいデフォルトオーディオパスを選択するまで変更されません。</p> <p>外部スピーカが接続されている場合、スピーカフォンボタンはその外部スピーカをデフォルトオーディオパスとして選択します。</p>

12	ミュート ボタン 	コール中にマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、このボタンは赤色に点灯しています。ミュートされている場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。
13	ヘッドセット ボタン 	デフォルトのオーディオパスとしてヘッドセットを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色に点灯します。 ヘッドセットアイコン  が電話スクリーンのヘッダー行に表示され、ヘッドセットがデフォルトのオーディオパスであることを示します。このオーディオパスは、（ハンドセットを取り上げるなどして）新しいデフォルトオーディオパスを選択するまで変更されません。
14	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。 着信コールが鳴っているときは、電話機の呼出音を消します。
15	メッセージ ボタン 	ボイスメールシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
16	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。システム管理者による電話機の設定方法によっては、このボタンを使用して、通話履歴、初期設定、電話の情報などのアプリケーションにアクセスできます。
17	連絡先ボタン 	[連絡先]メニューを開閉します。システム管理者による電話機の設定方法によっては、このボタンを使用して、パーソナルディレクトリ、社内ディレクトリ、または通話履歴にアクセスできます。
18	電話機のディスプレイ	好みの表示角度に配置できます。

19	<p>プログラマブル機能ボタン (機能ボタン)</p> 	<p>各ボタンは、電話回線、スピードダイヤル、コール機能に対応します。</p> <p>電話回線のアクティブコールを表示するには、その回線の電話回線ボタンを押します。</p> <p>複数の回線がある場合は、[すべてのコール]ボタンを使用して、全回線のすべてのコールをまとめたリストを表示できます（最も古いコールが一番上）。[すべてのコール]ボタンが表示されない場合、プライマリ回線は、自動ですべてのコールを表示するよう、システム管理者によって設定されている可能性があります。設定については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <p>カラーLEDは、回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ色  : この回線のコールを呼び出し中 • 緑色  : この回線のコールがアクティブまたは保留中 • 赤色  : 共有回線がリモートで使用中 <p>ヘブライ語やアラビア語など、右から左に文字を読むロケールを使用する電話機では、セッションボタンと機能ボタンの位置を逆にすることができます。</p>
20	<p>ライトストリップ付きのハンドセット</p>	<p>ハンドセットのライトストリップは、呼び出し中のコール（赤色にフラッシュ）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。</p>

電話スクリーン

システム管理者がどのように電話機を設定するかによって、電話スクリーンの表示内容が異なります。

単一回線の電話機



1	回線ラベル	回線の電話の情報が表示されます。
2	ヘッダー	日時と、選択された回線に関する情報（電話番号など）が表示されます。 コール中に、コールではなくヘッダーを強調表示している場合は、アイドル状態の電話機と同じソフトキーが表示されます。これは、コール中に [不在転送] または [発信] ソフトキーにアクセスする場合などに便利です。
3	セッション ボタンラベル（接続済みのコール用）	その回線で接続されているコールに関する情報（電話番号、通話時間など）が表示されます。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。
4	セッション ボタンラベル（保留中のコール用）	その回線で保留中のコールに関する情報（電話番号、通話時間など）が表示されます。 保留したコールを再開するには、対応するセッション ボタンを押します。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。

5	発信アイコン	対応するセッション ボタンを押すと新しいコールを発信できることを示します。
6	ソフトキー	選択（強調表示）されたコールだけに適用されるソフトキー オプションです。 他のコールを選択すると（機能ボタンを押す、ナビゲーションパッドを押す、呼び出し中のコールに応答するなど）、ソフトキー オプションが変更される場合があります。

複数の回線がある電話機

複数の回線がある場合は、[すべてのコール] を使用して、すべての回線上のすべてのコールを表示すると便利な場合があります。システム管理者は、すべての回線上のすべてのコールを自動で表示するようにプライマリ回線キーを設定することもできます。

一度に多数のコールを処理する場合は、[応答] を使用して一番古い着信コールに応答すると、コール リストを下方方向にスクロールしてコールを選択する必要がありません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



1	プライマリ回線ラベル	プライマリ電話回線に関する情報が表示されます。 選択されている回線を確認するには、回線ラベルの青いアイコンを確認します。この図ではプライマリ回線が選択されており、プライマリ回線に関する情報だけが表示されています。
---	------------	---

2	ヘッダー	日時と、選択された回線に関する情報（電話番号など）が表示されます。 コール中に、コールではなくヘッダーを強調表示している場合は、アイドル状態の電話機と同じソフトキーが表示されます。これは、コール中に [不在転送] または [発信] ソフトキーにアクセスする場合などに便利です。
3	セッション ラベル（接続コールアイコン付き）	選択した回線にかかってきた接続済みのコールに関する情報（コールステータス、通話時間など）が表示されます。
4	セッション ラベル（保留中のコールアイコン付き）	選択した回線にかかってきた保留中のコールに関する情報（コールステータス、通話時間など）が表示されます。 コールは、最も古いもの（一番上に表示）から順に、電話スクリーンの右側に表示されます。 そのセッションの保留中のコールを再開するには、保留中のコールアイコンの横にあるセッション ボタンを押します。
5	ソフトキー	選択されたコールだけに適用されるソフトキー オプションです。 他のコールを選択すると（機能ボタンまたはナビゲーションパッドを押す、呼び出し中のコールに応答するなど）、ソフトキー オプションが変更される場合があります。
6	応答ラベル	システム管理者がプログラマブル機能ボタンに応答機能を割り当てた場合に表示されます。 コールリストを下方向にスクロールしてコールを選択する必要なしに、最も古い着信コールに応答するには、このラベルまたは対応するボタンを押します。
7	スピードダイヤルラベル	ユーザまたはユーザのシステム管理者がプログラマブル機能ボタンにスピードダイヤルを割り当てた場合に表示されます。これは、電話機で5つを超えるアクティブコールを処理することが多い場合に便利です。
8	非プライマリ回線ラベル	コールと、非プライマリ回線に関する情報を表示します。

9	すべてのコール ラベル	<p>すべてのコール機能が有効な場合に表示されます。すべての回線上のすべてのコールを表示するには、対応するボタンを押します。</p> <p>コールは、最も古いもの（一番上に表示）から順に、電話スクリーンの右側に表示されます。</p> <p>通話中の場合は、[すべてのコール]を1回押して現在のコールまたはリストの最初のコールを選択するか、[すべてのコール]を2回押してヘッダーを選択します。ヘッダーを選択した場合は、アイドル状態の電話機のとおり同じソフトキーが表示されます。これは、電話機に複数の回線があり、[発信]ソフトキーにアクセスする場合などに便利です。</p> <p>電話機に複数の回線がある場合は、すべてのコール機能を使用することを推奨します。</p> <p>システム管理者は、プライマリ回線キーで[すべてのコール]と同じリストを表示するように、電話機を設定することもできます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>
---	-------------	---

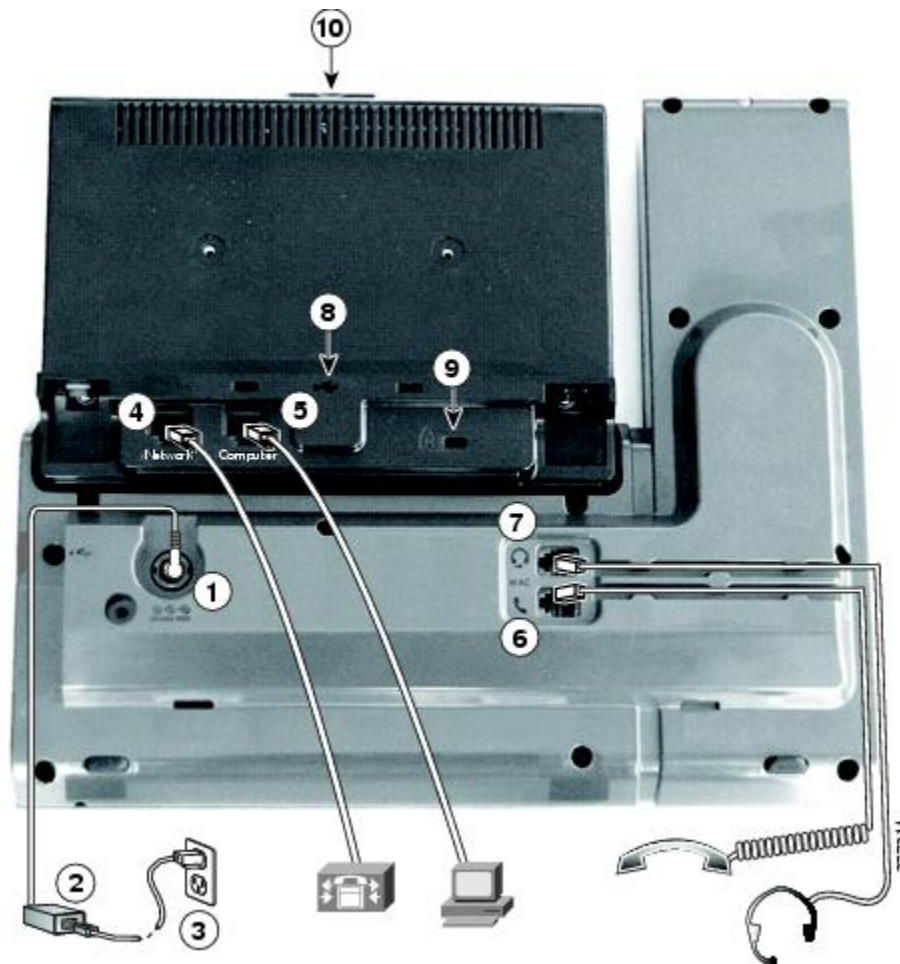
Cisco Unified IP Phone 9951

Cisco Unified IP Phone 9951 には次の機能があります。

- 電話機の接続部
- Bluetooth
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部

次の図を参照して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	ハンドセット接続
2	AC-DC 電源装置 (ネットワーク ポート接続用のオプション、ただし WiFi 接続では必須)	7	アナログヘッドセットの接続 (ヘッドセット オプション)
3	AC 電源コンセント (オプション)	8	USB ポート
4	IEEE 802.3af および 802.3at 電源対応のネットワーク ポート (10/100/1000 SW)	9	盗難防止用セキュリティコネクタ (ロック オプション)
5	コンピュータ ポート (10/100/1000 PC) の接続	10	カメラのピン用の穴 (Cisco Unified Video Camera 用)

次の図は、電話機の側面を示します。



1	USB ポート	3	スピーカポート (オプションの外部スピーカへの出力用)
2	アクセサリ コネクタ。Cisco Unified IP Phone 拡張モジュールの接続などに使用します	4	マイクロフォンポート (オプションの外部マイクロフォンからの入力用)



(注) 各 USB ポートは、電話機に接続されたサポート対象およびサポート対象外のデバイスを最大 5 台サポートします。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では、3 台の Cisco Unified IP Color Key Expansion Module、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイスなど、5 台の USB デバイスを側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます。多くのサードパーティ製 USB 製品は、複数の USB デバイスとしてカウントされます。たとえば、USB ハブとヘッドセットを備えたデバイスは、2 台の USB デバイスとしてカウントされることがあります。詳細は、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

Bluetooth

電話機は、ヘッドセットが Bluetooth をサポートしている場合は、Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。電話機には Bluetooth ヘッドセットを 5 個まで追加およびペアリングできますが、最後に接続された Bluetooth ヘッドセットがデフォルトとして電話機で使用されます。

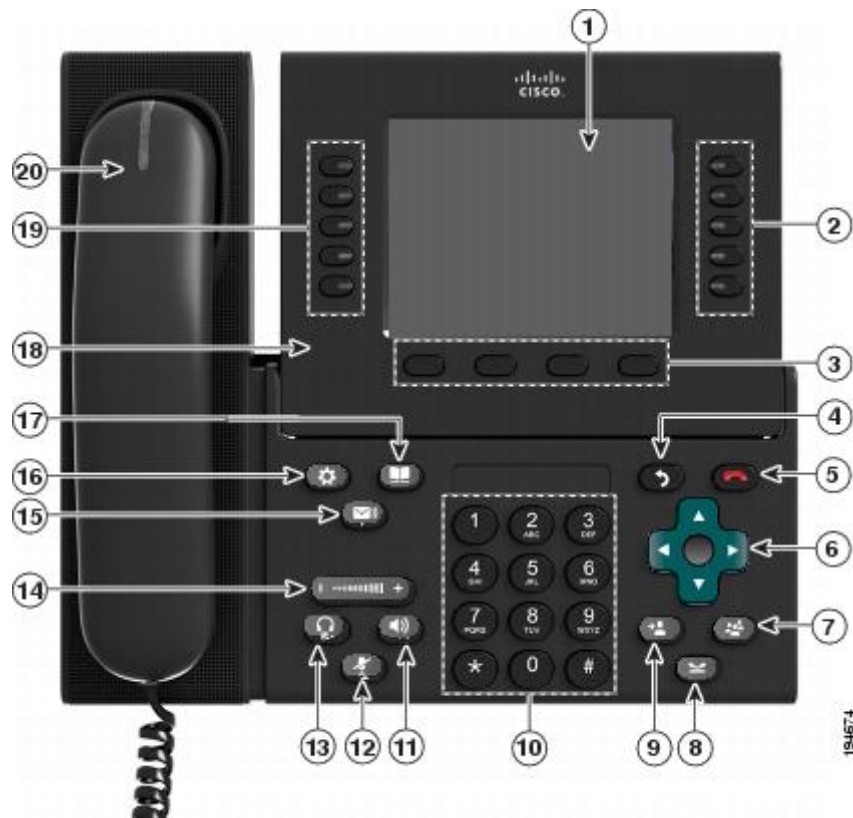
関連トピック

[Bluetooth ヘッドセット、\(158 ページ\)](#)

ボタンとハードウェア

電話機では、次のボタンを使用して、電話回線、機能、コールセッションにすばやくアクセスできます。

- プログラマブル機能ボタン（左側）：回線のコールの表示や、スピードダイヤルまたはすべてのコールなどの機能へのアクセスに使用します。これらのボタンは機能ボタンともいいます。
- セッションボタン（右側）：コールに応答する、保留中のコールを再開する、不在履歴表示のような電話機能を開始する（セッションボタンがアクティブコールで使用されていないとき）などの操作を実行するために使用します。電話機の各コールは、1つのセッションボタンに割り当てられます。







1	電話スクリーン	電話番号、コール情報（発信者ID、アクティブコールのアイコン、保留中のコールなど）、使用可能なソフトキーなど、電話機に関する情報が表示されます。
---	---------	--

<p>2</p> <p>セッション ボタン</p> 	<p>各ボタンは、アクティブ コールやコール機能に対応しています。このボタンを押したときのアクションは、電話の状態によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ コール：アクティブ コールに対するデフォルトアクションを行う場合に、このボタンを押します。たとえば、呼び出し中のコールに応答するには、このコールに対するセッション ボタンを押し、保留中のコールを再開するには、このコールに対するセッション ボタンを押します。発信者 ID や通話時間などのセッション情報は、セッションボタンの横にある電話スクリーンに表示されます。 • コール機能：セッション ボタンがアクティブ コールに使用されていないときには、横の電話スクリーンのアイコンで示される電話機機能を開始するために使用できます。たとえば、不在履歴を表示するとき、電話機をオフフックにすると、またはボイスメールシステムにダイヤルするとき（ボイスメールアイコンの横にある場合）にセッション ボタンを押します。 <p>カラー LED はコールの状態を次のように示します。LED は、フラッシュ（高速で明滅）、点滅（ライトが交互にオン/オフ）、または点灯（ライトが明るいまま途切れない）します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ色のフラッシュ ：コールを呼び出し中。コールに応答するには、このボタンを押します。 • 緑色に点灯 ：コールに接続している状態または発信コールがまだ接続していない状態。コールが接続されている場合、このボタンを押すと、コールの詳細または会議コールの参加者が表示されます。コールが接続されていない場合、このボタンを押すとコールが終了します。 • 緑色のパルス ：コールが保留中。保留したコールを再開するには、このボタンを押します。 • 赤色に点灯 ：共有回線がリモートで使用中。コールに割り込む場合にこのボタンを押します（[割り込み] が有効な場合）。 • 赤色のパルス ：共有回線コールがリモートで保留中。保留したコールを再開するには、このボタンを押します。 <p>ヘブライ語やアラビア語など、右から左に文字を読むロケールを使用する電話機では、セッション ボタンと機能ボタンの位置を逆にするすることができます。</p>
<p>3</p> <p>ソフトキー ボタン</p> 	<p>電話スクリーンに表示されたソフトキー オプション（選択されているコールまたはメニュー項目に対応）にアクセスできます。</p>

4	<p>戻るボタン</p> 	<p>前の画面またはメニューに戻ります。</p>
5	<p>リリース ボタン</p> 	<p>接続コールまたはセッションを終了します。</p>
6	<p>ナビゲーションパッドと選択ボタン</p> 	<p>4方向のナビゲーションパッドを使用すると、メニューのスクロール、項目の強調表示、テキスト入力フィールド内での移動ができます。</p> <p>選択ボタン（ナビゲーションパッドの中央）を使用すると、強調表示された項目を選択できます。</p> <p>電話機が省電力モードまたは Power Save Plus モードのときは、選択ボタンが点灯します（白色）。省電力モードおよび Power Save Plus モードをオーバーライドするには、選択ボタンを押します。</p>
7	<p>会議ボタン</p> 	<p>会議コールを開始します。</p>
8	<p>保留ボタン</p> 	<p>接続されているコールを保留にします。</p>
9	<p>転送ボタン</p> 	<p>コールを転送します。</p>
10	<p>キーパッド</p>	<p>電話番号のダイヤル、文字の入力、項目番号の入力によるメニュー項目の選択が可能です。</p>
11	<p>スピーカフォン ボタン</p> 	<p>デフォルトのオーディオパスとしてスピーカフォンを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色に点灯します。</p> <p>スピーカフォン オーディオパスは、（ハンドセットを取り上げるなどして）新しいデフォルト オーディオパスを選択するまで変更されません。</p> <p>外部スピーカが接続されている場合、スピーカフォン ボタンはその外部スピーカをデフォルト オーディオパスとして選択します。</p>

12	ミュート ボタン 	<p>コール中にマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、このボタンは赤色に点灯しています。</p> <p>ミュートされている場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。</p>
13	ヘッドセット ボタン 	<p>デフォルトのオーディオパスとしてヘッドセットを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色に点灯します。</p> <p>電話スクリーンのヘッダ行にヘッドセットアイコン  が表示されている場合は、ヘッドセットがデフォルトのオーディオパスであることを示しています。このオーディオパスは、（ハンドセットを取り上げるなどして）新しいデフォルトオーディオパスを選択するまで変更されません。</p>
14	音量ボタン 	<p>ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。</p> <p>着信コールが鳴っているときは、電話機の呼出音を消します。</p>
15	メッセージ ボタン 	<p>ボイスメールシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。</p>
16	アプリケーション ボタン 	<p>[アプリケーション]メニューを開閉します。システム管理者による電話機の設定方法によっては、このボタンを使用して、通話履歴、初期設定、電話の情報などのアプリケーションにアクセスできます。</p>
17	連絡先ボタン 	<p>[連絡先]メニューを開閉します。システム管理者による電話機の設定方法によっては、このボタンを使用して、パーソナルディレクトリ、社内ディレクトリ、または通話履歴にアクセスできます。</p>
18	電話機のディスプレイ	<p>好みの表示角度に配置できます。</p>

19	<p>プログラマブル機能ボタン (機能ボタン)</p> 	<p>各ボタンは、電話回線、スピードダイヤル、コール機能に対応しています。電話回線のアクティブコールを表示するには、その回線のボタンを押します。</p> <p>複数の回線がある場合は、[すべてのコール]ボタンを使用して、全回線のすべてのコールをまとめたリストを表示できます（最も古いコールが一番上）。[すべてのコール]ボタンが表示されない場合、プライマリ回線は、自動ですべてのコールを表示するよう、システム管理者によって設定されている可能性があります。設定については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <p>カラーLEDは、回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ色  : この回線のコールを呼び出し中 • 緑色  : この回線のコールがアクティブまたは保留中 • 赤色  : 共有回線がリモートで使用 <p>プログラマブル機能ボタンの位置は、ヘブライ語やアラビア語など、右から左に読むローケルを使用する電話機の場合は、セッションボタンの位置と入れ替えることができます。</p>
20	<p>ライトストリップ付きのハンドセット</p>	<p>ハンドセットのライトストリップは、呼び出し中のコール（赤色にフラッシュ）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。</p>

電話スクリーン

システム管理者がどのように電話機を設定するかによって、電話スクリーンの表示内容が異なります。

単一回線の電話機



1	回線ラベル	回線の電話の情報が表示されます。
2	ヘッダー	日時と、選択された回線に関する情報（電話番号など）が表示されます。
3	セッション ボタン ラベル（接続済みのコール用）	その回線で接続されているコールに関する情報（電話番号、通話時間など）が表示されます。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。
4	セッション ラベル（保留中のコール用）	その回線で保留中のコールに関する情報（電話番号、通話時間など）が表示されます。 保留したコールを再開するには、対応するセッション ボタンを押します。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。
5	発信アイコン	対応するセッションボタンを押すと新しいコールを発信できることを示します。
6	ソフトキー	選択（強調表示）されたコールだけに適用されるソフトキー オプションです。 他のコールを選択すると（機能ボタンを押す、ナビゲーションパッドを押す、呼び出し中のコールに応答するなど）、ソフトキー オプションが変更される場合があります。

複数の回線がある電話機

複数の回線がある場合は、[すべてのコール] を使用して、すべての回線上のすべてのコールを表示できます。システム管理者は、すべての回線上のすべてのコールを自動で表示するようにプライマリ回線キーを設定することもできます。

一度に多数のコールを処理する場合は、[応答] を使用して一番古い着信コールに応答すると、コールリストを下方向にスクロールしてコールを選択する必要がありません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



1	プライマリ回線ラベル	プライマリ電話回線に関する情報が表示されます。 選択されている回線を確認するには、回線ラベルの青いアイコンを確認します。この図ではプライマリ回線が選択されており、プライマリ回線に関する情報だけが表示されています。
2	ヘッダー	日時と、選択された回線に関する情報（電話番号など）が表示されます。
3	セッションラベル（接続コールアイコン付き）	選択した回線にかかってきた接続済みのコールに関する情報（コールステータス、通話時間など）が表示されます。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒 (MM:SS) でカウントします。その後、タイマーは、時間と分 (HH:MM) でカウントします。

4	セッション ラベル (保留中のコールアイコン付き)	<p>選択した回線にかかってきた保留中のコールに関する情報 (コールステータス、通話時間など) が表示されます。</p> <p>コールは、最も古いもの (一番上に表示) から順に、電話スクリーンの右側に表示されます。</p> <p>そのセッションの保留中のコールを再開するには、保留中のコールアイコンの横にあるセッション ボタンを押します。</p> <p>タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒 (MM:SS) でカウントします。その後、タイマーは、時間と分 (HH:MM) でカウントします。</p>
5	ソフトキー	<p>選択されたコールだけに適用されるソフトキー オプションです。</p> <p>他のコールを選択すると (機能ボタンを押す、ナビゲーションパッドを押す、呼び出し中のコールに応答するなど)、ソフトキーオプションが変更される場合があります。</p>
6	応答ラベル	<p>システム管理者がプログラマブル機能ボタンに応答機能を割り当てた場合に表示されます。</p> <p>コールリストを下方方向にスクロールしてコールを選択する必要なしに、最も古い着信コールに応答するには、このラベルまたは対応するボタンを押します。</p>
7	スピードダイヤル ラベル	<p>ユーザまたはユーザのシステム管理者がプログラマブル機能ボタンにスピードダイヤルを割り当てた場合に表示されます。</p>
8	非プライマリ回線ラベル	<p>非プライマリ電話回線に関する情報が表示されます。</p>
9	すべてのコール ラベル	<p>すべてのコール機能が有効な場合に表示されます。すべての回線上のすべてのコールを表示するには、対応するボタンを押します。</p> <p>コールは、最も古いもの (一番上に表示) から順に、電話スクリーンの右側に表示されます。</p> <p>現在のコールまたはリストの最初のコールを選択するには、ボタンを 1 回押します。ヘッダ行を選択するには、ボタンを 2 回押します。これにより新しいコールを発信できます。</p> <p>複数の回線がある場合は、[すべてのコール] ビューのほうが適切なことがあります。</p> <p>システム管理者は、プライマリ回線キーで [すべてのコール] ボタンと同じリストを表示するように、電話機を設定することもできます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>

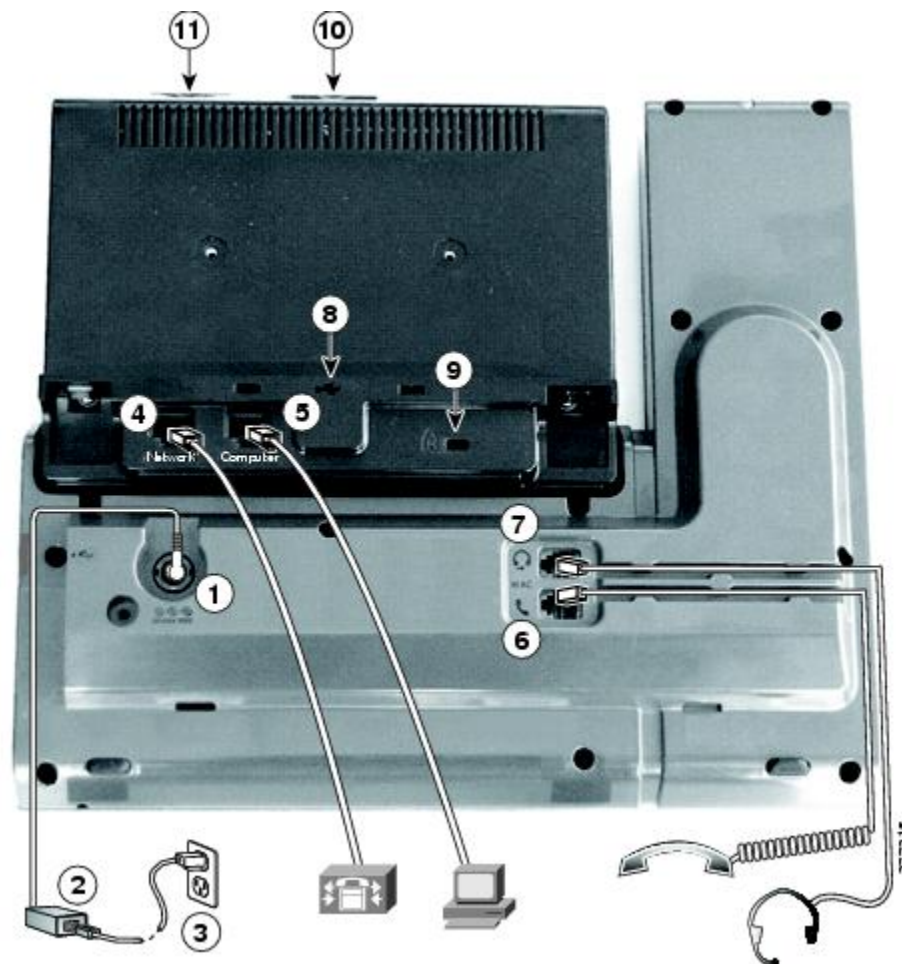
Cisco Unified IP Phone 9971

Cisco Unified IP Phone 9971 には次の機能があります。

- 電話機の接続部
- 無線接続および Bluetooth
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部

次の図を参照して、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	7	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)
---	---------------------	---	------------------------

2	AC-DC 電源装置（ネットワークポート接続用のオプション、ただし Wi-Fi 接続では必須）	8	USB ポート
3	AC 電源コンセント（オプション）	9	盗難防止用セキュリティロックコネクタ（ロックはオプション）
4	IEEE 802.3af および 802.3at 電源対応のネットワークポート（10/100/1000 SW）	10	カメラのピン用の穴（Cisco Unified Video Camera 用）
5	コンピュータポート（10/100/1000 PC）の接続	11	Secure Digital I/O（SDIO）スロット（このリリースでは不使用）
6	ハンドセット接続		

次の図は、電話機の側面を示します。



1	USB ポート	3	スピーカポート（オプションの外部スピーカへの出力用）
2	アクセサリコネクタ。Cisco Unified IP Phone 拡張モジュールの接続などに使用します	4	マイクフォンポート（オプションの外部マイクフォンからの入力用）



- (注) 各 USB ポートには、サポート対象およびサポート対象外のデバイスを 5 台まで接続できます。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス（たとえば 3 台の Cisco Unified IP Color Key Expansion Module、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイス）を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます。多くのサードパーティ製 USB 製品は、複数の USB デバイスとしてカウントされます。たとえば、USB ハブとヘッドセットを備えたデバイスは、2 台の USB デバイスとしてカウントされることがあります。詳細は、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

無線接続および Bluetooth

802.11a または 802.11b/g を使用すると、電話機を無線ネットワークに接続できますが、接続の設定はシステム管理者が行います。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機は、ヘッドセットが Bluetooth をサポートしている場合は、Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。電話機には Bluetooth ヘッドセットを 5 個までペアリングでき、接続できますが、最後に接続された Bluetooth ヘッドセットがデフォルトとして電話機で使用されます。

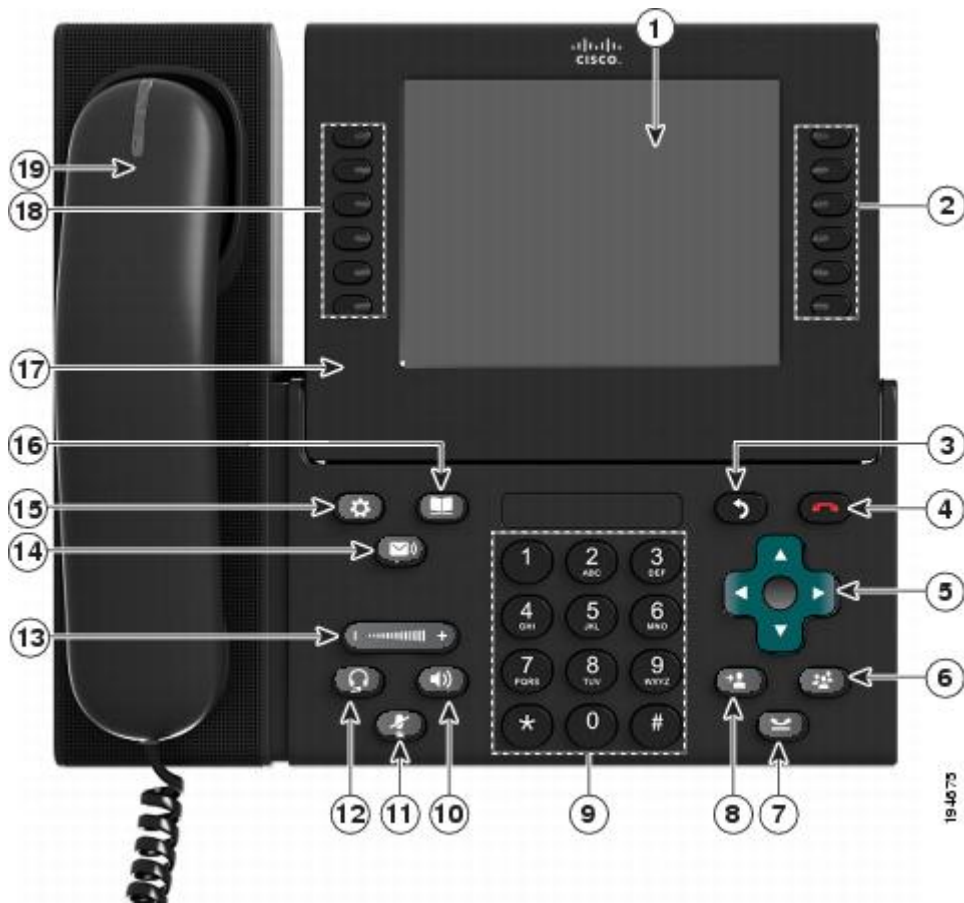
関連トピック

[Bluetooth ヘッドセット](#), (158 ページ)

ボタンとハードウェア

電話機では、次のボタンを使用して、電話回線、機能、コールセッションにすばやくアクセスできます。

- 機能ボタン（左側）を使用して、回線のコールの表示、またはスピードダイヤルやすべてのコールなどの機能にアクセスします。
- コールセッションボタン（右側）を使用して、コールの発信、コールの応答、保留中のコールの再開などのタスクを実行します。電話機の各コールは、1 つのセッションボタンに割り当てられます。







1	電話スクリーン	<p>電話番号、コール情報（発信者ID、アクティブコールのアイコン、保留中のコールなど）、使用可能なソフトキーなど、電話機に関する情報が表示されます。</p> <p>メニュー オプションやソフトキーなど電話スクリーンの項目は、指で触れると選択できます。</p>
---	---------	--

2	<p>セッション ボタン</p> 	<p>各ボタンは、アクティブ コールやコール機能に対応しています。このボタンを押したときのアクションは、電話の状態によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ コール：アクティブ コールに対するデフォルトアクションを行う場合に、このボタンを押します。たとえば、呼び出し中のコールに応答するには、このコールに対するセッション ボタンを押し、保留中のコールを再開するには、このコールに対するセッション ボタンを押します。発信者 ID や通話時間などのセッション情報は、セッションボタンの横にある電話スクリーンに表示されます。 • コール機能：セッション ボタンがアクティブ コールに使用されていないときには、横の電話スクリーンのアイコンで示される電話機機能を開始するために使用できます。たとえば、不在履歴を表示するとき、電話機をオフフックにするとき、またはボイスメールシステムにダイヤルするとき（ボイスメール アイコンの横にある場合）にセッション ボタンを押します。 <p>カラー LED はコールの状態を次のように示します。LED は、フラッシュ（高速で明滅）、点滅（ライトが交互にオン/オフ）、または点灯（ライトが明るいまま途切れない）します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ色のフラッシュ ：コールを呼び出し中。コールに応答するには、このボタンを押します。 • 緑色に点灯 ：コールに接続している状態または発信コールがまだ接続していない状態。コールが接続されている場合、このボタンを押すと、コールの詳細または会議コールの参加者が表示されます。コールが接続されていない場合、このボタンを押すとコールが終了します。 • 緑色のパルス ：コールが保留中。保留したコールを再開するには、このボタンを押します。 • 赤色に点灯 ：共有回線がリモートで使用中。コールに割り込む場合にこのボタンを押します（[割込み] が有効な場合）。 • 赤色のパルス ：共有回線コールがリモートで保留中。保留したコールを再開するには、このボタンを押します。 <p>ヘブライ語やアラビア語など、右から左に文字を読むロケールを使用する電話機では、セッション ボタンと機能ボタンの位置を逆にすることができます。</p>
3	<p>戻るボタン</p> 	<p>前の画面またはメニューに戻ります。</p>

4	リリース ボタン 	接続コールまたはセッションを終了します。
5	ナビゲーションパッドと選択ボタン 	<p>4方向のナビゲーションパッドを使用すると、メニューのスクロール、項目の強調表示、テキスト入力フィールド内での移動ができます。</p> <p>選択ボタン（ナビゲーションパッドの中央）を使用すると、強調表示された項目の選択、クリーニングのための電話スクリーンの無効化、電話スクリーンが省電力モードの場合はその有効化を行えます。</p> <p>電話機が省電力モードまたは Power Save Plus モードのときは、選択ボタンが点灯します（白色）。省電力モードおよび Power Save Plus モードをオーバーライドするには、選択ボタンを押します。</p>
6	会議ボタン 	会議コールを開始します。
7	保留ボタン 	接続されているコールを保留にします。
8	転送ボタン 	コールを転送します。
9	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、項目番号の入力によるメニュー項目の選択が可能です。
10	スピーカフォン ボタン 	<p>デフォルトのオーディオパスとしてスピーカフォンを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色に点灯します。</p> <p>スピーカフォンオーディオパスは、（ハンドセットを取り上げるなどして）新しいデフォルトオーディオパスを選択するまで変更されません。</p> <p>外部スピーカが接続されている場合、スピーカフォンボタンはその外部スピーカをデフォルトオーディオパスとして選択します。</p>

11	ミュート ボタン 	<p>コール中にマイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、このボタンは赤色に点灯しています。</p> <p>ミュートされている場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。</p>
12	ヘッドセット ボタン 	<p>デフォルトのオーディオパスとして有線または無線ヘッドセットを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色に点灯します。</p> <p>電話スクリーンのヘッダー行にヘッドセットアイコン  が表示されている場合は、ヘッドセットがデフォルトのオーディオパスであることを示しています。新しいデフォルトのオーディオパスが選択されるまで（ヘッドセットを取り上げるなど）、オーディオパスは変更されません。</p>
13	音量ボタン 	<p>ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。</p> <p>着信コールが鳴っているときは、電話機の呼出音を消します。</p>
14	メッセージ ボタン 	<p>ボイスメールシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。</p>
15	アプリケーション ボタン 	<p>[アプリケーション]メニューを開閉します。システム管理者による電話機の設定方法によっては、このボタンを使用して、通話履歴、初期設定、電話の情報などのアプリケーションにアクセスできます。</p>
16	連絡先ボタン 	<p>[連絡先]メニューを開閉します。システム管理者による電話機の設定方法によっては、このボタンを使用して、パーソナルディレクトリ、社内ディレクトリ、または通話履歴にアクセスできます。</p>
17	電話機のディスプレイ	<p>好みの表示角度に配置できます。</p>

18	<p>プログラマブル機能ボタン (機能ボタン)</p> 	<p>電話回線、スピードダイヤル、コール機能に対応しています。</p> <p>電話回線のアクティブコールを表示するには、その回線のボタンを押します。</p> <p>複数の回線がある場合は、[すべてのコール]ボタンを使用して、全回線のすべてのコールをまとめたリストを表示できます（最も古いコールが一番上）。[すべてのコール]ボタンが表示されない場合、プライマリ回線は、自動ですべてのコールを表示するよう、システム管理者によって設定されている可能性があります。設定については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <p>カラーLEDは、回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ色  : この回線のコールを呼び出し中 • 緑色  : この回線のコールがアクティブまたは保留中 • 赤色  : 共有回線がリモートで使用 <p>ヘブライ語やアラビア語など、右から左に文字を読むロケールを使用する電話機では、セッションボタンと機能ボタンの位置を逆にすることができます。</p>
19	<p>ライトストリップ付きのハンドセット</p>	<p>ハンドセットのライトストリップは、呼び出し中のコール（赤色にフラッシュ）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。</p>

電話スクリーン

システム管理者がどのように電話機を設定するかによって、電話スクリーンの表示内容が異なります。

単一回線の電話機



1	ヘッダー	日付、時刻、および選択された回線に関する情報（電話番号など）が表示されます。
2	プライマリ回線ラベル	プライマリ回線の電話機情報が表示されます。
3	セッションラベル	選択した回線にかかってきたアクティブコールに関する情報（コールステータス、通話時間など）が表示されます。コールは最も古いもの（一番上に表示）から順に表示されます。 タイマーでは、コールが60分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。
4	発信アイコン	指で触れると選択できるアイコンで、新しいコールを発信するときに押します。
5	ソフトキー	指で触れると選択できるソフトキーオプションで、選択（強調表示）されたコールだけに適用されます。 他のコールを選択すると（機能ボタンを押す、ナビゲーションパッドを押す、呼び出し中のコールに応答するなど）、ソフトキーオプションが変更される場合があります。

複数の回線がある電話機

複数の回線がある場合は、[すべてのコール] を使用して、すべての回線上のすべてのコールを表示できます。システム管理者は、すべての回線上のすべてのコールを自動で表示するようにプライマリ回線キーを設定することもできます。

一度に多数のコールを処理する場合は、[応答]を使用して一番古い着信コールに応答すると、コールリストを下方方向にスクロールしてコールを選択する必要がありません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



1	ヘッダー	日時と、選択された回線に関する情報（電話番号など）が表示されます。 （コール中に、コールではなくヘッダーを強調表示している場合は、アイドル状態の電話機と同じソフトキーが表示されます。これは、コール中に [不在転送] または [発信] ソフトキーにアクセスする場合などに便利です）
2	セッションラベル（接続済みのコール用）	選択した回線で接続されているコールに関する情報（コールステータス、通話時間など）が表示されます。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。
3	セッションラベル（保留中のコール用）	選択した回線にかかってきた保留中のコールに関する情報（コールステータス、通話時間など）が表示されます。 コールは、最も古いもの（一番上に表示）から順に、電話スクリーンの右側に表示されます。 そのセッションの保留中のコールを再開するには、保留中のコールアイコンの横にあるセッションボタンを押します。 タイマーでは、コールが 60 分を超えるまで、通話時間を分と秒（MM:SS）でカウントします。その後、タイマーは、時間と分（HH:MM）でカウントします。
4	ソフトキー	指で触れると選択できるソフトキー オプションです。
5	応答ラベル	システム管理者がプログラマブル機能ボタンに応答機能を割り当てた場合に表示されます。 コールリストを下方方向にスクロールしてコールを選択する必要なしに、最も古い着信コールに応答するには、このラベルまたは対応するボタンを押します。

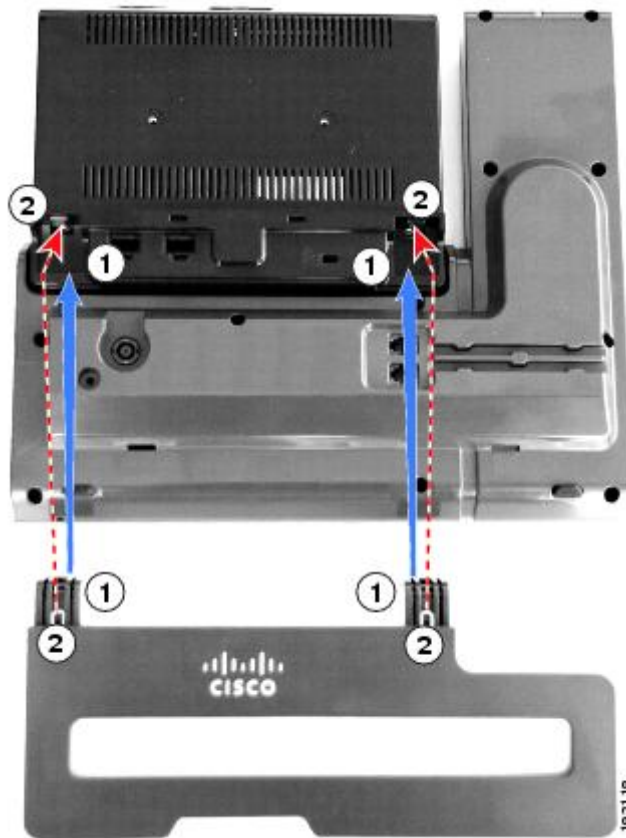
6	スピードダイヤルラベル	ユーザまたはユーザのシステム管理者がプログラマブル機能ボタンにスピードダイヤルを割り当てた場合に表示されます。
7	非プライマリ回線ラベル	非プライマリ電話回線に関する情報が表示されます。
8	すべてのコールラベル	<p>すべてのコール機能が有効な場合に表示されます。すべての回線上のすべてのコールを表示するには、対応するボタンを押します。</p> <p>コールは、最も古いもの（一番上に表示）から順に、電話スクリーンの右側に表示されます。</p> <p>通話中の場合は、[すべてのコール] を 1 回押して現在のコールまたはリストの最初のコールを選択するか、[すべてのコール] を 2 回押してヘッダーを選択します。ヘッダーを選択した場合は、アイドル状態の電話機と同じソフトキーが表示されます。これは、電話機に複数の回線があり、[発信] ソフトキーにアクセスする場合などに便利です。</p> <p>電話機に複数の回線がある場合は、すべてのコール機能を使用することを強く推奨します。</p>
9	プライマリ回線ラベル	<p>プライマリ電話回線に関する情報が表示されます。</p> <p>選択されている回線を確認するには、回線ラベルの青いアイコンを確認します。この図ではプライマリ回線が選択されており、プライマリ回線に関する情報だけが表示されています。</p> <p>システム管理者は、プライマリ回線キーで [すべてのコール] ボタンと同じリストを表示するように、電話機を設定することもできます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>

電話に関する全般情報

このセクションには、このガイドに記載されているすべてのモデルの IP 電話に共通する情報が含まれています。

フットスタンドの接続

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けます。



手順

-
- ステップ 1** 曲線状のコネクタを下のスロットに差し込みます。
- ステップ 2** コネクタが上のスロットにはまるまでフットスタンドを持ち上げます。
 (注) フットスタンドの取り付けおよび取り外しは、予想よりも若干強い力が必要な場合があります。
-

電話機ディスプレイ表示角度の調整

電話機ディスプレイの表示角度は、好みに応じて調整できます。

手順

左手でハンドセットと受け台を持ち、右手でディスプレイの右側にあるベゼルの右側を持ち、両手をそれぞれ反対方向へ前後に動かして角度を調整します。
 次の図は、Cisco Unified IP Phone 9971 の表示角度を示します。



項目のナビゲーションおよび選択

操作	アクション	例
画面をスクロールして項目を強調表示する。	ナビゲーションパッドを押す。	不在履歴リストのコールを強調表示する。
項目を番号で選択する。	キーパッドで該当する番号を押す。	2 を押して [アプリケーション] メニューの 2 番目の項目を選択する。
選択ボタンを使用して項目を選択する。	ナビゲーションパッドの中央にある選択を押す。	設定アプリケーションを強調表示し、選択を押す。
サブメニューに移動する。 (メニュー項目の横にある右矢印 (>) は、サブメニューが存在することを示します)	メニュー項目を強調表示し、キーパッドの項目番号を押す。 または、ナビゲーションパッドの下向き矢印を押し、選択ボタンを押す。	[ネットワークのセットアップ] メニューを強調表示し、1 を押してサブメニューを開く。
コール機能に使用する回線を選択する (回線がアイドル状態のとき)。	回線ボタンを押す。 回線選択のインジケータは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 選択した回線は、電話スクリーンのヘッダーに表示されます。 • (回線ラベルの) アイコンの色は青に変わります。 	回線ボタンを押してから [不在転送] を押して、その回線のコールを転送する。

操作	アクション	例
コール機能を使用する回線を選択する（回線に1つ以上のアクティブコールがある場合）。	<p>回線ボタンを押す。</p> <p>回線選択のインジケータは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択した回線は、電話スクリーンのヘッダーに表示されます。 • （回線ラベルの）アイコンの色は青に変わります。 	回線ボタンを2回押してから [不在転送] を押して、その回線のコールを転送する。

省電力および Power Save Plus

システム管理者が設定できる省エネモードには、2つのレベルがあります。

- 省電力：使用していない時間が一定の期間が経つと電話機の表示が消えて、必要な電力が低下します。
- Power Save Plus：所定の時間で電話機の表示が消えて、電話機のオン/オフが切り替わります。これにより、電話機に供給される電力が大幅に削減されます。

節電

システム管理者が行った電話機の設定によっては、電話機のディスプレイが省電力モードになる（電話スクリーンに何も表示されず、選択ボタンが白く点灯している）場合があります。

電話機のディスプレイをオンにするには、任意のボタンを押すか、何も表示されていない電話スクリーンに指で触れるか、ハンドセットを取り上げます。

Power Save Plus

ご使用の Cisco Unified IP Phone では、Power Save Plus とも呼ばれる、Cisco EnergyWise (EW) プログラムをサポートしています。システム管理者は、節電のために電話機のスリープ（電源オフ）時間とウェイク（電源オン）時間を設定します。

スケジュールしたスリープ時刻の10分前になると、選択ボタンが点滅し、指定された時刻に電話機の電源がオフになることを示すメッセージが出されます。システム管理者によって有効にされている場合は、再生される呼出音も聞こえます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの10分前に、呼出音が4回再生される
- 電源オフの7分前に、呼出音が4回再生される
- 電源オフの4分前に、呼出音が4回再生される

- 電源オフの 30 秒前に、呼出音は、15 回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生される

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がまもなくオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話をアクティブのままにするには、メッセージの [OK] を押すか、電話機の任意のキーを押す必要があります。ボタンおよびいずれのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がまもなくオフになることを通知するメッセージが表示されます。

電話機がスリープ状態になったときに電話機を復帰させるには、選択を押します。電話機が一定期間非アクティブになっていると、電話機の電源がまもなくオフにされることを通知するメッセージが表示されます。設定されている復帰時間になると電話機の電源がオンになります。

復帰時間とスリープ時間は、設定済みの通常の労働日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機のディスプレイのクリーニング

電話機がスリープモードになっているときは、タッチスクリーンは空白で、選択ボタンは点灯しません。電話機がこの状態のときはスクリーンをクリーニングできます。ただし、クリーニングを終了するまで電話機のスリープ状態が続くとわかっている場合に限りです。クリーニング中に電話機が復帰する可能性がある場合は、強制的に復帰するか、復帰状態になるまで待つから、前述のクリーニング手順を実行します。



注意

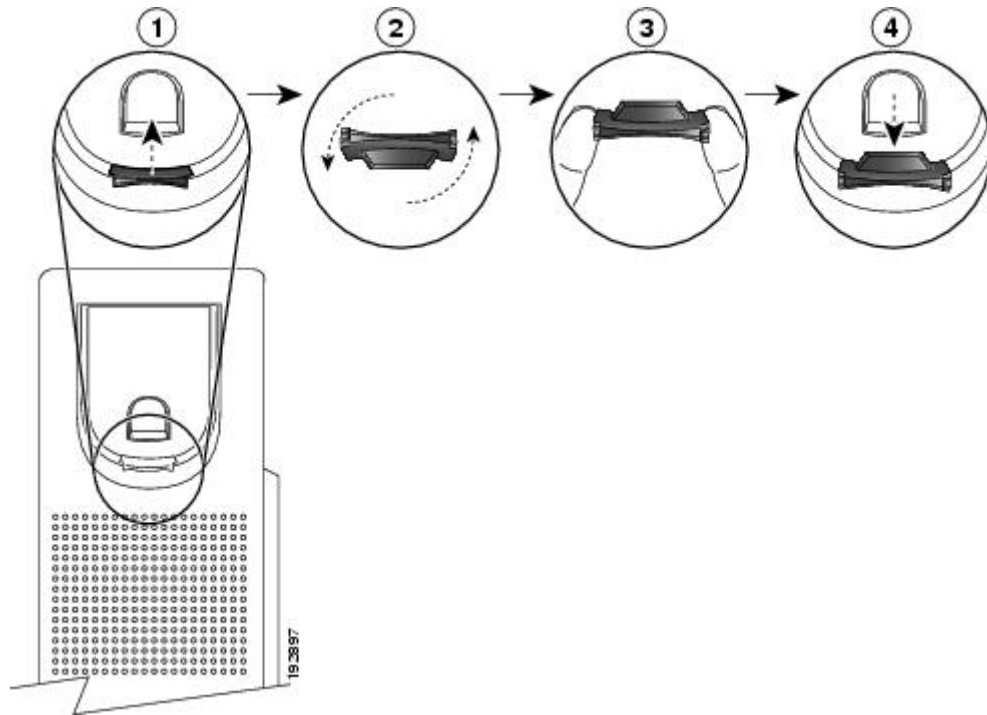
電話機のディスプレイを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

手順

- ステップ 1** 電話機のディスプレイをクリーニングする前に、「タッチスクリーンが無効です」というメッセージが表示されるまで選択を押して、電話スクリーンを無効にします。電話スクリーンは、60 秒に自動的に有効に戻ります。
- ステップ 2** クリーニング後に電話スクリーンを手動で有効に戻すには、「タッチスクリーンは有効です」というメッセージが表示されるまで選択を押します。

ハンドセット受け台の調整

電話機が壁に取り付けられている場合は、ハンドセットが受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



手順

-
- ステップ1 ハンドセットを外し、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
 - ステップ2 タブを 180 度回します。
 - ステップ3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
 - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
 - ステップ5 ハンドセットをハンドセット受け台に戻します。
-

ハンドセットオーディオのチューニング

ハンドセットの低音が大きすぎると感じる場合は、システム管理者に問い合わせて、デフォルトの低音設定を変更するよう依頼してください。

電話機およびケーブルロック

ラップトップケーブルロックを使用して、Cisco Unified IP Phone 8961/9951/9971 をデスクトップに固定できます。ロックを電話機の背面にある盗難防止用セキュリティコネクタに接続し、ケーブルをデスクトップに固定できます。

セキュリティスロットには最大20mmの幅のケーブルを挿入できます。互換性のあるラップトップケーブルロックとして **Kensington** 製のラップトップケーブルロック、および電話機の背面にあるセキュリティスロットに適合するその他のメーカー製ラップトップケーブルロックがあります。



第 2 章

アプリケーション

電話アプリケーションを使用すると、次のいずれかにアクセスできます。

- [通話履歴, 41 ページ](#)
- [設定, 46 ページ](#)
- [アクセサリ, 49 ページ](#)
- [WLAN へのログイン, 55 ページ](#)
- [実行中のアプリケーション, 57 ページ](#)
- [電話の情報, 58 ページ](#)
- [管理者設定, 58 ページ](#)
- [VPN クライアント, 59 ページ](#)


通話履歴



通話履歴を使用すると、電話機の最近の 150 件のコールに関する情報を表示できます。通話履歴には、個々のコールおよびコールグループが、最新のコールから一番古いコールの順にリストされます。電話機に複数の回線がある場合、すべての回線上のコールが集計されます。150 のコール制限を超えた最も古いコールが、履歴からドロップされます。

[通話履歴]画面の右上隅には、表示されている通話履歴の回線名または番号を示す回線情報（「回線：5623」など）が表示されます。

管理者によって設定されている場合は、各通話履歴エントリの横にアイコンが表示されます。アイコンは、コールを発信した人のステータスである [不明]、[アイドル]、[話し中]、または [サイレント] を示します。

コールレコードまたはコールグループごとに、発信者 ID の左側にあるアイコンは、次のコールタイプを示します。

- 受信：

- 発信 : 
- 不在着信 : 

発信者 ID を使用できない場合は、「不明」が表示されて、電話番号がリストされます。

同じ発信者 ID と電話番号に対するコールは、時系列順に発生しており、関連付けられたコールがない場合に限りグループ化されます。各グループについて、最新コールの時刻およびコールの数（「(3)」など）が表示されます。



- 着信（受信）と発信コールはグループ化されます。
- 不在履歴は、別個のグループ内にグループ化されます。

各個別コールレコードまたはコールグループについて、電話番号は青字で示され、指で触れることによってダイヤルできます。

ハントグループとマルチパーティコールには、通常のコールと区別するアイコンが発信者 ID の右側に表示され、これらのコールは、リスト内で隣接している場合でもグループ化されません。

通話履歴、リダイヤル、またはコールディレクトリのエントリにあるプラス (+) 記号は、その電話機が国際コールをリストするように設定されていることを示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

共有回線に対する受信コールおよび発信コールは、通話履歴に記録されます。すべての通話履歴ログを表示するには、[通話履歴] 画面を開きます。次の表に、コールの状態、アイコン、および共有回線のタグを示します。

コール状態	コールアイコン	タグ
ローカルで発信したコール		発信
ローカルで受信したコール		着信
リモートで発信されたコール		リモートで発信
リモートで受信されたコール		リモートで受信
不在履歴		不在

通話履歴の回線ステータス

この機能がシステム管理者によって有効にされている場合、[通話履歴] リストでは、監視対象の回線のステータスを表示できます。[通話履歴] リストの各通話履歴項目には、回線の状態を示すアイコンが表示されます。次の状態があります。

- 不明

- アイドル
- 話中
- サイレント


通話履歴の表示


手順

- ステップ 1** アプリケーションを押します。
- ステップ 2** [通話履歴] を選択します。
- ステップ 3** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールしてコールレコードまたはコールグループを選択します。
- ステップ 4** [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。

コールレコードの詳細の表示


手順

- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [通話履歴] を選択します。
- ステップ 3** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 4** コールレコードまたはグループを選択し、[詳細] を押します。
必要に応じて、先に[次へ]ソフトキーを押します。コールレコード上では、ナビゲーションパッドの右矢印を押してコールの詳細を表示することもできます（アラビア語など右から左モードを使用する電話機では逆の場合あり）。
 - [詳細]画面は個別のコールごとであり、右上隅に「回線：5782」などの回線情報が表示され、コール名、コール番号、代替番号（該当する場合）、コールの性質（コールタイプ）、通話時間、コールの時刻が表示されます。
 - コールグループごとに表示される詳細は、個々のコールの場合と同じです。唯一の違いは、コールのグループであるため、コールの性質（コールタイプ）、通話時間、コールの時刻など、コールに関連する情報が複数表示される点です（発信、受信、または不在）。不在履歴のグループでは、個々のレコードに通話時間は表示されません。
 - 各マルチパーティコールまたはハントグループコールについて、[詳細]画面の右上隅には、回線情報が表示されます。画面の上部に示されている発信者IDと番号について、コール名、コール番号、代替番号、およびハントグループ情報が、該当するかどうかに応じて表示されます。

- ステップ5 [戻る]  を押して [通話履歴] 画面に戻ります。
- ステップ6 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
- ステップ7 接続中のコール上で [詳細の表示] を押して [コールの詳細] 画面を表示します。
この画面には、単一のコール情報と通話時間が表示され、1 秒ごとに更新されます。




通話履歴のフィルタ

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。デフォルトでは、「すべてのコール」に対する通話履歴が表示されます。この情報は、画面の上部に表示されます。「回線：5623」などの回線情報が右上隅に表示されます。
- ステップ3 特定の電話回線のコールをソートするには、その電話回線を選択し、この回線の個々のコールまたはコールグループを表示します。
- ステップ4 選択した回線を不在履歴でソートするには、[不在履歴] ソフトキーを押します。
- ステップ5 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。




通話履歴からのダイヤル

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3 [通話履歴] 画面でダイヤルするコールレコードを選択し、次のいずれかを実行します。
 - [コール] を押します。
 - ハンドセットを取り上げます。
 - [選択] を押します。
 - スピーカフォン  または ヘッドセット  を押します。
- ステップ4 電話機がアイドル状態のときは、ナビゲーションパッドの下矢印を押して、[オンフック ダイヤル] 画面を表示できます。


通話履歴の電話番号の編集

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [通話履歴] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3 編集するコールレコードを強調表示します。
- ステップ4 [編集] を押します。
必要に応じて、先に [次へ] を押します。
- ステップ5 ナビゲーションパッドの右または左矢印を押して、カーソルを目的の場所に移動します。
- ステップ6  を押して、カーソルの左にある番号を削除します。
- ステップ7 [コール] を押して、新しく編集された番号にダイヤルします。
- ステップ8 [戻る]  を押して [通話履歴] 画面に戻ります。


通話履歴のクリア

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [リストのクリア] を押して、電話機の通話履歴全体をクリアします。
- ステップ4 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。

通話履歴からのコールレコードの削除

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
 - ステップ3 削除する個々のコールレコードまたはコールグループを強調表示します。
 - ステップ4 個々のコールレコードを削除するには、[削除] を押します。
必要に応じて、先に [次へ] を押します。
 - ステップ5 コールグループを削除するには、[削除] を押して、グループ内のコールをすべて削除します。
コールのグループ全体を削除することを確認するために、「レコードの削除」アラートメッセージが表示されます。
 - ステップ6 [削除] を押してレコードを削除するか、必要に応じて [キャンセル] を押します。
 - ステップ7 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-

設定

[設定] では、以下の項目に対するユーザ設定を指定できます。



- 呼出音
- 壁紙
- 明るさ
- Bluetooth

呼出音

着信コールを示すために電話機が再生する呼出音に、回線ごとに異なる呼出音を選択できます。
電話機へのカスタム呼出音の追加については、システム管理者にお問い合わせください。

呼出音の変更

手順


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして [設定] を選択します。
- ステップ3 [呼出音] を選択します。
- ステップ4 呼出音を強調表示します。
- ステップ5 [選択] または [編集] を押します。
- ステップ6 [再生] を押して、サンプルの呼出音を再生します。
- ステップ7 [設定] を押して、呼出音を適用します。
- ステップ8 戻る  を押して、[設定] 画面に戻ります。

壁紙

壁紙を変更できるかどうかは、システム管理者が制御します。壁紙を変更できる場合は、電話機に付属の壁紙か、独自のカスタム壁紙を、電話機に設定できます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

壁紙の変更

手順


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3 [壁紙] を選択し、壁紙オプションを選択します。
- ステップ4 [プレビュー] を押して、電話スクリーンの壁紙を確認します。
- ステップ5 [設定] を押して、壁紙を電話機に適用します。

明るさ

電話スクリーンの明るさのレベルを調整できます。

明るさの調整

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定] を選択します。ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3** [明るさ] を選択します。
- 明るくするには、ナビゲーションパッドの右矢印を押します。
 - 暗くするには、ナビゲーションパッドの左矢印を押します。
- ステップ 4** [保存] を押して明るさを設定するか、[キャンセル] を押して終了します。
-



Bluetooth

システム管理者が電話機に Bluetooth 機能を設定している場合は、電話機から Bluetooth をオン/オフできます。

Bluetooth の電源オン

(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)



手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [設定] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3** [Bluetooth] を選択します。
- ステップ 4** [オン] を押します。
- Bluetooth アイコン  が電話スクリーンのヘッダーに表示されます。
- ステップ 5** (任意) このスクリーンから Bluetooth アクセサリを追加するには、もう一度 [Bluetooth] を選択し、[アクセサリを追加] を押します。
-

Bluetooth の電源オフ


(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [設定] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3 [Bluetooth] を選択します。
- ステップ4 [オフ] を押します。
電話スクリーンのヘッダーに Bluetooth アイコン  が表示されなくなります。

ヘッドセットの側音の調整

システム管理者によって電話機にヘッドセットの側音の制御機能が設定されている場合は、電話機からヘッドセットの音量を指定できます。


- アプリケーション  を押す
- ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用して、[設定] を選択します。
- [ヘッドセットの側音] を選択します。
- 5つの側音レベルのいずれかを選択します。
 - オフ
 - 非常に低い
 - 低い
 - 標準
 - 高い

アクセサリ

ヘッドジャック、Bluetooth、または USB を使用して、電話機に外部ハードウェアを接続できます。アクセサリリストには、アナログヘッドセットがデフォルトで含まれています。このヘッドセットは、ワイドバンドを有効にするように設定できます。


アクセサリ リストの表示

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [アクセサリ] を選択します。
電話機のアクセサリのリストが表示されます。
- ステップ 3** [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-



アクセサリの詳細の表示

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
電話機のアクセサリのリストが表示されます。
- ステップ 3** リストからアクセサリを選択し、[詳細] を押します。
電話スクリーンに、選択したアクセサリの詳細が表示されます。電話スクリーンに表示される情報は、選択したアクセサリによって異なります。大半のアクセサリの詳細は次のとおりです。
- デバイス名
 - ホスト名
 - デバイス タイプ
 - デバイスのサービス
 - ファームウェア バージョン
 - ペア化されているステータス (Bluetooth デバイス用)
 - 接続ステータス
 - 設定ステータス
- ステップ 4** [設定] を押して、電話機で選択したアクセサリを設定します。
- ステップ 5** [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。
-

アナログヘッドセット用ワイドバンドの設定

手順


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [アクセサリ] を選択します。
電話機のアクセサリのリストが表示されます。
- ステップ3 [アナログヘッドセット] を選択し、[セットアップ] を押します。
電話スクリーンに、アナログヘッドセットのワイドバンドの状態が表示されます。
- ステップ4 アナログヘッドセットのワイドバンドを有効にするには、[オンにする] を押します。
- ステップ5 アナログヘッドセットのワイドバンドを無効にするには、[オフにする] を押します。
- ステップ6 [戻る]  を押して [アクセサリ] 画面に戻ります。


Bluetooth アクセサリの追加

電話機に追加する Bluetooth アクセサリは、事前に検出されている必要があります。Bluetooth アクセサリの LED が点滅しているか確認します。LED の点滅は、そのデバイスが検出可能であることを示しています。詳細については、Bluetooth アクセサリの製造元から提供されたマニュアルを参照してください。

(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

手順


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3 [Bluetooth アクセサリの追加] を選択します。
電話機が、サポートされている検出可能なアクセサリを検索します。検出されたアクセサリは、[Bluetooth アクセサリの追加中] 画面のリストに追加されます。
- ステップ4 アクセサリを選択し、[接続] を押します。
電話機では、Bluetooth デバイスの PIN 「0000」 を使用して、アクセサリへの接続を自動的に試行します。
- ステップ5 異なる PIN を必要とするアクセサリであり、[PIN の追加] 画面が表示される場合は、アクセサリの PIN を入力します。

接続が完了すると、電話スクリーンのヘッダーに Bluetooth 有効アイコン  が表示され、接続されたアクセサリの横にチェックマークが表示されます。

Bluetooth アクセサリの削除

(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3 Bluetooth アクセサリを選択し、[削除] を押します。
Bluetooth アクセサリが切断され（接続されている場合）、アクセサリリストから削除されます。



Bluetooth アクセサリの接続

(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

はじめる前に

Bluetooth アクセサリは、アクセサリとして電話機に追加してから接続する必要があります。


手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3 Bluetooth アクセサリを選択し、[接続] を押します。
接続が完了すると、電話スクリーンのヘッダーに Bluetooth 有効アイコン  が表示され、接続されたアクセサリの横にチェックマークが表示されます。

Bluetooth アクセサリの切断



(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

手順

-
- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** Bluetooth アクセサリを選択し、[切断] を押します。
-



カメラの詳細の表示

手順

-
- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** [Cisco Unified Video Camera] を選択して、[詳細] を押します。
- ステップ4** [戻る]  を押して [アクセサリ] 画面に戻ります。
-



カメラの設定の表示

手順

-
- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** Cisco Unified Video Camera を選択して、[セットアップ] を押します。
次のカメラの機能を設定できます。
- 自動転送
 - 明るさ
 - 表示領域
- ステップ4** [戻る]  を押して [セットアップ] 画面に戻ります。
-



自動転送の有効化

手順

- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** [Cisco Unified Video Camera] を選択します。
- ステップ4** [セットアップ] を押します。
- ステップ5** [オンにする] を押して自動転送機能を有効にするか、[戻る]  を押して [セットアップ] 画面に戻ります。
-



カメラの明るさの調整

手順

- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** [Cisco Unified Video Camera] を選択します。
- ステップ4** [明るさ] を選択します。
- 明るくするには、ナビゲーションパッドの右矢印または上矢印を押します。
 - 暗くするには、ナビゲーションパッドの左矢印または下矢印を押します。
- ステップ5** 明るさを設定するには、[保存] を押します。[セットアップ] 画面に戻るには、[戻る]  を押します。
-


カメラの表示領域の調整

手順

-
- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** [Cisco Unified Video Camera] を選択します。
- ステップ4** [表示領域] の選択
- カメラの表示領域を増やすには、ナビゲーションパッドの右矢印または上矢印を押します。
 - カメラの表示領域を減らすには、ナビゲーションパッドの左矢印または下矢印を押します。
- ステップ5** コントラストを設定するには、[保存] を押します。[セットアップ] 画面に戻るには、[戻る]  を押します。
-

カメラのリセット

手順


-
- ステップ1** アプリケーション  を押します。
- ステップ2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3** [Cisco Unified Video Camera] を選択して、[リセット] を押します。
Cisco Unified Video Camera の設定がデフォルトの設定にリセットされます。
- ステップ4** [キャンセル] を押して、[アクセサリ] 画面に戻ります。
-

WLAN へのログイン

WLAN にアクセスするには、ログインする必要があります。Wi-Fi 接続用の電話機の設定は、システム管理者が行います。電話機での WLAN の有効化に関する情報、電話機で使用できる WLAN セキュリティモード、およびアクセスポイント情報を表示するサイト調査情報については、システム管理者にお問い合わせください。




WLAN へのログイン

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [WLAN のサインイン] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3** [ログイン] を押します。
ログインに成功すると、電話スクリーンの右上隅に Wi-Fi 信号の強度が表示されます。
-



Wi-Fi に関する問題は、電話スクリーン上にビジュアル通知として表示されます。

電話機に表示されるさまざまな Wi-Fi 信号の種類については、下の表を参照してください。

	アクセス ポイントが検出されなかった
	アクセス ポイントが検出された
	アクセス ポイントの信号のレベル (1 ~ 4)

WLAN のログインの変更

手順


-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [WLAN のサインイン] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3** 選択を押し、キーパッドでユーザ ID を入力します。
 を使用して、[ユーザ ID] フィールドのデータを削除します。キーパッドを使用してユーザ ID を入力します。
- ステップ 4** ナビゲーションパッドの下矢印を押し、パスワードを入力します。
- ステップ 5** 選択を押し、キーパッドでパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を押します。
-

実行中のアプリケーション

ディレクトリなど[アプリケーション]メニューにないものも含めて、電話機で実行中のアプリケーションを表示できます。まだ同意していない場合は、リモートワーカーの場合に必要な免責事項が、まず表示されることがあります。


アクティブ アプリケーションの表示

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [実行中のアプリケーション] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
電話機で実行されているアプリケーションのリストが表示されます。これには、[アプリケーション]メニューにないものも含まれます。
- ステップ3 [アプリケーション] 画面に戻るには、[終了] を押します。


アクティブ アプリケーションへの切り替え

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [実行中のアプリケーション] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ3 実行中のアプリケーションを選択し、[切り替え] を押して、選択したアプリケーションを開いて使用します。
- ステップ4 [終了] を押して、アプリケーションを閉じます。

アクティブ アプリケーションの終了

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [実行中のアプリケーション] を選択します。

ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。

ステップ 3 実行中のアプリケーションを選択し、[閉じる]を押してアプリケーションを閉じます。

- 変更を保存せずにアプリケーションを閉じるには、[閉じる]を押します。
- アプリケーション終了操作を取り消すには、[キャンセル]を押します。

ステップ 4 [アプリケーション]画面に戻るには、[終了]を押します。


電話の情報

[電話の情報] ウィンドウには、電話機に関する次の情報が表示されます。

- モデル番号
- IP アドレス（一部の電話機には IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが表示されます）
- MAC アドレス
- アクティブ ロード
- 最終アップグレード
- アクティブ サーバ
- スタンバイ サーバ

電話の情報の表示

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [電話の情報] を選択します。

ステップ 3 [アプリケーション]画面に戻るには、[終了] ソフトキーを押します。

管理者設定


管理者設定へのアクセスおよび変更方法については、システム管理者にお問い合わせください。

VPN クライアント

VPNクライアントは、電話機が信頼できるネットワークの外部にあるか、ネットワークトラフィックが信頼できないネットワークを横断する場合に、電話機上でバーチャルプライベート ネットワーク (VPN) 接続を確立します。システム管理者は、必要に応じて、VPNクライアント機能を設定します。

電話機にVPNクライアントが設定されている場合は、ネットワーク接続の自動検出のステータスによって、VPN接続の可否が判別されます。

- 電話機が社内ネットワークの外部にある場合：
 - ネットワーク接続の自動検出が無効の場合、VPN接続は可能です。[ログイン]画面が表示され、クレデンシャルに関する指示が電話機に表示されます。電話機の[アプリケーション]>[VPN]ウィンドウで、[VPN有効]フィールドを切り替えることにより、VPN接続を試行する電話機の機能を制御できます。
 - ネットワーク接続の自動検出が有効な場合は、[ログイン]画面が表示され、システム管理者によって電話機に設定されている認証方式に基づいて、クレデンシャルに関する指示が電話機に表示されます。
- 電話機が社内ネットワークの内部にある場合：
 - ネットワーク接続の自動検出が無効の場合、VPN接続は可能です。[ログイン]画面が表示され、クレデンシャルに関する指示が電話機に表示されます。電話機の[アプリケーション]>[VPN]ウィンドウで、[VPN有効]フィールドを切り替えることにより、VPN接続を試行する電話機の機能を制御できます。
 - ネットワーク接続の自動検出が有効な場合は、VPNを介して接続できないため、[ログイン]画面は表示されず、クレデンシャルに関する指示は表示されません。

VPNステータスメッセージを表示するには、アプリケーション  を押し、[管理者設定]>[ステータス]>[ステータスメッセージ]を選択します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

VPN を介した接続

手順

- ステップ1** 電話機の電源をオンにし、[VPN ログイン]画面が表示された後（証明書認証モードの場合は除く）、設定された認証方式に基づいて次のクレデンシャルを入力します。
 - ユーザ名とパスワード：システム管理者から提供されたユーザ名とパスワードを入力します。

- 証明書とパスワード：システム管理者から提供されたパスワードを入力します。ユーザ名は証明書から得られます。
- 証明書：認証に証明書だけを使用する電話機では、[ログイン]画面は表示されず、VPN接続を試行している電話機のステータスが電話機に表示されます。

特定の状況下で電源が失われたり、リセットされたりすると、保存されているクレデンシャルがクリアされます。

- ステップ 2** [ログイン]を選択して接続します。
- 電話機で接続を試行中に[キャンセル]を押すと、この接続試行は停止されて、[ログイン]画面が再度表示されます。その後、[キャンセル]を押すと[VPN]メニューが表示され、[VPN有効]フィールドが[オフ]として表示されます。電話機は、ユーザが[VPN有効]フィールドを[オン]に設定するまで、再度の接続を試みません。

VPN 接続設定

[アプリケーション]>[VPN] ウィンドウには、次のフィールドがあります。

- VPNの有効化または無効化：ネットワーク接続の自動検出が無効の場合に、[VPN有効]フィールドを切り替えて、VPN接続を試行する電話機の機能を制御します。
- クレデンシャルの変更：ユーザIDおよびパスワードを変更するには、[クレデンシャルの変更]を選択します。認証が証明書のみの場合、または[VPN有効]がオフの場合、このオプションはグレー表示されます。
- VPNステータスの表示：[VPNステータス]フィールドに「接続中」または「接続されていません」が表示されます。

Cisco VXC VPN

Cisco VXC VPN では、Cisco Virtualization Experience Clients (Cisco VXC) 2111 および 2112 用の統合バーチャルプライベートネットワーク (VPN) 機能を実現します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone 8961、9951、または 9971 に取り付けられた、Cisco VXC 2111 クライアントおよび Cisco VXC 2112 クライアントの VPN トンネリングが可能になります。

管理者は、Cisco VXC VPN 機能を有効にする必要があります。その後、取り付けられた IP Phone の VPN にログインすることにより、Cisco VXC 用の VPN 接続を開始できます。

管理者は、1つの共有VPNトンネルを横断するようにすべてのトラフィックを転送するか、電話機およびCisco VXCトラフィックを2つの別のトンネル間で分割するように、電話機を設定できます。後者の場合、管理者は、両方のトンネルを確立するために一度だけログインに関する指示を出すか、トンネルごとに別々にログインするように、電話機を設定することもできます。

単一のトンネルを使用するのか、2つのトンネルを使用するのかを問わず、Cisco VXCがVPNトンネルに正常に接続すると、VXCのVPNステータスに「接続中」が表示されます。

ステータスおよび統計

Cisco VXC VPN ステータス メッセージを表示するには、[アプリケーション]>[VPN] を選択し、[VXC の VPN ステータス] フィールドをチェックします。

VXC VPN 統計を表示するには、アプリケーション ボタンを押し、[管理者設定]>[ステータス]>[VPN 統計] を選択します。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



第 3 章

連絡先

Cisco Unified IP Phone 8961/9951/9971 では、社内および個人の連絡先にアクセスできます。

連絡先には、その他のディレクトリがリストされている場合もあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

- [社内ディレクトリ](#), 63 ページ
- [パーソナルディレクトリ](#), 64 ページ

社内ディレクトリ


社内ディレクトリには、電話機からアクセスできる社内の連絡先が含まれています。システム管理者はこのディレクトリを設定および保守します。

次のときに、社内ディレクトリからダイヤルできます。

- 別のコールに応答していないとき。
- 別のコールに応答しているとき。

連絡先の検索およびダイヤル



手順

- ステップ 1** 連絡先  を押します。
- ステップ 2** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[社内ディレクトリ]を選択します。
- ステップ 3** 次の検索条件のいずれかまたはすべてを選択し、同僚を検索します。
- 名

- 姓


ステップ 4 検索条件の情報を入力して [送信] を押し、連絡先を選択します。

ステップ 5 ダイヤルするには、次の操作のいずれかを実行します。

- [ダイヤル] を押します。
- [選択] を押します。
- キーパッドで、連絡先ラベルの右上隅に表示されている番号を押します。
- スピーカフォン  を押します。
- ヘッドセット  を押します。
- ハンドセットを取り上げます。

コール中の連絡先の検索およびダイヤル

手順

ステップ 1 連絡先  を押します。

ステップ 2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [社内ディレクトリ] を選択します。

ステップ 3 次の検索条件のいずれかまたは両方を選択し、同僚を検索します。

- 名
- 姓

ステップ 4 検索条件の情報を入力して [検索] を押します。

ステップ 5 [ダイヤル] を押します。
既存のコールが保留になり、新しいコールが開始されます。

パーソナル ディレクトリ

パーソナルディレクトリには、個人の連絡先リストが含まれています。ファストダイヤル用に、ファストダイヤルコードを自分のパーソナルディレクトリ エントリに割り当てできます。

パーソナルディレクトリを設定および保守するには、次の 2 つの方法があります。

- 電話機：電話機を使用して次の操作を実行できます。

- パーソナル ディレクトリ の設定と使用
- ファスト ダイヤル コード の割り当てと使用
- ユーザ オプション Web ページ : ユーザ オプション Web ページ を使用しても、パーソナル ディレクトリ を設定および使用できます。

関連トピック

[ユーザ オプション](#)

パーソナル ディレクトリ オプション


電話機のパーソナル ディレクトリ オプションを使用して、次の操作を実行できます。

- ログインおよびログアウト
- エントリの追加
- エントリの検索
- 電話番号のダイヤル
- エントリの削除
- エントリの編集

パーソナル ディレクトリのログインおよびログアウト


電話機は、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

-
- ステップ 1** 連絡先  を押します。
 - ステップ 2** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [パーソナルディレクトリ] を選択します。
 - ステップ 3** ユーザ ID と、システム管理者から取得した PIN を入力して、[送信] を押します。
 - ステップ 4** ログアウトするには、[ログアウト] を選択し、選択を押してから [OK] を押します。
-


パーソナルディレクトリ エントリの追加

手順

- ステップ 1** 連絡先  を押します。
- ステップ 2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ 3** [個人アドレス帳] を選択します。
[エントリの検索] 画面が表示されます。
- ステップ 4** [送信] を押します。
- ステップ 5** [新規] を押します。必要に応じて、先に [次へ] を押します。
- ステップ 6** ニックネーム情報を入力します。
名前を入力することもできます。
- ステップ 7** [電話] を押して、電話番号を入力します。
9、1 など、必要なすべてのアクセスコードを必ず含めてください。
- ステップ 8** [送信] を押して、パーソナルディレクトリにエントリを追加します。
-


パーソナルディレクトリのエントリの検索

手順

- ステップ 1** 連絡先  を押します。
- ステップ 2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ 3** [個人アドレス帳] を選択します。
- ステップ 4** 次の条件を 1 つまたはすべて選択するか、何も選択せずに、エントリを検索します。
- 姓
 - 名
 - ニックネーム
- ステップ 5** 検索条件の情報を入力して [送信] を押します。
名前が表示されます。
-


パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル

手順

-
- ステップ1 連絡先  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
 - ステップ5 [ダイヤル] を押します。
-


パーソナルディレクトリのエントリの削除

手順

-
- ステップ1 連絡先  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 [選択] を押します。
 - ステップ5 [編集] を押します。
 - ステップ6 [削除] を押します。
必要に応じて、先に [次へ] を押します。
 - ステップ7 [OK] を押して、削除を確認します。
-

パーソナルディレクトリ エントリの編集

手順

-
- ステップ1 連絡先  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 [選択] を押します。
 - ステップ5 [編集] を押します。
 - ステップ6 エントリの情報を変更します。
 - ステップ7 [電話] を押して、電話番号を変更します。
 - ステップ8 [更新] を押します。
-


ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ

電話機を使用して次の操作を実行できます。

- ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て
- ファストダイヤルコードを使用したコールの発信
- ファストダイヤルコードの削除


ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て

手順

-
- ステップ1 連絡先  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[パーソナルディレクトリ] を選択します。
 - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ4 名前の情報を入力して [送信] を押します。
 - ステップ5 選択を押してから [ファストダイヤル] を押します。
 - ステップ6 番号を選択し、選択を押します。
 - ステップ7 割り当てられていないファストダイヤルインデックスまでスクロールします。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、さらにファストダイヤルインデックスを表示します。
 - ステップ8 [選択] を押します。
-


ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 連絡先  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル] を選択し、ファストダイヤルコードまでスクロールします。必要に応じて、[次へ] を押してさらにファストダイヤルコードを表示します。
 - ステップ4 ダイヤルするファストダイヤルコードを選択し、[ダイヤル] を押します。
-

ファストダイヤルコードの削除

手順

-
- ステップ1 連絡先  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル] を選択し、ファストダイヤルコードを検索します。
 - ステップ4 削除するファストダイヤルコードを選択し、[削除] を押します。必要に応じて、先に [次へ] を押します。
 - ステップ5 削除するインデックスを選択します。
 - ステップ6 [削除] を押します。
-



第 4 章


メッセージ

ボイス メッセージは、ボイスメール システムに保存されます。電話機で使用するボイスメール システムは会社が決めます。

- [ボイスメールの個人設定, 71 ページ](#)
- [ボイス メッセージの確認, 71 ページ](#)
- [ボイス メッセージの聞き取り, 72 ページ](#)

ボイスメールの個人設定


手順

-
- ステップ1 メッセージ  を押します。
- ステップ2 音声プロンプトに従います。
-

ボイス メッセージの確認


手順



次のいずれかの方法でボイス メッセージを確認します。

- 赤色に点灯しているハンドセットのランプを確認する。
ユーザ オプション Web ページを使用して、ビジュアル メッセージ受信ランプを設定できます。
- 回線ラベルのメッセージアイコン  を確認する。


赤色の背景は、新しいボイスメッセージがあることを示しています。

赤色の背景は、新しいボイスメッセージがあることを示しています。

メッセージアイコンが付いている回線を選択すると、電話スクリーンの右側にボイスメールアイコン  が表示されます。

ボイスメールシステムによっては、メッセージアイコン  とボイスメールアイコン  に新しいボイスメッセージ数が表示されます。

新しいボイスメッセージが 100 通以上ある場合、メッセージ数はプラス (+) 記号に置き換えられます。

新しいボイスメッセージがある回線にコール転送が設定されている場合、回線ラベルにはメッセージアイコンの代わりにコール転送アイコン  が表示されます。

- コールを発信する際、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえるか確認します（有効な場合）。

断続トーンは回線ごとに異なります。新しいボイスメッセージがある回線を使用しているときだけ聞こえます。

ユーザ オプション Web ページを使用して、オーディオメッセージ受信トーンを設定できます。

関連トピック

[回線ごとのオーディオボイスメッセージインジケータの設定の変更](#)、(127 ページ)





[回線ごとにボイスメッセージのインジケータの設定を変更](#)、(126 ページ)


ボイスメッセージの聞き取り

新しいボイスメッセージを聞いた後、電話スクリーンのメッセージインジケータが更新されます。新しいボイスメッセージがない場合は、回線ラベルからメッセージアイコンが削除され、電話スクリーンの右側からボイスメールアイコンが削除されます。

手順

ステップ 1 ボイスメッセージを聞くには、次の操作のいずれかを実行します。

- メッセージ  を押します。
- メッセージアイコン  が表示されている回線を選択します。
- ボイスメールアイコン  の横にあるセッション  を押します。

- Cisco Unified IP Phone 9971 のタッチスクリーンで、[ボイスメール]  を押します。

ステップ 2 プロンプトに従ってボイスメッセージを聞きます。



第 5 章

コール機能

この章の構成は、次のとおりです。

- [機能ボタンおよびソフトキー, 76 ページ](#)
- [基本コール オプション, 81 ページ](#)
- [エージェント グリーティング, 82 ページ](#)
- [アラート コール, 83 ページ](#)
- [すべてのコール, 83 ページ](#)
- [応答, 84 ページ](#)
- [Assured Services for SIP Lines, 84 ページ](#)
- [自動応答, 85 ページ](#)
- [割り込み, 86 ページ](#)
- [折返し, 86 ページ](#)
- [コール監察, 87 ページ](#)
- [コール転送, 88 ページ](#)
- [コールパーク, 89 ページ](#)
- [コールピックアップ, 91 ページ](#)
- [コール待機, 94 ページ](#)
- [クライアント識別コード, 95 ページ](#)
- [会議, 95 ページ](#)
- [即転送, 97 ページ](#)
- [サイレント, 98 ページ](#)
- [エクステンションモビリティ, 98 ページ](#)

- [ファストダイヤル](#), 99 ページ
- [強制承認コード](#), 100 ページ
- [保留](#), 100 ページ
- [保留復帰](#), 102 ページ
- [ハントグループ](#), 102 ページ
- [インターコム](#), 103 ページ
- [回線ステータス](#), 105 ページ
- [迷惑呼 ID](#), 106 ページ
- [ミーティング会議](#), 106 ページ
- [モバイルコネク](#), 107 ページ
- [ミュート](#), 109 ページ
- [オンフックダイヤル](#), 109 ページ
- [プラスダイヤル](#), 110 ページ
- [プライバシー](#), 111 ページ
- [品質レポートツール](#), 111 ページ
- [リダイヤル](#), 112 ページ
- [セキュアおよび非セキュア通知トーン](#), 112 ページ
- [共有回線](#), 113 ページ
- [モニタリングと録音](#), 114 ページ
- [スピードダイヤル](#), 114 ページ
- [転送](#), 117 ページ
- [Uniform Resource Identifier ダイヤリング](#), 118 ページ
- [WebDialer](#), 120 ページ

機能ボタンおよびソフトキー

システム管理者が電話機をどのように設定したかによって、このガイドに記載されている機能の一部が使用できない可能性があります。

次の表に、ソフトキーで使用できる機能の一部、専用機能ボタンで使用できる機能の一部、プログラマブル機能ボタンにシステム管理者が設定できる機能の一部を示します。ソフトキーに表示される機能は、システム管理者が設定します。

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
アラート コール		X	
すべてのコール		X	
応答		X	
Assured Services for SIP Lines			X
折返し		X	X
すべてのコールの転送		X	X
通話履歴		X	X
コール パーク		X	X
コール パーク回線ステータス		X	
コール ピックアップ		X	X
コール ピックアップ回線ステータス		X	
会議	X		X (会議中だけ使用可能)
即転送			X
サイレント		X	
グループ ピックアップ		X	X
保留	X		
ハント グループ		X	
インターコム		X	
迷惑呼 ID (MCID)		X	X
ミーティング		X	X
モバイル コネクト		X	X

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
ミュート	X		
他グループ ピックアップ		X	X
プライバシー		X	
品質レポートツール (QRT)		X	X
リダイヤル		X	X
スピードダイヤル		X	X
スピードダイヤル回線ステータス		X	
USB ヘッドセット上の保留ボタンのサポート			X
転送	X		X (転送中だけ使用可能)

Survivable Remote Site Telephony の概要

電話機と Cisco Unified Communications サーバ間の通信が中断されると、電話機にアラートメッセージが表示されます。アクティブコールで通話中の場合、コールは確立されたままで、フェールオーバー状態になります。このフェールオーバーは、Survivable Remote Site Telephony (SRST) 機能です。

フェールオーバー中は、電話機の一部の機能を使用できません。次の表に、一般的な機能および機能の可用性を示します。ただし、一部の機能は、電話機のサポート対象でないことがあります。フェールオーバー中の機能の可用性の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

表 1: フェールオーバー中にサポートされる機能

機能	サポート	注
発信	はい	
終了	はい	
リダイヤル	はい	

機能	サポート	注
応答	はい	
保留	はい	
復帰	はい	
会議	はい	
アクティブコールへの会議 (参加)	いいえ	[アクティブコール]ソフトキーは表示されません。
会議参加者リスト	いいえ	
転送	はい	
アクティブコールへの転送 (直接転送)	いいえ	
自動応答	はい	
コール待機	はい	
発信者 ID	はい	
オーディオメッセージ受信インジケータ	はい	
すべてのコールのプログラマブル回線キー	はい	
応答のプログラマブル回線キー	はい	
統合セッション表示	はい	サポートされる機能は会議のみです。
ボイスメール	はい	ボイスメールは、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内の他のユーザとは同期されません。
スピードダイヤル	はい	
サービス IRL プログラマブル回線キー	はい	

機能	サポート	注
ボイスメールへ（即転送）	いいえ	[即転送] ソフトキーは表示されません。
回線フィルタ	部分的	回線はサポートされますが、共有できません。
パーク モニタリング	いいえ	[パーク] ソフトキーは表示されません。
割り込み	いいえ	「この機能は現在使用できません」というメッセージが表示されます。
拡張メッセージ待機インジケータ	いいえ	メッセージ数のバッジは、電話スクリーンに表示されません。 [メッセージ受信] アイコンのみが表示されます。
ダイレクト コール パーク	いいえ	ソフトキーは表示されません。
BLF	部分的	BLF 機能キーは、スピードダイヤルのキー同様に作用します。
保留復帰	いいえ	コールは、無期限で保留状態になります。
リモート回線の保留	いいえ	コールは、内線保留コールとして表示されます。
ミーティング	いいえ	[ミーティング] ソフトキーは表示されません。
ピックアップ	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
グループ ピックアップ	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
他グループ ピックアップ	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
迷惑呼 ID	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。



機能	サポート	注
QRT	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
ハント グループ	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
インターコム	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
モビリティ	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
プライバシー	いいえ	ソフトキーを押してもアクションは行われません。
折返し	いいえ	[折返し]ソフトキーは表示されません。

電話機は接続を失うと、「サービスが制限されています。一部の機能は使用できません」などのメッセージが表示されることがあります。

基本コールオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

ヒント

- オンフックの状態のまま、ダイヤルトーンを聞かずにダイヤル（プレダイヤル）できます。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[ダイヤル]、、または  を押して、オフフックにします。
- [オンにする] ソフトキーを押してビデオのオン/オフの有効化機能を有効にするか、[戻る] ソフトキーを押して [設定] 画面に戻ります。
- コールの発信者と受信者にビーブ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- ご使用の電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されません。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

スピーカフォンを使用したコールの発信

手順


ステップ1  を押します。

ステップ2 番号を入力します。

ヘッドセットを使用したコールの発信

手順

ステップ1 または、ヘッドセット ボタンが点灯している場合は、[発信] を押して、番号を入力します。

ステップ2 または、ヘッドセット ボタンが点灯していない場合は、 を押して、番号を入力します。

コールのリリースと別のコールの開始

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	アクティブコールで通話しているかダイヤル中に、電話機のリリースボタンを押します。次の処理が行われます。	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブコールが終了する • 電話機でダイヤルトーンが聞こえる • [発信] ウィンドウが表示される
ステップ2	番号を入力し、[ダイヤル] を押します。	

エージェント グリーティング

エージェント グリーティングを使用すると、顧客からのコールなどに対して、発信者との会話を開始する前のコールの開始時に再生される、事前録音したグリーティングを作成、更新できます。必要に応じて、単一のメッセージまたは複数のメッセージを事前に録音できます。

顧客が電話すると、事前に録音したメッセージが両方の通話相手に聞こえます。メッセージが終わるまでミュートのままにすることも、メッセージ再生中にコールに応答することもできます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

アラートコール

アラートコール機能では、すべてのアラートコールのリストを古いものから順に表示できます。この機能との対話には、プログラマブル回線キーを使用します。これにより、電話回線全体で受信したすべてのアラートコールを簡単に表示できます。

アラートコールは、重要であると考えられる電話番号であり、この番号からコールを着信するか、この番号へのコールをダイヤルしたときにアラートを受け取りたい、特定の電話番号です。

システム管理者は、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) Administration を使用して、アラートコールボタンを設定します。システム管理者にお問い合わせで、電話機にこの機能を割り当てるよう依頼してください。

すべてのコール

すべてのコール機能を使用すると、すべての電話回線上のすべてのアクティブコールのリストを表示できます。リストには、古いコールから先に表示されます。通常の通話に加え、共有回線、割り込まれたコール、および会議コールが表示されます。

この機能は、複数の回線がある場合や、他のユーザと回線を共有する場合に使用します。[すべてのコール] ビューでは、次の操作が可能です。

- すべてのアクティブコールが1箇所に表示され、任意の回線のコールの表示やコールとの対話が容易に行えます。
- ハンドセットを持ち上げると、電話機によってプライマリ回線が選択されるため、不注意で共有回線をダイヤルに使用されることを防止できます。
- オレンジ色に点滅しているセッションボタンを押すと、任意の回線で呼び出し中のコールに応答できます。コールに応答する前に、呼び出し中のコールの回線を選択する必要はありません。

システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいて [すべてのコール] ボタンを設定します。

システム管理者は、すべてのコールを自動で表示するようにプライマリ回線を設定することもできます。システム管理者は、コールの完了後に [すべてのコール] ビューを付けてプライマリ回線を表示するように、電話機を設定することもできます。

電話機的全コールの表示

電話機的全回線のアクティブコールが、最も古いものから順にすべて表示されます。

手順

-
- ステップ 1** すべてのコールを表示するには、[すべてのコール] を押します。
- ステップ 2** [すべてのコール] ボタンが表示されない場合は、[プライマリ回線] を押します。
-

応答

応答機能では、電話機のすべての回線アピランンスで使用できる最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいて [応答] ボタンを設定します。通常は、複数の回線がある場合に、応答を設定します。

コールがあると、コールトーストという通知ウィンドウが電話スクリーンに表示されます。コールトーストは、プリセットした時間、表示されたままになります。デフォルトの時間は、システム管理者が設定します。

別の電話機からコール転送された着信コールの場合は、転送されたコールであることを示す追加の情報がコールトーストに含まれることがあります。追加で表示される情報の量はシステム管理者が制御します。追加情報は、コールを転送した人と、発信者情報を示しています。

最も古いコールから応答

手順

最も古い着信コールから順に応答するには、[応答] を押します。

Assured Services for SIP Lines

システム管理者による電話機システムの設定方法によっては、ご使用の電話機で、Assured Services for SIP Lines (AS-SIP) 機能を使用したセキュア コールの発信と受信をサポートできます。

この機能を使用する場合、通常のコールは、通常どおりに発信されます。一方、緊急時には、重要なコールを確実に配信するために、プライオリティレベルを選択できます。電話機の設定方法によっては、ログイン情報も入力する必要があります。

プライオリティ コールを受信する場合は、電話機のディスプレイで発信者の名前の横に優先レベルアイコンが表示されます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ログインを必要とするプライオリティ コールの発信

手順

-
- ステップ1 ハンドセットを受け台から取り上げます
 - ステップ2 [優先レベル] ソフト キーを押します。
 - ステップ3 コールのプライオリティ レベルを選択します。
 - ステップ4 認証画面にクレデンシャルを入力します。正しいログイン情報を入力するまで、3 回の機会が与えられます。
 - ステップ5 宛先の番号を入力します。
Precedence 折返しトーンが聞こえ、[優先レベル] アイコンが画面に表示されます。
-

ログインなしでのプライオリティ コールの発信

ログインなしでプライオリティ コールを発信するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ1 ハンドセットを受け台から取り上げます。
 - ステップ2 [優先レベル] を押します。
 - ステップ3 コールの目的のプライオリティ レベルを選択します。
 - ステップ4 宛先の番号を入力します。
Precedence 折返しトーンが聞こえ、[優先レベル] アイコンが画面に表示されます。
-


自動応答

自動応答では、呼出音が 1 回鳴った後、電話機が自動的に着信コールに応答します。

システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットを使用する自動応答を設定します。

ヘッドセットで自動応答


次の条件が適用される場合、着信コールにヘッドセットで自動応答します。

- ヘッドセットによる自動応答は、システム管理者が有効にします。
- ヘッドセット ボタン  が点灯します。

- ヘッドセットは、電話機に接続されています。

その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るため、手動でそのコールに応答します。ヘッドセットボタンを点灯したままにしておくには、（ヘッドセットボタンの代わりに）ボタンとソフトキーを使用してコールを発信し、終了します。システム管理者は、ヘッドセットを自動応答のデフォルトオーディオパスとして設定します。

スピーカフォンで自動応答

ハンドセットを受け台に置いたまま、ヘッドセットボタン  を消灯させておきます。この状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るため、手動で応答する必要があります。

割り込み

割り込みを使用すると、共有回線のプライベート以外のコールに参加できます。つまり、コールを会議に切り替えたり、新しい参加者を加えたりできます。

共有回線のコールへの参加

手順

共有回線の赤い回線ボタンを押します。
コールに追加されます。

折返し

折返しを使用すると、話中または応対不可能な通話相手が応対可能になったときに、電話機でオーディオおよびビジュアル通知を受信できます。

折返しは、機能ボタンまたはソフトキーとして電話機に表示されることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

折返し通知の設定

手順

- ステップ 1** ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し] を押します。
電話機に確認画面が表示されます。
- ステップ 2** 確認画面を終了するには、[終了] を押します。
回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。

ステップ3 コールを再度発信するには、[ダイヤル]を押します。

コール監察

コール監察では、権限を与えられたコール監察ユーザ（監察者）がコールを監察および録音できます。監察対象のコールには、発信者、監察者、着信者の最低3人が関わります。自分自身が認可された監察者であるかどうかは、システム管理者に問い合わせてください。

監察者はコールに応答し、会議コールを開始し、その会議コールに留まってコールを監察および録音します。コール監察機能が設定されている Cisco Unified IP Phone には、録音ボタンもあります。




監察者がコールを終了すると、会議自体が終了します。

監察者は、コールの監察中に次の作業のみ実行できます。

- コールを録音する。
- 1人の参加者を会議に参加させる。監察者は、最初の参加者のみ会議に参加させることができます。2番目以降の参加者は、監察者以外の参加者だけが追加できます。
- コールを終了する。

監察対象コールの録音

手順

- ステップ1** 着信コールに応答します。
- コールの監視および録音が必要であるとシステムが判断した場合、録音ボタン  が表示されます。
- ステップ2** 会議  を押して、会議コールを開始します。
- ステップ3** 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール]を押します。
- ステップ4** 通話相手が応答したら、会議を押します。
- 会議が開始されます。
- ステップ5** 録音を押して、会議コールの録音を開始します。
- 会議コールが確立される前にコールの録音を開始することもできます。この場合、着信コールに応答後に会議を押します。コールは自動的に保留になり、会議コールを設定している間、録音は停止します。会議コールが確立されると、録音は自動的に再開されます。
- 録音ボタンの状態が変わり  、コール録音中を示します。
- ステップ6** 監察中のコールを終了するには、[終了]を押します。すべての通話者が切断されます。

コール転送

コール転送を使用すると、電話機の回線にあるコールを別の番号に転送できます。

システム管理者が電話機に設定できるコール転送機能には、次の2種類があります。

- 無条件のコール転送（すべてのコール転送）：受信したすべてのコールに適用されます。任意の回線の電話で、すべてのコールの転送ディレクトリを設定できます。すべてのコールの転送をリモートで設定するには、ユーザ オプション Web ページに移動します。
- 制限付きのコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用され、ユーザ オプション Web ページから設定します。

電話機からコールを転送する場合は、次の手順に従います。


- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや市外局番を入力します。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、次のように対応するように、他の着信転送オプションを設定できます。
 - 転送先の電話番号から自分の電話機へコールが発信された場合に、コールを自動的に転送するのではなく、呼出音を鳴らす。
 - コール転送ループが生じたり、コール転送チェーンで最大リンク数を超えたりしないようにする。


関連トピック

[回線ごとにコール転送を設定](#)、(126 ページ)

すべてのコールの転送

手順

- ステップ 1** コールを転送するアイドル回線で、[不在転送] を押します。
- ステップ 2** 電話番号を入力するか、通話履歴リストからエントリを選択します。
ボイスメール システムの設定によっては、メッセージ  を押して、すべてのコールをボイスメールに転送できます。
コールの転送先電話番号を確認するビジュアル通知が数秒間表示されます。
- ステップ 3** コールが転送されたことを確認するには、次の項目を調べます。

- 回線ラベルの不在転送アイコン 
- ヘッダーの転送情報。

ステップ 4 コール転送をキャンセルするには、[不在オフ]を押します。

ステップ 5 制限付きのコール転送を設定するには、ユーザ オプション Web ページに移動します。

コールパーク

コールパーク機能では、電話機を使用してコールをパーク（一時保存）し、そのコールを別の電話機（たとえば、同僚のデスクや会議室の電話機など）から取得できます。

コールをパークするには、次の 2 つの方法があります。

パーク

電話機で応答したアクティブ コールをパークし、Cisco Unified Communications Manager システム内の他の電話機を使用して、そのコールを取得できます。

ダイレクト コール パーク

次の 2 つの異なる方法でアクティブ コールをパークおよび取得できます。

- 処理されたダイレクトコールパーク：システム管理者がスピードダイヤル回線として設定した機能ボタンを使用して、アクティブ コールをパークできます。

このタイプのダイレクトコールでは、回線ステータス インジケータを使用して、回線のステータス（使用中、アイドル、またはサイレント）を監視できます。

- 手動ダイレクトコールパーク：システム管理者が設定したダイレクトコール番号にアクティブ コールを転送して、そのアクティブ コールをパークできます。

パーク取得用のプレフィックス番号（システム管理者から取得）をダイヤルしてから、コールパーク用のダイレクトコール番号をダイヤルして、別の電話機でコールを取得します。

システム管理者は、電話機にダイレクトコールパークまたはパーク機能のいずれかを設定しません。両方は設定できません。

関連トピック

[回線ステータス, \(105 ページ\)](#)

パークを使用したコールのパークおよび取得

手順

-
- ステップ 1** コール中に [パーク] を押してから、電話を切ります。
システムによってパークされたコールの番号が電話機に表示されます。パークされたコールは保留されています。[復帰] を押すと、電話機でそのコールを再開できます。
- ステップ 2** コールを取得するには、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone から、コールがパークされた番号を入力します。
- ステップ 3** (システム管理者が設定した) 所定の時間内にコールを取得できない場合は、アラート トーンが聞こえます。この場合、次の操作を実行できます。
- [応答] を押し、電話機でコールに応答する。
 - 別の電話機からコールを取得する。

所定の時間内にコールの取得またはコールへの応答ができなかった場合、そのコールはボイスメールなどの他の接続先 (システム管理者が設定) にリダイレクトされます。コールがリダイレクトされると、そのコールはコールパークを使用して取得できなくなります。

処理されたダイレクトコールパークを使用したコールのパーク


手順

-
- ステップ 1** コール中に [ダイレクトコールパーク] を押して、アイドル状態の回線ステータスインジケータを表示します。
- ステップ 2** 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
- a) パーク取得プレフィックスを入力します。
 - b) ダイレクトコール番号をダイヤルします。
- 例：
パーク取得プレフィックスが「99」で、ダイレクトコールの番号が「1234」の場合は、991234を入力します。
- ステップ 3** (システム管理者が設定した) 所定の時間内にコールを取得できない場合は、アラート トーンが聞こえます。この場合、次の操作を実行できます。
- [復帰] を押し、電話機でコールを再開する。
 - 別の電話機からコールを取得する。

所定の時間内にコールを取得または再開できなかった場合、そのコールは（システム管理者が設定した）ボイスメールなどの他の接続先に送信されます。コールがリダイレクトされると、そのコールはコールパークを使用して取得できなくなります。

手動ダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

手順

- ステップ1 コール中に転送  を押します。
- ステップ2 コールをパークするダイレクトコール番号を入力します。
- ステップ3 もう一度転送を押してコールのパークを終了してから切断します。
- ステップ4 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
 - a) パーク取得プレフィックスを入力します。
 - b) ダイレクトコール番号をダイヤルします。

例：

パーク取得プレフィックスが「99」で、ダイレクトコールの番号が「1234」の場合は、991234を入力します。

- ステップ5 （システム管理者が設定した）所定の時間内にコールを取得できない場合は、アラートトーンが聞こえます。この場合、次の操作を実行できます。
 - [復帰] を押し、電話機でコールを再開する。
 - 別の電話機からコールを取得する。

所定の時間内にコールを取得または再開できなかった場合、そのコールは（システム管理者が設定した）ボイスメールなどの他の接続先に送信されます。コールがリダイレクトされると、そのコールはコールパークを使用して取得できなくなります。

コールピックアップ

コールピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。システム管理者は、コールグループを設定し、1つ以上のコールグループをユーザに割り当てることができます。システム管理者は、コール処理のニーズと作業環境に基づいて、コールピックアップのソフトキーを設定することもできます。

同僚とコール処理タスクを共有する場合、コールピックアップを使用できます。

コールをピックアップするには、次の3つの方法があります。

ピックアップ

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答できます。
ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。

グループピックアップ

次の方法で、自分のコールピックアップグループ外にある電話機でコールに応答できます。
グループピックアップ番号（システム管理者から取得）を使用します。
呼び出し中の電話機の番号をダイヤルします。

他グループピックアップ

自分のコールピックアップグループ内、または関連付け先コールピックアップグループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。

システム管理者がスピードダイヤルボタンに回線ステータスインジケータを設定した場合は、回線ステータスインジケータを使用して、呼び出し中のコールをモニタおよびピックアップできます。回線ステータスインジケータによって、スピードダイヤルボタンと関連付けられた回線のステータス（アイドル状態、使用中、サイレント状態、または呼び出し中）を確認できます。

関連トピック

[回線ステータスインジケータ](#)、(105 ページ)

ピックアップを使用したコールの応答

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

- [ピックアップ] を押して、自分のピックアップグループ内で鳴っているコールを自分の電話機に転送します。
- 回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [ピックアップ] を押します。

電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続します。

ステップ 2 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

グループピックアップとグループピックアップ番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** 次のいずれかの操作を実行します。
- [グループピックアップ]を押して、自分のピックアップグループ外の電話機でコールに応答します。
 - 回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [グループピックアップ] を押します。
- ステップ 2** グループピックアップ番号を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

グループピックアップおよび電話番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** 次のいずれかの操作を実行します。
- [グループピックアップ] を押します。
 - 回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから、[グループピックアップ] を押します。
- ステップ 2** ピックアップするコールの電話回線の番号を入力します。
たとえば、コールが回線 12345 で鳴っている場合は、12345 を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

他グループピックアップを使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [他グループ] を押して、自分のピックアップグループ内または関連付けられているグループ内のコールを、自分の電話機に転送します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

コール待機

コール待機を使用すると、他のコールに応答しているときに新しいコールが自分の電話機で呼び出し中であることが、次のように通知されます。

- コール待機音 (1 回のビーブ音)
- オレンジ色に点滅する回線ボタン

コール待機通知への応答

鳴っているコールに応答するには、オレンジに点滅しているセッションボタンを押すか、[応答] を押してコールに応答します。ナビゲーションパッドを使用して目的のコールまで画面をスクロールし、選択を押して応答することもできます。電話機によって元のコールが自動的に保留され、鳴っているコールが接続されます。

手順

-
- ステップ 1** コールが別の回線にある場合は、まず回線ボタンまたは [すべてのコール] (使用できる場合) を押して、鳴っているセッションを表示してからコールに応答します。
- ステップ 2** コールが同一回線にあり、多数のコールがあるために表示されていない場合は、画面をスクロールしてそのセッションを表示する必要があります。
- ステップ 3** システム管理者によってコールに応答するプログラマブル機能ボタンが設定されている場合は、コールの回線や現在表示されている回線に関係なく、その機能ボタンを押して鳴っているコールに応答できます。電話機は、自動的に回線を切り替え、コールを表示します。
-

クライアント識別コード

システム管理者は、電話番号のダイヤル後にクライアント識別コード（CMC）の入力を要求するよう電話機を設定できます。CMCは、アカウントティングコードや請求コードに使用でき、システム管理者がCMCを割り当てます。

必要に応じて、電話機に「クライアント識別コードを入力してください」と表示され、ダイヤルした番号が「*****」に変更されて、特殊なトーンが聞こえます。キーパッドを使用して、コールのCMCを入力します。

関連トピック

[強制承認コード, \(100 ページ\)](#)

会議

会議では、アドホック会議で複数の通話相手と同時に会話できます。

会議コールで会話をする場合は、会議を使用して相手にダイヤルし、通話の相手を会議コールに追加します。

複数の電話回線がある場合は、交互に会議を使用して、2つの回線をまたいで2つのコールを結合できます。たとえば、回線1に1つのコールがあり、回線2にも1つのコールがある場合、これらのコールを1つの会議にまとめることができます。

会議開催者として、会議から個々の参加者を削除できます。すべての参加者が電話を切ると、会議は終了します。

関連トピック

[割り込み, \(86 ページ\)](#)

[ミーティング会議, \(106 ページ\)](#)

会議を作成するために通話相手をコールに追加

手順

ステップ 1 保留されていない接続済みコールから開始します。

ステップ 2 会議  を押し、次のいずれかを実行します。

- 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール] を押します。
- スピードダイヤル ボタンを押します。
- [スピードダイヤル] を押して、スピードダイヤル番号を入力し、[スピードダイヤル] を再度押します。

- [アクティブ コール] を押して、コールを選択します。
- 通話履歴からコールを選択します。

ステップ 3 参加者の応答を待ちます（またはコールが鳴っている間にステップ 4 に進みます）。

ステップ 4 会議を押します。
会議が開始されます。

会議へのコールの参加

会議はアクティブ コールのある回線で確立されます。

手順

ステップ 1 2つの接続済みコールから開始します。

ステップ 2 一方のコールがアクティブである（保留中でない）ことを確認します。両方のコールが保留中の場合は、一方のコールを再開します。

ステップ 3 会議  を押します。

ステップ 4 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。または保留中のコールが別の回線上にある場合、次のようにします。

- a) [アクティブ コール] を押します。
- b) リストからコールを選択します。
- c) 会議を押します。

会議が開始されます。会議はアクティブ コールのある回線で確立されます。

会議実行前のコール間の切り替え

この手順を使用して、別の人を会議に追加する前に、会議およびその人と個別に相談できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。	
ステップ 2	参加者と会議の間で切り替えるには、[切替] を押します。	

会議参加者の表示

会議に参加した最新 16 人の参加者の詳細を表示できます。

手順

会議中に [詳細の表示] を押して、参加者のリストを表示します。

会議参加者の削除


手順

-
- ステップ 1 会議中に、[詳細の表示] を押します。
 - ステップ 2 削除する参加者を強調表示してから、[削除] を押します。
-

即転送

即転送を使用すると、アクティブなコールまたは呼び出し中のコールを、自分のボイスメールシステムや所定の電話番号（システム管理者が設定）に送信できます。

コールの即転送

着信（呼び出し中の）コールをサイレントにできます。1 回音量  を押すと、着信コールを転送先番号（ボイスメールや、システム管理者が事前に定義した番号）に転送できます。

手順

-
- ステップ 1 他のコールへの応答中に着信（呼び出し中の）コールをリダイレクトするには、ナビゲーションパッド



を使用して着信コールを強調表示し、[即転送] を押します。これ以外の場合は、[即転送] を押して、現在のアクティブ コールをリダイレクトします。

- ステップ 2 電話中でないときに着信コールをリダイレクトするには、[即転送] を押します。

例：

ステップ 3 保留中のコールをリダイレクトするには、まずコールを再開してから、[即転送] を押します。

サイレント

サイレント（DND）を使用すると、次のいずれかをオフにできます。

- 電話の呼出音
- 呼出音と着信コールを知らせる通知表示

サイレントが有効である場合、着信コールはボイスメールなどの別の番号が設定されている場合はその番号に転送され、コールはコール履歴に保存されることも表示されることもありません。

サイレント機能は電話機の全回線に適用されます。この機能は、インターコムおよび緊急コールには影響しません。

デフォルトでは、システム管理者は、呼出音および視覚的な通知がオフの状態、電話機の回線ボタンまたはソフトキーをサイレント用に設定します。ただし、ユーザはユーザオプション Web ページからサイレント オプションを変更できます。

関連トピック

[ユーザ オプション](#)

サイレントのオン/オフの切り替え

手順

ステップ 1 サイレントをオンにするには、[サイレント] を押します。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。

ステップ 2 サイレントをオフにするには、[サイレント] を再度押します。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。



エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ（EM）を使用すると、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル（電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など）が適用されます。EM はシステム管理者が設定します。

Cisco エクステンション モビリティの PIN 設定機能では、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できます。

エクステンションモビリティの有効化

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [エクステンション モビリティ] を選択します。このラベルは異なることがあります。
- ステップ3 ユーザ ID と、システム管理者から取得した PIN を入力します。
- ステップ4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
実行中のアプリケーションも [実行中のアプリケーション] ウィンドウに表示されます。
- ステップ5 ログアウトするには、アプリケーション  を押します。
- ステップ6 [エクステンション モビリティ] を選択します。このラベルは異なることがあります。
- ステップ7 ログアウトの指示があったら、[はい] を押します。

ファストダイヤル

ファストダイヤルを使用すると、電話機のファストダイヤルサービスから電話番号をダイヤルできます。電話機でファストダイヤルを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでファストダイヤルを設定する必要があります。

関連トピック

[ファストダイヤルの設定, \(136 ページ\)](#)

[ファストダイヤル] ボタンを使用したコールの発信

はじめる前に

電話機でファストダイヤルを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでファストダイヤルを設定する必要があります。

手順

-
- ステップ1 [ファストダイヤル]を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファストダイヤル]を選択します。
 - ステップ4 ファストダイヤルコードを選択して、[ダイヤル]ソフトキーを押します。
-

強制承認コード

システム管理者は、電話番号をダイヤルしたとき強制承認コード（FAC）の入力を要求するよう、電話機を設定できます。FACは、電話番号の使用を制御するコードであり、システム管理者がFACを割り当てます。

必要な場合は、「承認コードを入力してください」と電話機に表示され、ダイヤルした番号が「*****」に変更されて、特別なトーンが聞こえます。コールに対するFACの入力にはキーパッドを使用します。電話機には、入力した番号の代わりに「*」だけが表示されます。

関連トピック

[クライアント識別コード](#)、(95 ページ)



保留

保留によってアクティブコールを保留状態にすることができます。電話機では一度に1つのアクティブコールのみ可能です。他のコールは保留にされます。

保留は、電話機のハンドセットに加え、USBヘッドセットでも使用できます。

コールの保留

手順

-
- ステップ1 コールを保留にするには、保留  を押します。
保留アイコン  が表示され、回線ボタンが緑色に点滅します。
 - ステップ2 強調表示されたコールを再開するには、次のいずれかを実行します。
 - 緑色に点滅しているセッションボタンを押します。
 - 電話機のディスプレイでコールセッションを押します（Cisco Unified IP Phone 9971 だけに適用）。

- [復帰] を押します。
- ナビゲーションパッドの選択を押します。

保留中のコールとアクティブコールの切り替え

手順

セッション ボタンを使用して、保留コールと接続コールを切り替えできます。
保留コールとアクティブコールがある場合、保留コールに対するセッションを押すと、保留コールが再開され、もう1つのコールは自動的に保留されます。

新しいコールへの応答とコールの保留

通話中に新しいコールが着信し、この新しいコールに応答すると、元のコールは自動的に保留になります。


次のいずれかの方法で新しいコールに応答します。

手順


- ステップ 1** オレンジに点滅しているセッションボタン、またはタッチスクリーンの[セッション]を押します (Cisco Unified IP Phone 9971 だけに適用)。
- ステップ 2** ナビゲーションパッドを使用して新しいコールまで移動し、[応答] または選択を押します。

共有回線の保留中の確認

手順

赤色に点滅している回線ボタンと保留アイコン  を確認します。
これらのインジケータが表示されている場合、共有回線のコールは他のユーザによってリモートで保留にされています。

リモート回線の保留

共有回線の使用中にコールを保留すると、回線ボタンが緑色に点滅し、保留アイコン  が電話機に表示されます。他の電話機でコールが保留されると、回線ボタンが赤色に点滅し、電話機にリモート回線の保留アイコンが表示されます。

保留復帰

保留復帰では、コールが保留中のままになっていることを通知します。

保留復帰通知は、新規コールの通知に似ており、次の合図が出されます。

- 1 回の呼出音（一定間隔で繰り返す）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- ハンドセット上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上のビジュアル通知

保留復帰通知への応答

手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは[応答]を押して、コールを保留状態から復帰します。

ハントグループ

ハントグループは、大量の着信コールがある組織のコールの負荷を共有するために使用します。

システム管理者はハントグループに一連の電話番号を設定します。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

ハントグループのメンバーは、コールを受信する場合にハントグループにログインし、コールで電話機の呼出音を鳴らさなくする場合にグループからログアウトします。

管理者は、ハントグループのキューに関する統計をユーザが表示できるように、[キューのステータス] ボタンを設定します。

グループのいずれの電話機からリストにアクセスする場合でも、グループコールキュー内のコールには、同じコール識別番号が表示されます。

ハントグループへのログインおよびログアウト

ハントグループからログアウトしても、ダイレクトコールは引き続き電話機に着信します。

手順

-
- ステップ1 [ハントグループ]を押してログインします。
ビジュアル通知が一瞬表示されます。
 - ステップ2 [ハントグループ]をもう一度押してログアウトします。
-

キューの統計情報の表示

ハントグループキューのステータスを確認するには、キューの統計情報を使用します。

手順

-
- ステップ1 [キューのステータス]を押します。[キューのステータス]ウィンドウが表示されます。
 - ステップ2 統計情報を更新するには、[更新]を押します。
 - ステップ3 終了するには、[終了]を押します。
-

インターコム

インターコムでは、専用またはダイヤル可能なインターコム回線を使用して、一方向のコールを送受信できます。

インターコムコールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウィスパーモード）になって自動応答し、受信者のスピーカフォン、ヘッドセット、またはハンドセット（これらのいずれかのデバイスを使用中の場合）からメッセージをブロードキャストします。

インターコムコールを受信すると、受信者は双方向オーディオ（接続モード）を開始して、会話を継続できます。

専用インターコムコールの発信

手順

-
- ステップ1 [インターコム]を押します。

受信者がインターコム コールを受け入れるまで、電話機はウイスペアモードになります。アクティブコールがある場合、そのコールは保留されます。

- ステップ2** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、通話を開始します。
- ステップ3** コールを終了するには、[インターコム]を押します。
-

ダイヤル可能なインターコム コールの発信

手順

- ステップ1** [インターコム]を押します。
- ステップ2** インターコム コードを入力します。
受信者がインターコム コールを受け入れるまで、電話機はウイスペアモードになります。アクティブコールがある場合、そのコールは保留されます。
- ステップ3** インターコムのアラート トーンが聞こえたら、通話を開始します。
- ステップ4** コールを終了するには、[インターコム]を押します。
-

インターコム コールの受信

手順

- ステップ1** 電話機にインターコム コールが着信すると、電話スクリーンにメッセージが表示され、オーディオアラートが鳴って、電話機ではミュートが有効になってインターコム コールに応答します。次のいずれかの方法を使用してインターコム コールを処理できます。
- インターコム発信者の声をウイスペアモードで聞く。すでに実行中の現在のコールアクティビティは、いずれも同時に継続されます。ウイスペアモードでは、インターコム発信者こちらの声は聞こえません。
 - [インターコム]を押して接続モードに切り替えます。接続モードでは、インターコム発信者と会話ができます。
- ステップ2** コールを終了するには、[インターコム]を押します。
-

回線ステータス

回線ステータス インジケータによって、スピードダイヤル ボタンに割り当てられた電話回線の状態を確認できます。

電話機の回線ステータス インジケータはシステム管理者が設定します。

回線ステータス インジケータ

回線ステータス インジケータは、回線の状態を示します。

アイコン	インジケータ
	回線は使用中です。
	回線はアイドル状態です。
	回線は呼び出し中です（コール ピックアップ専用の状態）。
	回線はサイレント（DND）状態です。

システム管理者は、スピードダイヤル ボタンに回線ステータス インジケータを設定し、次の機能とともに使用できます。

スピードダイヤル

スピードダイヤル ボタンに設定された番号のステータスをモニタ（またその番号にダイヤル）できます。モニタ対象の回線が使用できない場合、回線ステータス ボタンは通常のスピードダイヤル ボタンに変わります。

ダイレクトコールパーク

スピードダイヤルボタンのダイレクトコールパーク番号の回線ステータスをモニタ（またその番号にダイヤル）できます。

コール ピックアップ

スピードダイヤル ボタンの呼び出し中のコールの回線ステータスをモニタ（また呼び出し中のコールをピックアップ）できます。

システム管理者は、モニタしている回線でコールが鳴ったら、電話機がオーディオアラートを鳴らすようにも設定できます。

関連トピック

[コールパーク](#), (89 ページ)

[コールピックアップ](#), (91 ページ)

[スピードダイヤル](#), (114 ページ)

迷惑呼 ID

迷惑呼 ID (MCID) では、アクティブ コールを不審なコールとして識別し、一連の自動化されたトラッキングおよび通知メッセージを開始できます。

不審なコールのトレース

手順

システム管理者にサイレント通知メッセージを送信するには、[発信者のレポート] を押します。サイレント通知メッセージが送信されると、電話機ではビジュアル通知とオーディオ通知の両方が出ます。

ミー ト ミー 会議

ミー ト ミーを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号へコールしてミー ト ミー会議を開催したり、ミー ト ミー会議に参加したりできます。

ミー ト ミー会議は、ホストが接続すると開始されます。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー トーンが聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミー ト ミー 会議の開催

手順

-
- ステップ 1 システム管理者からミー ト ミー電話番号を入手します。
 - ステップ 2 参加者にミー ト ミー電話番号を配布します。
 - ステップ 3 会議を開始する準備ができたなら、ハンドセットを取り上げてダイヤル トーンを受信し、[ミー ト ミー] を押します。
 - ステップ 4 ミー ト ミー電話番号をダイヤルします。
-

ミーティングへの参加

手順

-
- ステップ1** 会議の開催者から取得したミーティング電話番号をダイヤルします。
- ステップ2** ビジー トーンが聞こえる場合は、会議の開催者がまだ会議に参加していません。この場合は、コールを終了して、再試行してください。
-

モバイルコネク

モバイルコネクを設定すると、携帯電話を使用してデスクの電話番号にかかってきたコールを処理できます。

モバイルコネクを有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機とリモート接続先（携帯電話）が同時にコールを受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先とデスクの電話機では呼出音が止まってコールが切断され、リモート接続先では不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答し、回線を共有している Cisco Unified デバイスにコールを切り替えると、同じ回線を共有している Cisco Unified デバイスに、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。

モバイルコネクを設定するには、ユーザ オプション Web ページを使用してリモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするアクセスリストを作成します。

関連トピック

[モビリティ設定, \(138 ページ\)](#)

デスクの電話機からすべてのリモート接続先に対するモバイルコネクトの有効化または無効化

手順

-
- ステップ1 [モビリティ] または [携帯電話へ] を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ2 [選択] を押して、ステータスを変更します。
 - ステップ3 [終了] を押します。
-

関連トピック

[新しいリモート接続先の追加](#)、(139 ページ)

デスクの電話機へのコールから携帯電話への切り替え

手順

-
- ステップ1 [モビリティ] を押します。
 - ステップ2 [携帯電話へ] を選択します。
 - ステップ3 進行中のコールに携帯電話で応答します。
他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
デスクの電話機の回線ボタンが赤に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。
-

モバイルコールからデスクの電話機への切り替え

手順

-
- ステップ1 デスクの電話機の回線を選択します。
 - ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ3 5～10 秒以内にデスクの電話機の [復帰] を押して、デスクの電話機で会話を開始します。
-

携帯電話からデスクの電話機へのコールのハンドオフ

手順


-
- ステップ1** 携帯電話でハンドオフ機能のアクセスコードを入力します。
アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ2** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ3** 10秒以内にデスクの電話機の [応答] ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。
デスクの電話機で通話に応答するまでの秒数は、システム管理者が設定します。同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。
-

ミュート

ミュートを使用すると、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンのオーディオ入力をブロックできます。コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にこちらの声は聞こえません。

電話機のミュート

手順

-
- ステップ1** ミュートをオンにするには、ミュート  を押します。
ビジュアル通知が表示されます。
- ステップ2** もう一度ミュートを押すと、ミュートはオフになります。
-

オンフックダイヤル

オンフックダイヤルを使用すると、ダイヤルトーンを受信する前に電話番号を入力し、次に、ハンドセットを持ち上げてコールを接続できます。

オンフックでの電話番号のダイヤル

手順

-
- ステップ1 電話番号を入力するか、スピードダイヤルを発信します。
オンフックダイヤル画面が表示されます。
 - ステップ2 [コール]を押します。短縮ダイヤルを指定する場合は、短縮番号を入力し、[スピードダイヤル]を押します。
 - ステップ3 ハンドセットを持ち上げるか、スピーカフォンまたはヘッドセットを押します。
 - ステップ4 トーンが聞こえ、「承認コードを入力してください」というメッセージが表示される場合は、システム管理者から入手した強制承認コード (FAC) を入力します。
 - ステップ5 トーンが聞こえ、「クライアント識別コードを入力してください」というメッセージが表示される場合は、システム管理者から入手したクライアント識別コード (CMC) を入力します。
システムによって認証されると、コールは続行されます。
-

プラスダイヤル

プラスダイヤルでは、1秒以上アスタリスク (*) キーを押し続けると、電話番号の1桁目として国際電話用のプラス (+) 記号が挿入されます。プラス記号は、オンフックまたはオフフックのコールのみに適用されます。

+記号が付いた電話番号が表示されたら、国際コール用の数字を追加せずに、そのエントリを選択してダイヤルできます。

国際電話番号のダイヤル

手順

-
- ステップ1 アスタリスク (*) を1秒以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。
対応するトーンが停止して、* が+記号に変わったことを示します。
 - ステップ2 国際電話の番号をダイヤルします。
-

プライバシー

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分のコール情報を隠すように設定できます。

プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。複数の共有回線を使用していて、プライバシーを有効にした場合、自分の共有回線は、いずれも他のユーザに表示されません。

回線を共有している電話でプライバシーが有効になっている場合は、通常どおり、共有回線を使用して通話を発信および受信できます。

関連トピック

[共有回線](#), ([113 ページ](#))

共有回線でのプライバシーの有効化

手順

-
- ステップ 1** この機能を有効にするには、[非通知] を押します。
この機能が有効な場合は、電話スクリーンにビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 2** この機能をオフにするには、[非通知] をもう一度押します。
-

品質レポート ツール

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

電話機の問題のレポート

手順

-
- ステップ1 [品質のレポート] を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして、問題と最も近い項目を選択します。
 - ステップ3 [選択] ソフトキーを押します。
情報がシステム管理者に送信されます。
-

リダイヤル

リダイヤルでは、最後にダイヤルした電話番号を発信できます。

番号のリダイヤル

手順

-
- ステップ1 任意の電話回線でコールを発信するには、[リダイヤル] を押します。
 - ステップ2 特定の電話回線でコールを発信するには、その回線を選択してダイヤルトーンを確認し、[リダイヤル] を押します。
-

セキュアおよび非セキュア通知トーン

電話機がセキュア（暗号化され、信頼できる）なものとして設定されている場合、その電話機は「保護されている」と考えられます。電話機を保護すると、コールの開始時に通知トーンを再生するよう保護された電話機を設定できます。

このセキュアおよび非セキュア通知トーンを聞くことができるのは、保護された電話機に限られます。保護されていない電話機では、セキュアまたは非セキュア トーンは聞こえません。コール中にコールの全体的なステータスが変更されると、保護された電話機では適切なトーンが再生されます。

保護されている電話機は、次の状況に応じて、トーンを再生するかどうかを決定します。

- トーンを再生するオプションである [セキュア通知トーンの再生] オプションが有効（オン）になっている場合：

- エンドツーエンドのセキュアなメディアが確立され、コールステータスがセキュアになった場合、電話機はセキュア通知トーン（間に小休止を伴う3回の長いビープ音）を再生します。
 - エンドツーエンドの非セキュアなメディアが確立され、コールステータスが非セキュアになった場合、電話機は、非セキュアの通知トーンを再生します（間に小休止を伴う6回の短いビープ音）。
- [セキュア通知トーンの再生]オプションが無効になっている場合、トーンは再生されません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

共有回線

共有回線では、複数の電話機に1つの電話番号を使用して、自分または同僚のいずれかがコールに応答できます。回線ボタンが赤色に点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

たとえば、同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合：
 - 自分の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
 - 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
- 共有回線に同僚のコールがある場合：
 - 電話機の共有回線ボタンが赤色に点灯します。これは、その回線がリモートで使用されていることを示します。
 - 同僚のコールが自分の画面に表示されます（同僚がプライバシー機能を有効にしている場合を除く）。
- コールを保留にした場合：
 - 自分の回線ボタンが緑色に点滅します。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に点滅します。
- 自分または同僚は、割り込み機能を使用して、共有回線の通話に参加できます。割り込みによって、通話がグループ通話に変換されます。割り込みを実行するには、リモートで使用中の共有回線のコールに対応する赤いセッションボタンを押します。

関連トピック

[割り込み, \(86 ページ\)](#)

[プライバシー, \(111 ページ\)](#)

モニタリングと録音

モニタリングと録音を使用すると、必要に応じてコールをモニタリングおよび録音できます。この機能を有効にするのはシステム管理者です。必要に応じて、全コールの自動録音、またはコールごとの録音を設定できます。

電話機の [録音] を押すことにより、録音を開始または停止できます。

コールのモニタリングおよび録音中に、通知トーンを聞くことができます。デフォルトでは、コールのモニタリングと録音（設定されている場合）を実行しているユーザに、通知トーンは聞こえません。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

スピードダイヤル

スピードダイヤルでは、ボタンを押すかプリセットしたコードを入力するだけでコールを発信できます。電話機でスピードダイヤル機能を使用する前に、ユーザオプション Web ページでスピードダイヤルを設定する必要があります。

電話機は設定に応じて、次のようなスピードダイヤル機能をサポートできます。

- **スピードダイヤル ボタン**：スピードダイヤル用に設定された 1 つ以上の回線ボタンから電話番号をすばやくダイヤルできます。
システム管理者が回線ステータス機能を設定している場合は、回線ステータスインジケータを使用してスピードダイヤル回線のステータスをモニタリングできます。
- **スピードダイヤル コード**：コードを入力して電話番号をダイヤルできます（「短縮ダイヤル」と呼ぶ場合もあります）。

スピードダイヤルを使用して、強制承認コード（FAC）、クライアント識別コード（CMC）、または付加的なディジット（ユーザ内線、会議のアクセスコード、ボイスメールのパスワードなど）を必要とする電話番号をダイヤルすることもできます。通常、これらの番号では、ディジット文字列の間にポーズ文字を入力する必要があります。


関連トピック

- [\[ユーザオプション\]でのスピードダイヤルの設定、（128 ページ）](#)
- [回線ステータスインジケータ、（105 ページ）](#)
- [スピードダイヤルのポーズ、（128 ページ）](#)

スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機でスピードダイヤル ボタンを使用する前に、ユーザオプション Web ページでスピードダイヤルを設定する必要があります。

手順

コールを発信するには、電話機の左側にあるスピードダイヤルボタン  を押します。

スピードダイヤルコードを使用したコールの発信

電話機でスピードダイヤルコードを使用する前に、ユーザオプション Web ページでコードを設定する必要があります。

オンフックでのスピードダイヤルコードの使用

手順

スピードダイヤルコードを入力し、[スピードダイヤル] を押します。

オフフックでのスピードダイヤルコードの使用

手順

-
- ステップ 1** ハンドセットを持ち上げて、[スピードダイヤル] を押します。
 - ステップ 2** スピードダイヤルコードを入力し、もう一度 [スピードダイヤル] を押して、コールを完了します。
-

ポーズ入りスピードダイヤル

ポーズ入りスピードダイヤル機能を使用すると、強制承認コード (FAC)、クライアント識別コード (CMC)、ダイヤル中のポーズ、または付加的なディジット (ユーザ内線、会議のアクセスコード、ボイスメールのパスワードなど) を必要とする接続先に、スピードダイヤルを使用して発信できます。設定済みのスピードダイヤルを押すと、電話機は接続先番号とのコールを確立し、ダイヤル中のポーズを入れて、指定された FAC、CMC、および付加的なディジットを送信します。

ダイヤル中のポーズをスピードダイヤルに含める場合は、スピードダイヤル文字列の一部としてカンマ (,) を含めることができます。このカンマは、2秒間のポーズを指定します。このポーズは、スピードダイヤル文字列の中の他のディジットと、FAC および CMC を区別するためにも使用できます。



(注) スピードダイヤル文字列に FAC および CMC を含めるときは、以下の要件に注意してください。

- スピードダイヤル文字列では、FAC が常に CMC よりも前に来る必要があります。
- FAC および DTMF のディジットを含むスピードダイヤルには、スピードダイヤルラベルが必要です。
- 文字列内の FAC および CMC のディジット間に入力できるカンマは 1 つだけです。

文字列に含める各カンマは、追加の 2 秒間のポーズを表します。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。



(注) スピードダイヤルを設定する前に、指定したディジットへの手動接続を少なくとも 1 回試行して、ディジットシーケンスが正しいことを確認してください。

電話機では、スピードダイヤルの FAC、CMC、および付加的なディジットを通話履歴に保存しません。スピードダイヤルを使用して接続先に接続した後で[リダイヤル]を押すと、FAC、CMC、または DTMF の必要なすべてのディジットを手動で入力するように電話機からプロンプトが出されます。

以下の例は、ポーズを含むスピードダイヤルの使用方法を示します。

例 1

ボイスメールにアクセスするための次の要件を考えます。

- ボイスメールにアクセスする着信者番号：8000
- PIN：123456# (2 秒の案内後)
- ボイスメール応答：6 秒間のポーズ (自動アナウンスが選択可能なオプションをリストする期間) 後にオプション 3 を入力して最新メッセージを参照します

このボイスメールボックスにアクセスするスピードダイヤルをセットアップする場合は、次のスピードダイヤル文字列を指定できます。

8000,123456#,,,3

例 2

次のコール要件を考えます。

- 着信者番号：95556543
- FAC：1234
- CMC：9876
- コールの接続 4 秒に必要な自動化された電話機システムの応答：56789#

この接続先にアクセスする場合は、次のスピードダイヤル文字列を指定できます。
95556543,1234,9876,,56789#

転送


転送を使用すると、接続されているコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。

- 1つのコールを指定した別の番号にリダイレクトできます。
- 1つの回線または2つの異なる回線にある2つのコールを（自分自身は回線上に留まることなく）相互に接続することもできます。

転送手続きを完了する前に、リリースボタンまたは[キャンセル]を押すと、その転送をキャンセルできます。[切替]を押して複数のコールを切り替え、それぞれの通話相手だけと通話することもできます。

別の番号へのコールの転送

手順

-
- ステップ1** アクティブ（保留中でない）コールから開始します。
- ステップ2** 転送  を押し、次の操作のいずれかを実行して、転送先の電話番号を入力します。
- 保留中のコールの緑色に点滅しているセッションボタン（右側）を押します。
 - 転送先の相手の電話番号を入力します。
 - 通話履歴レコードまで画面をスクロールし、[コール]を押します。
 - スピードダイヤルボタンを押します。
 - スピードダイヤルを押し、スピードダイヤル番号を入力するか、コールする番号を強調表示し、もう一度スピードダイヤルを押します。
 - [アクティブコール]を押し、保留中のコールを選択します。転送はすぐに完了します。
- ステップ3** [転送]を押します。
転送を完了するために、受信者の応答を待つ必要はありません。
-

転送完了前のコールの切り替え

転送先と接続した後でコールをその通話相手に転送する前に、[切替]を押して2つのコールを切り替えられます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。

Uniform Resource Identifier ダイヤリング

Uniform Resource Identifier (URI) ダイヤリングにより、*bob@cisco.com* など、英数字の URI アドレスを電話番号として使用してコールを発信できます。接続先を選択するには、URI アドレスを入力する必要があります。

電話スクリーンに、URI コールのコール情報が表示されます。URI コール情報は、電話機の通話履歴および [詳細] ページに保存されます。



(注) URI コールは、ソフトキーパッドを使用して発信できません。

URI ダイアルには、次の要件があります。

オンフック コールの開始

入力方式を切り替えて、キーパッドを使用した URI ダイアルモードにするには、[ABC] ソフトキーを押す必要があります。

オフフック コールの開始

URI アドレスが[スピードダイアル]リストまたは[通話履歴]に保存されている場合は、URI ダイアルを使用してコールを発信できます。

ダイアル中

URI アドレスの入力中に 10 秒を超えるポーズを入れた場合、電話機では、URI 入力を使用してコールのダイアルを開始します。URI アドレスの最大長は、254 文字です。

リダイアル

最後にダイアルした URI アドレスに発信するには、[リダイアル]を押します。

スピードダイアル

コールを発信するためのスピードダイアルエントリーとして URI アドレスを設定できます。

セッションバブル

URI ダイアルに対するコールの発信または受信時には、完全な URI アドレスがコールバブルに表示されます。

着信コール トースト

着信コールアラート トーストでは、URI アドレスの表示をサポートしています。

不在、発信、受信コールのロギング

URI ダイアルのログは、通話履歴に保存されます。

通話履歴からの URI ダイヤル

コールリストから URI アドレスを選択して、コールを発信できます。URI ダイヤルモードを開始して、コールを発信できます。

デフォルトドメイン

完全なドメイン名を入力して、デフォルトドメインを上書きできます。

通話履歴フィルタ

URI アドレスを入力して URI ダイヤルを介してコールを発信するときに、入力済みの文字を使用して [通話履歴] が表示されます。

すべてのコールの転送

スピードダイヤルまたは通話履歴のエントリを使用して、すべてのコールの転送に対する接続先を設定できます。

アドホック会議

URI アドレスが [スピードダイヤル] リストまたは [通話履歴] に保存されている場合は、URI ダイヤルを使用して、会議コールを開始し、複数の参加者を追加できます。

転送

URI アドレスが [スピードダイヤル] リストまたは [通話履歴] に保存されている場合は、URI ダイヤルを使用したコールの転送を開始できます。

プライバシー

表示される URI アドレス情報を非表示にできます。

ビジーランプフィールドスピードダイヤル

スピードダイヤルまたは通話履歴と関連付けられた URI ダイヤルを使用して、コールの状態（使用中またはアイドル）をモニタできます。

折返し

話中または対応不可能な通話相手が対応可能になったときに、URI ダイヤルを開始できます。

機能の互換性

ミーティングおよび G ピック機能の使用中は、URI アドレスのスピードダイヤルおよびリダイヤルは無効です。

Cisco Unified Communications Manager Express and Survivable Remote Site Telephony

電話機が Cisco Unified Communications Manager Express and Survivable Remote Site Telephony (CME/SRST) に接続されている場合、URI ダイヤル機能は無効です。[ABC] ソフトキーは電話スクリーンに表示されません。

WebDialer

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目を選択することで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。この機能はシステム管理者が設定します。

WebDialer と Cisco ディレクトリの使用

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ディレクトリ]を選択して同僚を検索します。
 - ステップ 3 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル]を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[終了]を選択するか、ハンドセットを置きます。
-


WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用

手順

- ステップ 1 WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。
 - ステップ 2 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル]を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[終了]を選択するか、ハンドセットを置きます。
-


WebDialer 設定の変更

手順

-
- ステップ 1** WebDialer を使用してコールを開始し、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウにアクセスします。
[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます（ダイヤルする番号を選択した後）。
- ステップ 2** [Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウから、次のいずれかのオプションを選択します。
- [優先する言語]：WebDialer 設定とプロンプトに使用する言語を決定します。
 - [優先するデバイスを使用する]：WebDialer コールを発信するのに使用する Cisco Unified IP Phone（コールに使用するデバイス）とディレクトリ番号（コールに使用する回線）を識別します。
- 1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。
- ステップ 3** 電話機と回線が自動的に選択されない場合は、電話機または回線を選択します。
同じタイプの電話機が複数ある場合、リストでは、デバイスタイプとMACアドレスによって電話機が識別されます。電話機にMACアドレスを表示するには、アプリケーション  > [電話機の情報] を選択します。
- ステップ 4** エクステンションモビリティプロファイルを持っている場合、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウの [コールに使用するデバイス] ドロップダウンメニューから [エクステンションモビリティ] を選択します。
- [コールの確認ダイアログを表示しない]：これを選択すると、次に WebDialer を使用するときに WebDialer の [Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウが表示されなくなります。Cisco ディレクトリから連絡先を選択した後で、コールは自動的にダイヤルされます。
 - [自動終了の無効化]：これを選択すると、[コール] ウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。
-

WebDialer のログアウト

手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウまたは [Cisco WebDialer - 終了] ウィンドウでログアウトアイコン  を選択します。



第 6 章

ユーザ オプション

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用すると [Cisco Unified CM のユーザ オプション] Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、サービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤル ボタンを設定できます。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ユーザ オプション Web ページへのログインおよびログアウト](#), 123 ページ
- [デバイスの設定](#), 124 ページ
- [ユーザ設定](#), 132 ページ
- [ディレクトリ](#), 134 ページ
- [個人アドレス帳の設定](#), 134 ページ
- [ファストダイヤルの設定](#), 136 ページ
- [モビリティ設定](#), 138 ページ
- [プラグイン](#), 141 ページ

ユーザ オプション Web ページへのログインおよびログアウト

スピードダイヤル、個人アドレス帳などのユーザオプションを使用するには、ログインする必要があります。ユーザオプション Web ページの使用を終えたら、ログアウトする必要があります。

ログインを必要としないで、ユーザ オプション Web ページにアクセスできることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードは、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション] ホーム ページが表示されます。このページから [ユーザ オプション] を選択すると、デバイスを選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、ファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプション Web ページからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-

デバイスの設定

ユーザ オプション Web ページから、電話機のデバイス設定を変更できます。次のデバイス設定は、電話機で変更できます。

- 回線
- スピードダイヤルの設定
- 電話機サービス

ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
[デバイス設定] ウィンドウが表示されます。[デバイス設定] ウィンドウの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** (任意) 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス (電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル) を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。
-

サイレントオプションのカスタマイズ

手順

ステップ1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。

ステップ2 次のオプションを設定します。

- サイレント：チェックボックスをオンにしてサイレントを有効にするか、無効にします。
- サイレントオプション：[なし]または[呼出音オフ]（呼出音だけをオフにする）を選択します。
- サイレント着信呼警告（設定したいずれのサイレントオプションにも適用）：アラートを[ビープ音のみ]、[フラッシュのみ]、[無効]に設定するか、[なし]を選択します（システム管理者が設定したアラートの設定を使用するため）。

ステップ3 [保存]を選択します。

関連トピック

[サイレント](#), (98 ページ)

回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージ受信インジケータ、ボイスメッセージインジケータ、呼出音のパターンや、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送の設定
- 呼出音、表示、その他の電話機モデル固有の設定の変更

関連トピック

[コール転送](#), (88 ページ)

[通話履歴](#), (41 ページ)

回線ごとにコール転送を設定

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ3 [回線の設定]を選択します。
 - ステップ4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線]ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ5 [着信コールの転送]領域で、さまざまな状況に対してコール転送設定を選択します。
 - ステップ6 [保存]を選択します。
-

回線ごとにボイスメッセージのインジケータの設定を変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ3 [回線の設定]を選択します。
 - ステップ4 （任意）電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線]ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ5 [メッセージ受信ランプ]領域で、さまざまな設定から選択します。
通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。
 - ステップ6 [保存]を選択します。
-

回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定の変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定]を選択します。
 - ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線]ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 5 [オーディオメッセージ受信ランプ]領域で、必要な設定を選択します。
 - ステップ 6 [保存]を選択します。
-

回線ごとの呼出音設定の変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定]を選択します。
 - ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線]ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 5 [呼出音設定]領域で、ドロップダウンメニューから[呼出音設定（電話がアイドルのとき）]と[呼出音設定（電話がアクティブのとき）]のオプションを設定します。
オプションは次のとおりです。
 - システムデフォルト
 - 無効
 - フラッシュのみ
 - 一度鳴らす
 - 鳴らす
 - ビープ音のみ（このオプションは[呼出音設定（電話がアクティブのとき）]の場合のみ指定可）
 - ステップ 6 [保存]を選択します。
-

電話機ディスプレイの回線テキスト ラベルの編集

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
- ステップ 2** [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
- ステップ 3** [回線の設定]を選択します。
- ステップ 4** 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線]ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 5** [回線のテキスト ラベル]領域に、テキスト ラベルを入力します。
- ステップ 6** [保存]を選択します。
-

[ユーザ オプション]でのスピードダイヤルの設定

電話機の設定に応じて、スピードダイヤル ボタンやスピードダイヤル コードを使用できます。これらの設定はユーザ オプション Web ページで行えます。

スピードダイヤルのポーズ

スピードダイヤルを使用すると、強制承認コード（FAC）、クライアント識別コード（CMC）、ダイヤル中のポーズ、または付加的なディジット（ユーザ内線、会議のアクセスコード、ボイスメールのパスワードなど）を必要とする接続先にダイヤルできます。設定済みのスピードダイヤルを押すと、電話機は接続先番号とのコールを確立し、ダイヤル中のポーズを入れて、指定されたFAC、CMC、および付加的なディジットを送信します。

ダイヤル中のポーズをスピードダイヤルに含めるには、スピードダイヤル文字列の一部としてカンマ（,）を含めます。このカンマは、2秒間のポーズを指定します。このポーズは、スピードダイヤル文字列の中の他のディジットと、FACおよびCMCを区別するためにも使用できます。



(注) スピードダイヤル文字列にFACおよびCMCを含めるときは、以下の要件に注意してください。

- スピードダイヤル文字列では、FACが常にCMCよりも前に来る必要があります。
- FACおよびDTMFのディジットを含むスピードダイヤルには、スピードダイヤルラベルが必要です。
- 文字列内のFACおよびCMCのディジット間に入力できるカンマは1つだけです。

文字列に含める各カンマは、追加の2秒間のポーズを表します。たとえば、2個のカンマ（,,）は、4秒間のポーズを表します。



- (注) スピードダイヤルを設定する前に、指定したディジットへの手動接続を少なくとも1回試行して、ディジットシーケンスが正しいことを確認してください。

電話機では、スピードダイヤルのFAC、CMC、および付加的なディジットを通話履歴に保存しません。スピードダイヤルを使用して接続先に接続した後で[リダイヤル]を押すと、FAC、CMC、またはDTMFの必要なすべてのディジットを手動で入力するように電話機からプロンプトが出されます。

以下に、スピードダイヤル機能の使用方法を示す文字列の例を示します。

例1

ボイスメールにアクセスするための次の要件を考えます。

- ボイスメールにアクセスする着信者番号：8000
- PIN：123456#（2秒の案内後）
- ボイスメール応答：6秒間のポーズ（自動アナウンスが選択可能なオプションをリストする期間）後にオプション3を入力して最新メッセージを参照します

このボイスメールボックスにアクセスするスピードダイヤルを設定するには、次のスピードダイヤル文字列を指定します。

8000,123456#,,3

例2

次のコール要件を考えます。

- 着信者番号：95556543
- FAC：1234
- CMC：9876
- コールの接続4秒に必要な自動化された電話機システムの応答：56789#

この接続先にアクセスするには、次のスピードダイヤル文字列を指定します。

95556543,1234,9876,,56789#

スピードダイヤル ボタンの設定

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
- ステップ3 [スピードダイヤル] を選択します。
- ステップ4 [スピードダイヤル設定] 領域で、電話機のスピードダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
- ステップ5 [保存] を選択します。

スピードダイヤル コードの設定

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
- ステップ3 [スピードダイヤル] を選択します。
- ステップ4 [短縮ダイヤル設定] 領域で、スピードダイヤル コードの番号とラベルを入力します。
- ステップ5 [保存] を選択します。



電話機サービス



電話サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）などがあります。電話サービスにアクセスする前に、まず電話サービスに登録する必要があります。ユーザ オプション Web ページから、サービスをスピードダイヤル ボタンに割り当てることができます。

電話機で使用できるサービスは、システム管理者が設定した電話機システムの設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

設定したサービスが1つだけの場合は、デフォルトでそのサービスが開きます。設定したサービスが複数ある場合は、メニューからオプションを選択します。

次の機能ボタンのいずれかを使用してサービスを選択します。

-  (システム管理者が設定する機能ボタン)
-  メッセージ

-  アプリケーション
-  連絡先

サービスの登録

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
- ステップ3 [IP Phone サービス] を選択します。
- ステップ4 [新規追加] を選択します。
- ステップ5 ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] を選択します。
- ステップ6 (任意) 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力したりします。
- ステップ7 [保存] を選択します。

サービスの検索

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、デバイスを検索します。
- ステップ2 [IP Phone サービス] を選択します。
- ステップ3 [検索] を選択します。

サービスの変更または解除

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
- ステップ2 1つ以上のエントリを選択します。
- ステップ3 [選択項目の削除] を選択します。

サービス名の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
 - ステップ2 サービス名を選択します。
 - ステップ3 情報を変更して [保存] を選択します。
-

プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
 - ステップ3 [サービス URL] を選択します。
電話機のサービス URL ボタンは、システム管理者が設定します。
 - ステップ4 [ボタンサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。
 - ステップ5 (任意) サービスの名前を変更する場合は、ラベルフィールドを編集します。
電話機が、2 バイト文字セットをサポートしていない場合、ASCII ラベル フィールドが使用されます。
 - ステップ6 [保存] を選択します。
 - ステップ7 電話機の新しいボタンラベルを表示するために、[リセット] を選択して電話機をリセットします。
-

ユーザ設定

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナルディレクトリにログインするために使用します。パスワードを使用して、自分のユーザ オプション Web ページや、自分のパーソナルコンピュータの Cisco WebDialer にログインします。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ユーザ設定には、ブラウザのパスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

ブラウザのパスワードの変更

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
- ステップ2 現在のパスワードを入力します。
- ステップ3 新しいパスワードを入力します。
- ステップ4 [パスワードの確認] フィールドに新しいパスワードを再度入力します。
- ステップ5 [保存] を選択します。

PIN の変更

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
- ステップ2 現在の PIN を入力します。
- ステップ3 新しい PIN を入力します。
- ステップ4 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
- ステップ5 [保存] を選択します。

ユーザ オプションの言語の変更

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
- ステップ2 [ユーザ ロケール] 領域で [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
- ステップ3 [保存] を選択します。

電話機のディスプレイの言語の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ2 [ユーザ ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
 - ステップ3 [保存] を選択します。
-

ディレクトリ

社内ディレクトリに記載された同僚のリストを取得するには、[ユーザ オプション]>[ディレクトリ] を選択します。

コンピュータ上でアクセスできるディレクトリ機能は、次のとおりです。

- 個人アドレス帳（PAB）：電話機からもアクセス可能
- ファストダイヤル：電話機からもアクセス可能
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

関連トピック

[パーソナルディレクトリ、（64 ページ）](#)

[社内ディレクトリ、（63 ページ）](#)

個人アドレス帳の設定

ユーザ オプション Web ページから、個人アドレス帳のエントリを追加、削除、または更新できます。

新しい個人アドレス帳エントリの追加

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ2 [新規追加] を選択します。
 - ステップ3 エントリの情報を入力します。
 - ステップ4 [保存] を選択します。
-

個人アドレス帳エントリの検索

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[個人アドレス帳] を選択します。
- ステップ2 検索情報を指定して、[検索] を選択します。

パーソナル ディレクトリ エントリの編集

手順

- ステップ1 パーソナル ディレクトリにログインし、エントリを検索します。
- ステップ2 エントリを選択します。
- ステップ3 [編集] を押して名前または電子メールアドレスを変更します。
- ステップ4 名前と電子メールアドレスを変更します。
- ステップ5 [電話] を押して、電話番号を変更します。
- ステップ6 [更新] を押します。

パーソナル ディレクトリのエントリの削除

手順

- ステップ1 パーソナル ディレクトリにログインし、エントリを検索します。
- ステップ2 エントリを選択します。
- ステップ3 [編集] を押します。
- ステップ4 [削除] を押します。
必要に応じて、先に [次へ] を選択します。
- ステップ5 [OK] を押して、削除を確認します。

個人アドレスのボタンの割り当て

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
 - ステップ3 [サービス URL] を選択します。
システム管理者はサービスを表示するように電話機を設定します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
 - ステップ4 [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。
 - ステップ5 ボタンの電話ラベルを入力します。
 - ステップ6 [保存] を選択します。
 - ステップ7 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。
ボタンを押して、個人アドレス帳コードにアクセスできるようになります。
-

ファストダイヤルの設定

ユーザ オプション Web ページから、ファストダイヤル エントリを追加、削除、または更新できます。

最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤル エントリを作成できます。これらのファストダイヤル エントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

ファストダイヤルの機能ボタンの割り当て

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ2 システム管理者から取得した [サービス URL] を選択します。
 - ステップ3 [ボタン] ドロップダウン リストで [ファストダイヤル] サービスを選択します。
 - ステップ4 ボタンの電話ラベルを入力します。
 - ステップ5 [保存] を選択します。
 - ステップ6 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。
-

個人アドレス帳エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

手順

- ステップ1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 [新規追加]を選択します。
- ステップ3 [検索オプション]領域を使用して、目的の個人アドレス帳エントリを検索します。
- ステップ4 [検索結果]領域の電話番号を選択します。
- ステップ5 (任意) ファストダイヤルコードを変更します。
- ステップ6 [保存]を選択します。

個人アドレス帳エントリを使用しない電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て

手順

- ステップ1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 [新規追加]を選択します。
- ステップ3 (任意) ファストダイヤルコードを変更します。
- ステップ4 電話番号を入力します。
- ステップ5 [保存]を選択します。

ファストダイヤルエントリの検索

手順

- ステップ1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 検索情報を指定して、[検索]を選択します。

ファストダイヤル電話番号の編集

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 編集するファストダイヤル エントリを検索します。
- ステップ3 エントリのコンポーネントを選択します。
- ステップ4 電話番号を変更します。
- ステップ5 [保存]を選択します。

ファストダイヤル個人アドレス帳エントリの削除

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、ファストダイヤル エントリを検索します。
- ステップ2 1つ以上のエントリを選択します。
- ステップ3 [選択項目の削除]を選択します。

モビリティ設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

関連トピック

[モバイルコネクト](#), (107 ページ)

新しいリモート接続先の追加

手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[リモート接続先] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加] を選択します。
- ステップ 3** 次の情報を入力します。
- [名前]: 携帯（またはその他の）電話の名前を入力します。
 - [接続先番号]: 携帯電話番号を入力します。
- ステップ 4** ドロップダウン リストからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されています。
- ステップ 5** [携帯電話] チェックボックスをオンにすると、デスクの電話機から送信するコールをリモート接続先で受け付けます。
- ステップ 6** [モバイル コネクトの有効化] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機と同時にリモート接続先が呼び出されます。
- ステップ 7** [呼び出しスケジュール] 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。
- [常に]: 曜日や時刻を制限せずにリモート接続先で着信音を鳴らす場合は、このオプションを選択します。
 - [次に指定されたとおり]: 曜日や時刻に基づいて呼び出しスケジュールを設定する場合にこのオプションを選択し、次の項目から選択します。
 - リモート接続先の呼び出しを許可する曜日のチェックボックスをオンにします。
 - それぞれの曜日について、[終日]を選択するか、ドロップダウンリストから開始時刻と終了時刻を選択します。
 - ドロップダウン リストからタイムゾーンを選択します。
- 呼び出しスケジュールのドロップダウンリストには、作成したアクセスリストのみが表示されます。
- ステップ 8** 以下の着信音オプションから 1 つ選択します。
- [常にこの接続先を呼び出す]
 - [選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す]

- [選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合には、この接続先を呼び出さない]

ステップ 9 [保存] を選択します。

アクセス リストの作成

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[アクセス リスト] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加] を選択します。
- ステップ 3 (任意) アクセス リストを識別する名前と説明を入力します。
- ステップ 4 指定されたコールをアクセス リストで許可するのか、ブロックするのを選択します。
- ステップ 5 [保存] を選択します。
- ステップ 6 [メンバーの追加] を選択すると、リストに電話番号やフィルタを追加できます。
- ステップ 7 [フィルタ マスク] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。
電話番号、発信者 ID が制限されている (使用不可) コール、発信者 ID 非通知 (非通知) のコールをフィルタすることができます。
- ステップ 8 [フィルタ マスク] ドロップダウン リストから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。
フィルタを定義するときは、次のワイルドカードを使用できます。
- X (大文字または小文字)**
- 1 桁の数字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。
- !**
- 任意の桁の数字と一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。
- #**
- 完全一致用の 1 桁の数字として使用します。
- ステップ 9 アクセス リストにこのメンバーを追加するには、[保存] を選択します。
- ステップ 10 アクセス リストを保存するには、[保存] を選択します。
-

プラグイン

ユーザオプション Web ページのプラグインを使用すると、システム管理者が設定したアプリケーションをダウンロードしてそれにアクセスできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

プラグインへのアクセス

システム管理者がプラグインを設定した場合のみ、プラグインが表示されます。

手順

ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[プラグイン]を選択します。



第 7 章

アクセサリ

電話機は、シスコおよびサードパーティ メーカーのアクセサリをサポートしています。

アクセサリ	タイプ	Cisco Unified IP Phone		
		8961	9951	9971
シスコ製アクセサリ				
Cisco Unified IP Color Key Expansion Module	アドオンモジュール	X	X	X
Cisco Unified Camera	アドオンモジュール	-	X	X
Virtual Desktop Infrastructure (VDI) クライアント	アドオンモジュール	X	X	X
サードパーティ製アクセサリ				
ヘッドセット	アナログ	X	X	X
	アナログワイドバンド	X	X	X
	Bluetooth	-	X	X
	USB	X	X	X
マイクロフォン	外部 PC	-	X	X
スピーカ	外部 PC	-	X	X

この章は、次の内容で構成されています。

- [USB デバイス, 144 ページ](#)

- [Cisco Unified IP Color Key Expansion Module, 144 ページ](#)
- [Cisco Unified Video Camera, 148 ページ](#)
- [ビデオ画面の機能, 156 ページ](#)
- [Bluetooth ヘッドセット, 158 ページ](#)
- [VDI クライアント, 159 ページ](#)

USB デバイス

各 USB ポートは、電話機に接続されたサポート対象およびサポート対象外のデバイスを最大 5 台サポートします。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。

たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス（たとえば 3 台の Cisco Unified IP Color Key Expansion Module、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイス）を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます。多くのサードパーティ USB 製品は、USB デバイスを複数含んでおり、したがって、複数デバイスとしてカウントされます。たとえば、内部ハブとヘッドセットを含むサードパーティ USB デバイスは、2 つの USB デバイスとしてカウントされます。

USB ハブを使用しており、アクティブ コールの間に電話機またはデバイス ポートから USB ケーブルを抜くと、電話機またはデバイスがリブートすることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Cisco Unified IP Color Key Expansion Module

Cisco Unified IP Color Key Expansion Module を Cisco Unified IP Phone 8961/9951/9971 に接続すると、最大 36 の回線アピアランスまたはプログラマブル ボタンを電話機に追加できます。プログラマブル ボタンは、電話回線ボタン、スピードダイヤル ボタン、または機能ボタンとして設定できます。

Cisco Unified IP Phone 9951 および Cisco Unified IP Phone 9971 には、複数の拡張モジュールを追加できます。

Cisco Unified IP Phone モデル	サポートされる拡張モジュールの数
8961	1 つの拡張モジュールと 36 回線またはボタン
9951	2 つの拡張モジュールと 72 回線またはボタン
9971	3 つの拡張モジュールと 108 回線またはボタン

複数のキー拡張モジュールを接続した場合は、電話機に接続した順序に従って番号付けされます。次の例を参考にしてください。

- カラー キー拡張モジュール 1 は、電話機に最も近い拡張モジュールです。
- キー拡張モジュール 2 は、中央の拡張モジュールです。
- キー拡張モジュール 3 は、一番右側の拡張モジュールです。

次の図は、3 台の Cisco Unified IP Color Key Expansion Module を取り付けた、Cisco Unified IP Phone 9971 を示します。



Cisco Unified IP Color Key Expansion Module の機能

Cisco Unified IP Color Key Expansion Module の機能を次に示します。



1	<p>電話スクリーン：電話番号、スピードダイヤル番号（または名前その他のテキストラベル）、電話機サービス、電話機の機能、または各ボタンに割り当てられたプライバシーが表示されます。</p> <p>回線ステータスを示すアイコンは、キー拡張モジュールが接続されている Cisco Unified IP Phone と同様であり、同じ機能を持ちます。</p>
2	<p>点灯ボタン：18 回線のボタン。各ボタンは、（Cisco Unified IP Phone の場合と同様に）1 本の回線に対応しています。各ボタンの下のライトは、対応する回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用可能な回線：消灯 • ユーザが使用中の回線：緑色のライトが点灯 • 他のユーザが使用中の回線：赤色のライトが点灯 • 呼び出し中の回線：オレンジ色のライトが点灯 • 保留中のコールがある：緑色のライトが点灯 • 他のユーザが共有回線でコールを保留している：赤色のライトが点灯 • コール転送：緑色のライトが点灯 • 非アクティブ ページでコールが鳴っている：オレンジ色のライトが点灯

3	<p>シフト ボタン：2つのボタンがあります。各ボタンは、18個の回線キーがある1つのページに対応しています。ページ1のボタンには番号1、ページ2のボタンには番号2のラベルが付いています。各ボタンの下のライトは、ページの状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• ページを表示中：緑色のライトが点灯• ページが非表示：消灯• ページが非表示で、ページ上にアラート状態のコールが1つ以上ある：オレンジ色のライトが点灯• ページが表示され、ページ上にアラート状態のコールが1つ以上ある：緑色のライトが点灯• 非アクティブ ページでコールが鳴っている：オレンジ色のライトが点滅
---	---

拡張モジュールでのコールの発信

手順

-
- ステップ1** 拡張モジュールで回線ボタンを押します。
- ステップ2** 電話番号をダイヤルします。
-

ボタンの設定

ボタンを設定する前に、Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにアクセスするため、次の情報をシステム管理者に問い合わせてください。

- URL
- ユーザ名とパスワード


これらの情報を入手すると、スピードダイヤル番号の設定やボタンのプログラムを行い、電話機サービスにアクセスできます。電話機サービスには、気象情報、株式相場、社内カレンダー、ディレクトリなどが含まれます。

関連トピック

[ユーザ オプション](#)

明るさの調整

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして [設定] を選択します。
 - ステップ3 [明るさ] を選択します。
 - ステップ4 [キー拡張モジュール] を選択します。
 - ステップ5 明るさを調整します。
 - 明るくするには、ナビゲーションパッドの右矢印を押します。
 - 暗くするには、ナビゲーションパッドの左矢印を押します。
 - ステップ6 [保存] を押して明るさを設定するか、[キャンセル] を押して終了します。
-

Cisco Unified Video Camera

(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

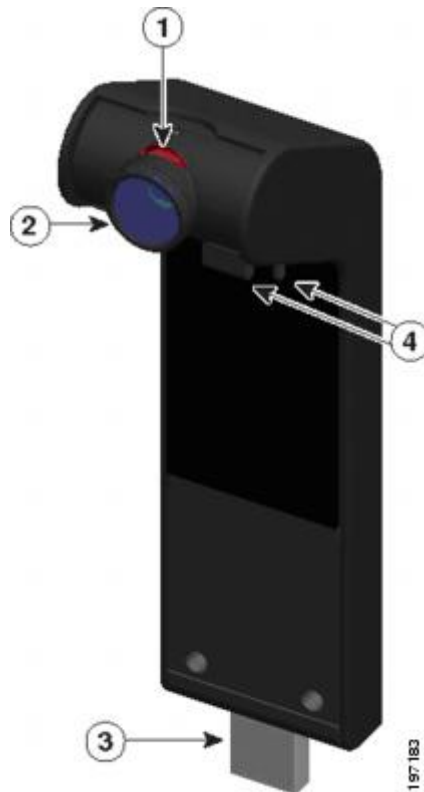
Cisco Unified Video Camera を Cisco Unified IP Phone に接続すると、Cisco Unified Video Camera が取り付けられている他の Cisco Unified IP Phone との間で2点間ビデオ通話を行うことができます。電話機に Cisco Unified Video Camera が接続されていない場合、一方向のビデオだけを受信できません。

次の図は、Cisco Unified IP Phone 9951 および Cisco Unified Video Camera を示します。



Cisco Unified Video Camera の機能

Cisco Unified Video Camera の機能を次に示します。

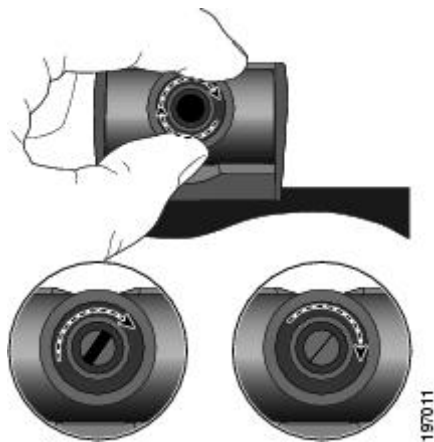


1	LED : カメラの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ転送中 : 緑 • ビデオがミュート状態 : 赤 	2	カメラのレンズ : 上下に回転して、カメラの角度を調節します。レンズシャッターを閉じて、ビデオ転送をブロックできます。
3	USB コネクタ	4	取り付けピン : カメラを Cisco Unified IP Phone に固定します。ピンは、電話機上部の所定のスロットに取り付けます。

カメラレンズのシャッター

カメラレンズのシャッターを使用して、カメラからのビデオ転送を物理的に遮断できます。

カメラレンズのシャッターを閉じる



手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	シャッターを閉じるには、レンズを時計回りに回します。	
ステップ 2	シャッターを開くには、レンズを反時計回りに回します。	

Cisco Unified Video Camera の取り付け

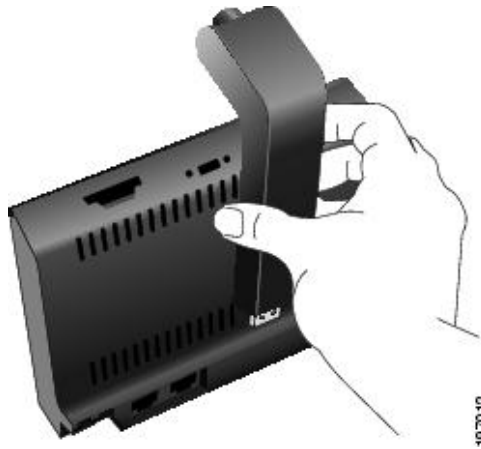
Cisco Unified Video Camera は、Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 や、コンピュータのモニターに取り付けることができます。カメラの取り付けや位置決めについて援助が必要な場合は、システム管理者に連絡してください。

カメラを取り付けるには、次のいずれかの手順を使用します。

電話機へのカメラの取り付け

手順

- ステップ1 カメラのレンズと本体から保護シートを取り除きます。
- ステップ2 電話機のディスプレイの上部にある小さいプラスチック カバーを外します。
- ステップ3 電話機がアイドル状態（通話なし）のときに、カメラの下部にある USB コネクタをスライドさせ、USB ポート（電話機のディスプレイの背面）に差し込みます。
このとき、カメラの下側にあるピンが電話機のディスプレイの上部にあるピンホールに収まり、カメラがよりしっかりと固定されます。



- ステップ4 電話スクリーンに表示される取り付け完了メッセージを確認します。
- ステップ5 取り付けが完了したら、必要に応じて表示領域と明るさの設定を調整します。

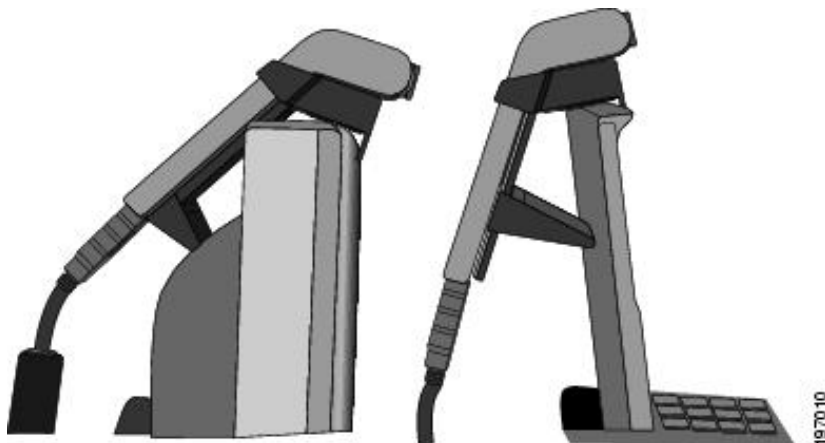
モニタへのカメラの取り付け

手順

- ステップ1 取り付けクリップと USB 延長ケーブルをシステム管理者から入手します。
- ステップ2 カメラのレンズと本体から保護シートを取り除きます。
- ステップ3 電話機のディスプレイの背面にある USB ポートに、USB 延長ケーブルを接続します。
- ステップ4 次の図に示すように、カメラを取り付けクリップに取り付けます。



- ステップ5 電話機をアイドル状態（コールなし）にして、USBケーブルをカメラ下部のUSBコネクタに接続します。
- ステップ6 必要に応じて取り付けクリップを調整して、コンピュータのモニタにしっかりと固定します。次の図に示すように、取り付けクリップには、大小2つの着脱可能なスライド式スタンドが備わっています。コンピュータのモニタに合ったスタンドを選択し、もう1つのスタンドは取り外すことができます。



ステップ7 電話スクリーンに表示される取り付け完了メッセージを確認します。

ステップ8 取り付けが完了したら、必要に応じて表示領域と明るさの設定を調整します。

カメラの設定

カメラの設定では、次の項目のユーザ設定を実施できます。

- ビデオプレビュー
- 自動転送
- 明るさ
- 表示領域

ビデオプレビュー

ビデオプレビューでは、ビデオ通話中でないときにカメラの画像を見ることができます。ビデオ通話の前にビデオプレビューを使用すると、カメラのセットアップと位置決めが効果的です。

ビデオのプレビュー

手順

ステップ1 [次へ]を押します。

ステップ2 [ビデオのプレビュー]を押します。

ビデオの有効化

電話機メニューにあるビデオのオン/オフの有効化設定を使用すると、ビデオ会議が向上します。有効にすると、電話機はビデオの送受信機能を備えていると識別されます。ビデオを無効にした場合、コールには、オーディオのみが使用されます。

この機能をオンまたはオフにするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 アプリケーションを押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、[アクセサリ]を選択します。
 - ステップ3 [Cisco Unified Video Camera]を選択します。
 - ステップ4 [セットアップ]を押します。
 - ステップ5 [オンにする]を押してビデオのオン/オフの有効化機能を有効にするか、[戻る]を押して[設定]画面に戻ります。
-



自動転送

ビデオの自動転送がオンの場合、通話中にカメラからビデオが自動的に転送されます。

ビデオの自動転送がオフの場合、通話のビデオは自動的にミュートになります（ただし、電話機は引き続きビデオを受信します）。



自動転送の有効化

手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 [アクセサリ]を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
 - ステップ3 [Cisco Unified Video Camera]を選択します。
 - ステップ4 [セットアップ]を押します。
 - ステップ5 [オンにする]を押して自動転送機能を有効にするか、[戻る] ソフトキー  を押して[セットアップ]画面に戻ります。
-

自動転送の無効化

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [アクセサリ] を選択します。
 - ステップ3 [Cisco Unified Video Camera] を選択します。
 - ステップ4 [セットアップ] を押します。
 - ステップ5 [オフにする] を押して自動転送機能を無効にするか、[戻る]  を押して [セットアップ] 画面に戻ります。
-

カメラの明るさ

明るさ設定は、相手に転送するビデオに適用されます。相手から受信するビデオには適用されません。



視野が明るさに影響することがあるため、明るさを調整する前に表示領域を調整してください。

関連トピック

[表示領域](#)、(156 ページ)

明るさの調整

手順

-
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [アクセサリ] を選択します。
 - ステップ3 [Cisco Unified Video Camera] を選択します。
 - ステップ4 [明るさ] を選択します。
 - 明るくするには、ナビゲーションパッドの右矢印または上矢印を押します。
 - 暗くするには、ナビゲーションパッドの左矢印または下矢印を押します。
 - ステップ5 明るさを設定するには、[保存] を押します。[セットアップ] 画面に戻るには、[戻る]  を押します。
-



表示領域

表示領域は、カメラの広角およびズーム機能に相当します。

- 表示領域を増やすと、広い撮影領域をカメラで捉えることができます。
- 表示領域を減らすと、拡大ズームとなり、撮影領域が狭まります。

カメラの表示領域の調整

手順

-
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [アクセサリ] を選択します。
ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します。
- ステップ 3** [Cisco Unified Video Camera] を選択します。
- ステップ 4** [表示領域] を選択します。
- カメラの表示領域を増やすには、ナビゲーションパッドの右矢印または上矢印を押します。
 - カメラの表示領域を減らすには、ナビゲーションパッドの左矢印または下矢印を押します。
- ステップ 5** コントラストを設定するには、[保存] を押します。[セットアップ] 画面に戻るには、[戻る]  を押します。
-

ビデオ画面の機能

Cisco Unified IP Phone では、電話機のコールがビデオを含んでいる場合に、このコールをサポートします。これらの電話機では、コールのビデオ部分を受信するために Cisco Unified Video Camera を取り付ける必要はありません。

ビデオ通話では、次の操作ができます。

- ビデオの非表示
- ビデオの全画面表示の有効化
- ビデオのミュート
- ビューの切り替え
- 子画面 (PIP) の位置の調整

関連トピック

[Cisco Unified Video Camera, \(148 ページ\)](#)

ビデオの表示または非表示

システム管理者は、デフォルトのソフトキー（[ビデオの表示] と [ビデオの非表示] のいずれか）およびデフォルト表示（ビデオを非表示またはビデオを表示）を設定します。

手順

-
- ステップ1** ビデオを非表示にするには、[ビデオの非表示] を押します。
- ステップ2** ビデオを表示するには、[ビデオの表示] を押します。
-

ビデオの全画面表示の有効化

手順

-
- ステップ1** [全画面表示] を押します。
- ステップ2** 元の表示に戻すには、[最小化] を押します。
-

ビデオのミュート

手順

-
- ステップ1** [ビデオのミュート] を押します。
- ステップ2** ビデオのミュートを解除するには、[ビデオのミュート解除] を押します。
-

表示の切り替え

手順

[切替] を押して、全画面表示と子画面（PIP）表示を切り替えます。
[切替] は、全画面表示のときのみ使用できます。

子画面の位置調整

手順

-
- ステップ1 [PIP] を押すと、[PIP] ウィンドウが画面上の別の象限に移動します。
- ステップ2 PIP を無効にするには、[PIP] を 5 回押します。
-

Bluetooth ヘッドセット

(Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 限定)

Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 は、ヘッドセットが Bluetooth をサポートしている場合は、Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。Bluetooth により、10 m (30 フィート) の範囲で、低帯域幅のワイヤレス接続が実現されます。最適なパフォーマンスは、1~2 m (3~6 フィート) の範囲で得られます。

電話機で Bluetooth ヘッドセットを使用する場合は、次の条件が適用されます。

- 電話機には Bluetooth ヘッドセットを 5 個までペアリングでき、接続できますが、最後に接続された Bluetooth ヘッドセットがデフォルトとして電話機で使用されます。
- Bluetooth ヘッドセットの接続後に、オフにして電話機と再接続します。以下の手順は、Bluetooth ヘッドセットを使用する場合に適用されます。
 - Bluetooth ヘッドセットとアナログ ヘッドセットが両方とも電話機に接続されている場合、動作するのは常に一方のタイプのヘッドセットだけです。USB ヘッドセットを使用すると、Bluetooth およびアナログ ヘッドセットはいずれも無効になります。
 - Bluetooth ヘッドセットを有効にすると、アナログ ヘッドセットは無効になります。
 - Bluetooth ヘッドセットを無効にすると、アナログ ヘッドセットは有効になります。
 - USB ヘッドセットのコードを抜いてから、Bluetooth ヘッドセットまたはアナログ ヘッドセットを有効にしてください。
- Bluetooth のカバレッジは電話機から約 9 m (30 フィート) までありますが、ヘッドセットの最適なカバレッジを確保するためには、Bluetooth ヘッドセットを電話機から 3 m (10 フィート) 以内の範囲で使用してください。
- 電話機は、Bluetooth ハンズフリープロファイルをサポートしています。以下の機能をサポートしている Bluetooth ヘッドセットの場合は、Bluetooth ヘッドセットから以下のコール機能を実行できます。
 - コールに応答する
 - コールを終了する

- ヘッドセットのコールの音量を変更する
- リダイヤル
- 発信者 ID
- 拒否
- 即転送
- 保留と応答
- リリースと応答

詳細については、Bluetooth ヘッドセットの製造元から提供されたマニュアルを参照してください。

Bluetooth ヘッドセットの使用には、潜在的に、干渉の問題が伴います。したがって、シスコでは、他の 802.11b/g デバイス、Bluetooth デバイス、電子レンジ、大型の金属製の物体を近くに置かないように推奨しています。

Bluetooth 無線ヘッドセットが機能するために、ヘッドセットが電話機の直接の見通し線内にある必要はありませんが、壁やドアなどの障害物、および他の電子デバイスからの干渉が接続に影響を及ぼすことがあります。

VDI クライアント

Virtual Desktop Infrastructure (VDI) クライアントは、Cisco Unified IP Phone 8961, 9951、または 9971 に接続されます。これによって、任意のデバイスを使用し、任意の場所から、随時、作業したり協力したりすることができる、仮想環境が実現されます。

VDI クライアントを使用するには、電話機で Cisco IP Power Cube を使用する必要があります。

詳細については、VDI のマニュアルを参照してください。



第 8 章

FAQ およびトラブルシューティング

- [よくある質問, 161 ページ](#)
- [トラブルシューティングのヒント, 166 ページ](#)

よくある質問

- Q.** 電話機にすべてのアクティブ コールが表示されないのはなぜですか。
- A.** コール数が電話機で使用できるセッションボタン数を超えている場合は、ナビゲーションパッドを使用して画面をスクロールすると、すべてのアクティブ コールを確認できます。コールは古い順にソートされ、最も古いコールがリストの一番上に表示されます。
- Q.** コール中に着信コールをリダイレクトするには。
- A.** 他のコールへの応答中に着信（呼び出し中の）コールをリダイレクトするには、ナビゲーションパッドを使用して着信コールを強調表示し、[即転送] を押します（これ以外の場合は、[即転送] を押して、現在のコール、つまりアクティブ コールをリダイレクトします）。
- Q.** 通話中、着信コールの呼出音を無音にするには。
- A.** 着信（呼び出し中の）コールをサイレントにできます。下向きの音量 を 1 回押してから、着信コールが転送先の番号（ボイスメールまたはシステム管理者が設定した所定の番号）に転送されるようにします。
- Q.** 保留中のコールを再開するには。
- A.** 保留中のコールを再開するには、次のいずれかの方法を使用します。
- 緑色に点滅しているセッション ボタンを押します。
 - 電話機のディスプレイでコールセッションを押します（Cisco Unified IP Phone 9971 限定）。
 - [復帰] を押します。

- ナビゲーションパッドを使用してコールを強調表示し、選択を押します。保留を再度押しても、コールは再開されないことに注意してください。

Q. スクリーンの左側にあるボタンと右側にあるボタンの違いは何ですか。

A. 電話機の左側には機能ボタン、右側にはセッションボタンが配置されています。機能ボタンは、機能（スピードダイヤルなど）へのアクセスまたは電話回線の選択に使用します。コールセッションボタンは、新しいコールの発信、保留中のコールの再開、ボイスメールの確認など、コール関連のタスクの実行に使用します。ヘブライ語やアラビア語など、右から左に文字を読むロケールを使用する電話機では、セッションボタンと機能ボタンの位置を逆にすることができます。

Q. ソフトキーが頻繁に変更されるのはなぜですか。

A. ソフトキーは、選択（強調表示）されたコールまたはメニュー項目だけに作用します。表示されるソフトキーは、選択したコールまたは項目によって異なります。

Q. 共有回線または複数の回線がある場合、コールを確認する最良の方法は何ですか。


A. 共有回線または複数の回線がある場合は、すべてのコール機能を使用してコールを表示することを推奨します。[すべてのコール]ボタン（左側）を押すと、ご使用のすべての回線のすべてのコールが最も古いものから先に、電話スクリーンに表示されます。[すべてのコール]ボタンがない場合は、この機能を設定するよう、システム管理者に依頼してください。管理者は、[すべてのコール]ボタンと同様の動作になるように、プライマリ回線キーを設定することもできます。

Q. 誤ってボタンを押すと、コールが表示されなくなるのはなぜですか。

A. コール中に、別の回線に対応しているボタンを押すと、回線の表示が変更されます。現在のコールは表示されなくなり、新しく選択された回線のコールが表示されます。現在のコールを再表示するには、そのコールの回線を選択し、[すべてのコール]を押すか、すべてのコールを表示するように管理者によって設定されていれば、プライマリ回線キーを押します。


Q. 電話機の不在履歴を確認するには。

A. 電話機の不在履歴を確認するには、次の手順を実行します。

- 1 アプリケーション  を押します。
- 2 [通話履歴] を選択します（ナビゲーションパッドと選択を使用し、画面をスクロールして選択します）。
- 3 [不在履歴] を押します。


Q. 実行中のアプリケーションを終了するには。

A. 実行中のアプリケーションを終了するには、次の手順を実行します。

- 1 アプリケーション  を押します。
- 2 [実行中のアプリケーション] を選択します (ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして選択します)。
- 3 実行中のアプリケーションを選択し、[閉じる] を押してアプリケーションを閉じます。プロンプトが表示されたら、変更を保存します。
- 4 [終了] を押して、実行中のアプリケーションを終了します。
実行中のアプリケーションを終了しない場合、そのアプリケーションは引き続きバックグラウンドで実行されます。

Q. 2つのコールを接続した後、自分自身を回線からドロップするには。


A. アクティブ (保留中でない) コールを実行している場合は、次の手順を実行します。

- 1 転送ボタン  を押し、次のいずれかの方法で転送先の電話番号を入力します。
 - 保留されているコールのセッション ボタンを押します。
 - 転送先の相手の電話番号を入力します。
 - 通話履歴レコードまで画面をスクロールし、[コール] ソフトキーを押します。
 - スピードダイヤル ボタンを押します。
 - スピードダイヤルを押し、スピードダイヤル番号を入力するか、コールする番号を強調表示し、もう一度スピードダイヤルを押します。
 - [アクティブ コール] を押し、保留中のコールを選択します。転送はすぐに完了します。
- 2 再度 [転送] を押します。転送を完了するために、受信者の応答を待つ必要はありません。

Q. [切替] ソフトキーとは。


A. [切替] ソフトキーを使用すると、転送の完了や会議の開始前に、2つのコールを切り替えることができます。これによって、コールを接続して会議を実行する前に、各コールで単独の通話相手または複数の通話相手に個別に打診できます。

Q. 会議または転送手順を開始してから、それを取り消すことはできますか。

A. できます。会議または転送を完了する前に、リリース  または [キャンセル] を押すと、その手順をキャンセルできます。

Q. 保留されている2つのコールを結合して1つの会議コールにするには。

A. 一方のコールがアクティブである（保留中でない）ことを確認します。両方のコールが保留中の場合は、一方のコールを再開してから、以下の手順を実行します。

- 1 会議  を押します。
- 2 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。

会議が開始されます。会議はアクティブ コールのある回線で確立されます。

Q. Cisco Unified Video Camera は、電話機と、コンピュータのモニタのどちらに取り付けたほうがいいですか。

A. 簡単なビデオ通話の場合は、電話機に直接カメラを取り付けることを推奨します。コンピュータのモニタを頻繁に見る場合は（スライドのプレゼンテーションを行うなど）、モニタにカメラを取り付けるほうが便利である可能性があります。両方試してみて、どちらが良いか検討してください。

コンピュータのモニタにカメラを取り付ける場合は、カメラ取り付けクリップと USB 延長ケーブルをシステム管理者から入手してください。

Q. Cisco Unified Video Camera が盗まれないようにするには。

A. 盗難の心配がある場合は、使用していないときに、鍵をかけた引き出しにカメラを保管する方法を取ることができます。保管のためにカメラを日常的に取り外す場合は、カメラを電話機に直接取り付けるのではなく、USB 延長ケーブル（システム管理者から入手）にカメラを接続することを検討してください。

カメラの接続と切断は簡単で、この操作によって電話機がリセットされたり、アクティブ コールの音声途切れたりすることはありません。ただし、電話機に直接取り付けられたカメラを取り外して再び取り付けるよりも、USB ケーブルを使用するほうが、カメラを簡単に接続および切断できることがあります。

シスコの壁面取り付け用キットは、カメラを電話機に固定するセキュリティ機構を備えています。

Q. 一部のコールで、電話機にビデオが表示されません。なぜですか。

A. 相手の画像を電話スクリーンで見るためには、相手側の電話機がビデオをサポートしており、相手側の電話機にカメラが設置され有効になっている必要があります。会議コールの場合、コール中に使用される会議システムがビデオ会議をサポートしている必要があります。

Q. [プレビュー] ソフトキーとは。

A. 電話機に Cisco Unified Video Camera を取り付けている場合、[プレビュー] を押すと、ビデオ通話中でないときにカメラの画像を見ることができます。ビデオ通話の前にプレビューを使用すると、カメラのセットアップと位置決め効果的です。

Q. コールを保留にした場合、ビデオはどうなりますか。

A. コールを再開するまで、ビデオ転送はミュートになります（遮断されます）。

Q. Cisco Unified Video Camera のライトの各色は何を示していますか。

A. 色はビデオ転送状態を示します。

- 緑：ビデオが転送中。
- 赤：ビデオがミュート状態。

Q. Cisco Unified Video Camera のシャッターを閉じるには。

A. カメラのシャッターを閉じるには、カメラのレンズを時計回りに回します。シャッターを開くには、カメラのレンズを反時計回りに回します。

Q. Cisco Unified Video Camera のビデオが暗すぎます（または明るすぎます）。

A. 窓や天井の照明など、カメラの視野内の光の状態が明るさに影響します。カメラを動かしてみても、明るさの状態が良くなるか確認してください。明るさの設定を調整することもできます。

Q. 稼動していた電話が稼動（復帰）しなくなったのはなぜですか。

A. システム管理者が EnergyWise を使用して電話機を設定している場合は、電話機がスリープ状態（電源オフ）になることがあります。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時刻に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者によって設定されている時刻に復帰します。選択ボタンを押すと、電話機を復帰できます。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。

Q. 電話機で呼出音が4回続けて再生されますが、コールはありません。これはどういう意味ですか。

A. 節電のためにまもなく電話機が電源オフ（スリープ状態）になることを知らせています（EnergyWise 機能）。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時刻に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者によって設定されている時刻になると復帰します。選択を押して復帰させることもできます。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。

Q. VXC の電源が入りません。

A. 電話機から VXC デバイスの電源をオンにできないことがあります。電話機の電源がパワーリックまたは PoE+ スイッチであることを確認してください。問題が解決しない場合は、電話機の電源を切断し、すぐに入れなおしてください。


Q. 電話機の VPN ステータスが「接続中」で、VXC デバイスの電源がオンのときに、VXC の VPN ステータスに「接続されていません」と表示されるのはなぜですか。

A. 電話機から VXC デバイスを検出できないことがあります。VXC デバイスが電話機の PC ポートに直接接続されていることを確認してから、VXC デバイスの電源を切断し、すぐに入れなおしてください。

- Q. VXCに「セッション喪失」エラーまたは「別のモニタにシグナル」エラーが表示されるのはなぜですか。
- A. この問題は、何らかの状況で VXC2111 に発生します。モニタをディスプレイ ポート 0 に接続します。これは、電話機から見て右端のディスプレイ ポートです。

トラブルシューティングのヒント

保留ボタンでコールが再開されない

保留  を押してコールを再開しようとしたのですが、反応がありません。

考えられる原因

保留ボタンは、トグルではないため、コールを保留から削除しません。

ソリューション

次のいずれかの方法を使用します。

- 緑色に点滅しているセッション ボタンを押します。
- 電話機のディスプレイでコールセッションを押します (Cisco Unified IP Phone 9971 限定)。
- [復帰] を押します。
ナビゲーションパッドを使用してコールを強調表示し、選択を押します。

[アラート コール] ボタンがない

[アラート コール] ボタンを使用したいのですが、電話機にありません。

考えられる原因

システム管理者によって設定されていません。

ソリューション

アラート コール機能を有効にするよう、システム管理者に依頼してください。

[すべてのコール] ボタンがない

[すべてのコール] ボタンを使用したいのですが、電話機にありません。

考えられる原因

システム管理者によって設定されていないか、プライマリ回線ボタンを押した場合すべてのコール機能を実行するように、システム管理者が電話機を設定している可能性があります。

ソリューション

すべてのコール機能を有効にするようシステム管理者に依頼するか、プライマリ回線ボタンの機能について管理者に確認してください。

パーソナル ディレクトリのトラブルシューティング

パーソナル ディレクトリにログインできない

パーソナル ディレクトリにログインできません。

考えられる原因

- 個人識別番号 (PIN) ではなく、パスワードを使用してログインしようとしています。
- PIN をリセットする必要があります。

ソリューション

- パスワードではなく、PIN を使用してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

ユーザ オプション Web ページの問題

ユーザ オプション Web ページにアクセスできない

ユーザ オプション Web ページにアクセスできません。

考えられる原因

パスワードをリセットする必要があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。



第 9 章

製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報

この章は、次の内容で構成されています。

- [安全性とパフォーマンスに関する情報, 169 ページ](#)
- [FCC 適合宣言, 170 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要, 171 ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, 172 ページ](#)
- [追加情報, 172 ページ](#)

安全性とパフォーマンスに関する情報

停電や他のデバイスが、Cisco Unified IP Phone に悪影響を及ぼすことがあります。

停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。停電が発生した場合、電源が回復するまで、利用および緊急コールサービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスまたは緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

外部デバイス

シスコでは、不要な無線周波数（RF）および可聴周波数（AF）がシールドされた高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）、ケーブル、およびコネクタの使用を推奨しています。

これらデバイスの品質および携帯電話や送受信兼用無線機などの他のデバイスとの近さによっては、まだ雑音が生じることがあります。そのような場合、シスコは次の対策の1つ以上を講じることを推奨します。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離します。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離します。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用します。
- 外部デバイスのケーブルを短くします。
- 外部デバイス用のケーブル上にフェライトまたはその他類似のデバイスを使用します。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意

EU 諸国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットのみを使用してください。

Bluetooth ワイヤレス ヘッドセットのパフォーマンス

Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 は、ヘッドセットが Bluetooth をサポートしている場合は、Bluetooth Class 2 テクノロジーをサポートします。Bluetooth により、10 m (30 フィート) の範囲で、低帯域幅のワイヤレス接続が実現されます。最適なパフォーマンスは、1~2m (3~6 フィート) の範囲で得られます。最大 5 個のヘッドセットを接続できますが、接続された最後の 1 個のみがデフォルトとして使用されます。

干渉の問題が潜在的に存在しているため、802.11b/g デバイス、Bluetooth デバイス、電子レンジ、金属製の大きな物体は、ワイヤレス ヘッドセットから遠ざけておくことをお勧めします。

Bluetooth 無線ヘッドセットが機能するために、ヘッドセットが電話機の直接の見通し線内にある必要はありませんが、壁やドアなどの障害物、および他の電子デバイスからの干渉が接続に影響を及ぼすことがあります。

FCC 適合宣言

米国連邦通信委員会は次に対する適合宣言を義務付けています。

- FCC Part 15.21
- FCC RF 被曝
- FCC 受信機およびクラス B デジタル装置

FCC Part 15.21 適合宣言

適合性に責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利が無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから20 cm以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作することはできません。

FCC 受信機およびクラス B デジタル装置の適合宣言

この製品はテスト済みであり、FCCルールPart 15に規定されたクラスBデジタル装置の規格に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

この装置でラジオまたはテレビ受信への干渉が発生しているかどうかは、装置の電源をいったん切って再度投入することで確認できます。干渉している場合は、次の方法を1つ以上実行し、干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します
- 装置またはデバイスとの距離を離します
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に連絡します

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布、および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次のURLで参照できます。http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 8961/9951/9971 には、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。

これらの電話のアクセシビリティ機能の詳細については、『[Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phone 8961, 9951, and 9971](#)』を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

追加情報

- 次の URL で Cisco Web サイトにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/>

- Cisco Unified IP Phone 9951 および 9971 のクイック リファレンス カード、クイック スタート ガイド、およびエンドユーザー ガイド :

http://cisco.com/en/US/products/ps10453/products_user_guide_list.html

- Cisco Unified IP Phone 8961 のクイック リファレンス カード、クイック スタート ガイド、エンドユーザー ガイド :

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10451/products_user_guide_list.html

- ライセンス情報 :

http://cisco.com/en/US/products/ps10453/products_licensing_information_listing.html

- 各国のシスコ Web サイト :

www.cisco.com にアクセスし、Web ページの上部にある「Worldwide [change]」のリンクをクリックすると、各国のシスコ Web サイトにアクセスできます。



第 **10** 章

保証

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 173 ページ

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html

